

# 飯塚病院

## 内科専門研修プログラム



[内科専門研修プログラム……P.1](#)

[専門研修施設群……P.15](#)

[専攻医研修マニュアル……P.169](#)

[指導医マニュアル……P.173](#)

[各年次到達目標……P.174](#)

[週間スケジュール……P.175](#)

文中に記載されている資料『専門研修プログラム整備基準』『研修カリキュラム項目表』『研修手帳(疾患群項目表)』『技術・技能評価手帳』は、日本内科学会 Web サイトにてご参照ください

## 飯塚病院内科専門研修プログラム

### 1.理念・使命・特性

#### 理念【整備基準 1】

- 1) 本プログラムは、福岡県筑豊医療圏の中心的な急性期病院である飯塚病院を基幹施設として、福岡県筑豊医療圏の地域包括ケア・認知症ケアに加えて、僻地・離島医療の経験を積むことができる連携施設・特別連携施設での研修を経て異なる医療を経験・学習し、地域の実情に合わせた実践的な医療を行える内科専門医の育成を行います。
- 2) 初期臨床研修を修了した内科専攻医は、本プログラム専門研修施設群での3年間(基幹施設2年間+連携・特別連携施設1年間)に、豊富な臨床経験を持つ指導医の適切な指導の下で、内科専門医制度[研修カリキュラム](#)に定められた内科領域全般にわたる研修を通じて、標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能とを修得します。

内科領域全般の診療能力とは、臓器別の内科系サブスペシャル分野の専門医にも共通して求められる基礎的な診療能力です。また、知識や技能に偏らずに、患者に人間性をもって接すると同時に、医師としてのプロフェッショナリズムとリサーチマインドの素養をも修得して可塑性が高く様々な環境下で全人的な内科医療を実践する先導者の持つ能力です。内科の専門研修では、幅広い疾患群を順次、経験してゆくことによって、内科の基礎的な診療を繰り返して学ぶとともに、疾患や病態に特異的な診療技術や患者の抱える多様な背景に配慮する経験とが加わることに特徴があります。そして、これらの経験を単に記録するのではなく、病歴要約として、科学的根拠や自己省察を含めて記載し、複数の指導医による指導を受けることによってリサーチマインドを備えつつも全人的医療を実践する能力を涵養することを可能とします。

#### 使命【整備基準 2】

- 1) 福岡県筑豊医療圏に限定せず、超高齢社会を迎えた日本を支える内科専門医として、1)高い倫理観を持ち、2)最新の標準的な医療を実践し、3)安全な医療を心がけ、4)プロフェッショナリズムに基づく患者中心の医療を提供し、臓器別専門性に著しく偏ることなく全人的な内科診療を提供すると同時にチーム医療を円滑に運営できる研修を行います。
- 2) 本プログラムを修了し内科専門医の認定を受けた後も、内科専門医は常に自己研鑽を続け、最新の情報を学び、新しい技術を修得し、標準的な医療を安全に提供し、疾病の予防、早期発見、早期治療に努め、自らの診療能力をより高めることを通じて内科医療全体の水準をも高めて、地域住民、日本国民を生涯にわたって最善の医療を提供してサポートできる研修を行います。
- 3) 疾病の予防から治療に至る保健・医療活動を通じて地域住民の健康に積極的に貢献できる研修を行います。
- 4) 将来の医療の発展のためにリサーチマインドを持ち臨床研究、基礎研究を実際に行う契機となる研修を行います。

#### 特性

- 1) 本プログラムは、福岡県筑豊医療圏の中心的な急性期病院である飯塚病院を基幹施設として、福岡県筑豊医療圏の地域包括ケア・認知症ケアに加えて、僻地・離島医療の経験を積むことができる連携施設・特別連携施設での研修を経て異なる医療を経験・学習し、地域の実情に合わせた実践的な医療を行えるように訓練されます。研

修期間は基幹施設 2 年間＋連携施設・特別連携施設 1 年間の 3 年間になります。

- 2) 飯塚病院内科施設群専門研修では、症例をある時点で経験するというだけでなく、主担当医として、入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで可能な範囲で経時的に、診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践します。そして、個々の患者に最適な医療を提供する計画を立て実行する能力の修得をもって目標への到達とします。
- 3) 基幹施設である飯塚病院は、福岡県筑豊医療圏の中心的な急性期病院であるとともに、地域の病診・病病連携の中核であります。一方で、地域に根ざす第一線の病院でもあり、コモンディージーズの経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病病連携や診療所(在宅訪問診療施設などを含む)との病診連携も経験できます。
- 4) 基幹施設である飯塚病院および連携施設・特別連携施設での 2 年間(専攻医 2 年修了時)で、「[研修手帳\(疾患群項目表\)](#)」に定められた 70 疾患群のうち、少なくとも通算で 45 疾患群、120 症例以上を経験し、日本内科学会専攻医登録評価システム(J-OSLER)に登録できます。そして、専攻医 2 年修了時点で、指導医による形式的な指導を通じて、内科専門医ボードによる評価に合格できる 29 症例の病歴要約を作成できます。
- 5) 飯塚病院内科研修施設群の各医療機関が地域においてどのような役割を果たしているかを経験するために、専門研修 1 年次の 3 ヶ月間、2 年次の 9 ヶ月間、立場や地域における役割の異なる医療機関で研修を行うことによって、内科専門医に求められる役割を実践します。
- 6) 基幹施設である飯塚病院での 2 年間と専門研修施設群での 1 年間(専攻医 3 年修了時)で、「[研修手帳\(疾患群項目表\)](#)」に定められた 70 疾患群のうち、少なくとも通算で 56 疾患群、160 症例以上を経験し、J-OSLER に登録できます。可能な限り、「[研修手帳\(疾患群項目表\)](#)」に定められた 70 疾患群、200 症例以上の経験を目標とします。

### 専門研修後の成果【整備基準 3】

内科専門医の使命は、1) 高い倫理観を持ち、2) 最新の標準的医療を実践し、3) 安全な医療を心がけ、4) プロフェッショナルリズムに基づく患者中心の医療を展開することです。内科専門医のかかわる場は多岐にわたるが、それぞれの場に応じて、

- 1) 地域医療における内科領域の診療医(かかりつけ医)
- 2) 内科系救急医療の専門医
- 3) 病院での総合内科の専門医
- 4) 総合内科的視点を持ったサブスペシャリスト

に合致した役割を果たし、地域住民、国民の信頼を獲得します。それぞれのキャリア形成やライフステージ、あるいは医療環境によって、求められる内科専門医像は単一でなく、その環境に応じて役割を果たすことができる、必要に応じた可塑性のある幅広い内科専門医を多く輩出することにあります。

飯塚病院内科専門研修施設群での研修終了後はその成果として、内科医としてのプロフェッショナルリズムの涵養と総合医的なマインドを持ち、それぞれのキャリア形成やライフステージによって、これらいずれかの形態に合致することもあれば、同時に兼ねることも可能な人材を育成します。そして、超高齢社会を迎えた日本のいずれの医療機関でも不安なく内科診療にあたる実力を獲得していることを要します。また、希望者はサブスペシャル領域専門医の研修や高度・先進的医療、大学院などでの研究を開始する準備を整えうる経験をできることも、本施設群での研修が果たすべき成果です。

## 2.募集専攻医数【整備基準 27】

下記 1)～7)により、飯塚病院内科専門研修プログラムで募集可能な内科専攻医数は 1 学年 16 名とします。

- 1) 剖検体数(内科系)は専攻医の数を満たす剖検は十分に実施できます。
- 2) 飯塚病院内科後期研修医数は 1 学年最大 17 名の実績があります。
- 3) 比較的入院患者数が少ない代謝、内分泌、血液、膠原病(リウマチ)領域でさえ、1 学年 16 名に対し十分な症例経験が可能です。

表。飯塚病院診療科別診療実績

| 2024 年度実績  | 入院患者実数<br>(人/年) | 外来延患者数<br>(延人数/年) |
|------------|-----------------|-------------------|
| 肝臓内科       | 701             | 16,833            |
| 呼吸器内科      | 1,732           | 24,245            |
| 心療内科       | 0               | 6,654             |
| 内分泌・糖尿病内科  | 367             | 20,353            |
| 消化器内科      | 1,455           | 18,861            |
| 血液内科       | 565             | 12,965            |
| 総合診療科      | 3,074           | 14,202            |
| 膠原病・リウマチ内科 | 177             | 16,097            |
| 連携医療・緩和ケア科 | 769             | 3,232             |
| 循環器内科      | 1,756           | 17,362            |
| 脳神経内科      | 590             | 9,898             |
| 腎臓内科       | 871             | 25,996            |
| 漢方診療科      | 32              | 15,683            |
| 感染症科       | 0               | 1,426             |
| 救急科        | 313             | 28                |

- 4) 13 領域の専門医が少なくとも 1 名以上在籍しています(P. 16「飯塚病院内科専門研修施設群」参照)。
- 5) 1 学年 16 名までの専攻医であれば、専攻医 2 年修了時に「[研修手帳\(疾患群項目表\)](#)」に定められた 45 疾患群、120 症例以上の診療経験と 29 病歴要約の作成は達成可能です。
- 6) 専攻医 1～3 年次に研修する連携施設・特別連携施設には、高次機能病院 4 施設および地域医療病院 12 施設、計 16 施設あり、専攻医のさまざまな希望・将来像に対応可能です。将来の志望専攻科およびそれまでの業績や態度を考慮して研修施設を決定します。
- 7) 専攻医 3 年修了時に「[研修手帳\(疾患群項目表\)](#)」に定められた少なくとも 56 疾患群、160 症例以上の診療経験は達成可能です。

## 3.専門知識・専門技能とは

- 1) 専門知識【整備基準 4】[「[内科研修カリキュラム項目表](#)」参照]

専門知識の範囲(分野)は、「総合内科」、「消化器」、「循環器」、「内分泌」、「代謝」、「腎臓」、「呼吸器」、「血液」、「神経」、「アレルギー」、「膠原病および類縁疾患」、「感染症」、ならびに「救急」で構成されます。

「[内科研修カリキュラム項目表](#)」に記載されている、これらの分野における「解剖と機能」、「病態生理」、「身体診察」、「専門的検査」、「治療」、「疾患」などを目標(到達レベル)とします。

## 2) 専門技能【整備基準 5】[「[技術・技能評価手帳](#)」参照]

内科領域の「技能」は、幅広い疾患を網羅した知識と経験とに裏付けをされた、医療面接、身体診察、検査結果の解釈、ならびに科学的根拠に基づいた幅の広い診断・治療方針決定を指します。さらに全人的に患者・家族と関わってゆくことや他のサブスペシャル専門医へのコンサルテーション能力とが加わります。これらは、特定の手技の修得や経験数によって表現することはできません。

## 4.専門知識・専門技能の習得計画

### 1) 到達目標【整備基準 8～10】

主担当医として「[研修手帳\(疾患群項目表\)](#)」に定める全 70 疾患群を経験し、200 症例以上経験することを目標とします。内科領域研修を幅広く行うため、内科領域内のどの疾患を受け持つかについては多様性があります。そこで、専門研修(専攻医)年限ごとに内科専門医に求められる知識・技能・態度の修練プロセスは以下のように設定します。

#### ○専門研修(専攻医)1年:

- ・症例:「[研修手帳\(疾患群項目表\)](#)」に定める 70 疾患群のうち、少なくとも 20 疾患群、40 症例以上を経験し、J-OSLER にその研修内容を登録します。以下、全ての専攻医の登録状況については担当指導医の評価と承認が行われます。
- ・専門研修修了に必要な病歴要約を 10 症例以上記載して J-OSLER に登録します。
- ・技能:研修中の疾患群について、診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針決定を指導医、サブスペシャル上級医とともに行うことができます。
- ・態度:専攻医自身の自己評価と指導医、サブスペシャル上級医およびメディカルスタッフによる 360 度評価とを複数回行って態度の評価を行い担当指導医がフィードバックを行います。

#### ○専門研修(専攻医)2年:

- ・症例:「[研修手帳\(疾患群項目表\)](#)」に定める 70 疾患群のうち、通算で少なくとも 45 疾患群、80 症例以上の経験をし、J-OSLER にその研修内容を登録します。
- ・専門研修修了に必要な病歴要約をすべて記載して J-OSLER への登録を終了します。
- ・技能:研修中の疾患群について、診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針決定を指導医、サブスペシャル上級医の監督下で行うことができます。
- ・態度:専攻医自身の自己評価と指導医、サブスペシャル上級医およびメディカルスタッフによる 360 度評価とを複数回行って態度の評価を行います。専門研修(専攻医)1 年次に行った評価についての省察と改善とが図られたか否かを指導医がフィードバックします。

#### ○専門研修(専攻医)3年:

- ・症例:主担当医として「[研修手帳\(疾患群項目表\)](#)」に定める全 70 疾患群を経験し、200 症例以上経験することを目標とします。修了認定には、主担当医として通算で最低 56 疾患群以上の経験と計 160 症例以上(外来症例は 1 割まで含むことができます)を経験し、J-OSLER にその研修内容を登録します。
- ・専攻医として適切な経験と知識の修得ができることを指導医が確認します。
- ・既に専門研修 2 年次までに登録を終えた病歴要約は、日本内科学会病歴要約評価ボード(仮称)による査読を受けます。査読者の評価を受け、専攻医は病歴要約を形成的により良いものへ改訂します。但し、改訂に値しない内容の場合は、その年度の受理(アクセプト)が認められないことを当プログラムは了解しています。
- ・技能:内科領域全般について、診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針決定を自立して

行うことができます。

・態度：専攻医自身の自己評価と指導医、サブスペシャル上級医およびメディカルスタッフによる 360 度評価とを複数回行って態度の評価を行います。専門研修(専攻医)2 年次に行った評価についての省察と改善とが図られたか否かを指導医がフィードバックします。また、内科専門医としてふさわしい態度、プロフェッショナリズム、自己学習能力を修得しているか否かを指導医が専攻医と面談し、さらなる改善を図ります。

専門研修修了には、すべての病歴要約 29 症例の受理と、少なくとも 70 疾患群中の 56 疾患群以上で計 160 症例以上の経験を必要とします。J-OSLER における研修ログへの登録と指導医の評価と承認とによって目標を達成します。

飯塚病院内科施設群専門研修では、「[研修カリキュラム項目表](#)」の知識、技術・技能修得は必要不可欠なものであり、修得するまでの最短期間は3年間(基幹施設 2 年間+連携・特別連携施設 1 年間)とするが、修得が不十分な場合、修得できるまで研修期間を 1 ヶ月単位で延長します。一方でカリキュラムの知識、技術・技能を修得したと認められた専攻医には積極的にサブスペシャル領域専門医取得に向けた知識、技術・技能研修を開始させます。

## 2) 臨床現場での学習【整備基準 13】

内科領域の専門知識は、広範な分野を横断的に研修し、各種の疾患経験とその省察とによって獲得されます。内科領域を 70 疾患群(経験すべき病態等を含む)に分類し、それぞれに提示されているいずれかの疾患を順次経験します(下記①～⑥参照)。この過程によって専門医に必要な知識、技術・技能を修得します。代表的なものについては病歴要約や症例報告として記載します。また、自らが経験することのできなかつた症例については、カンファレンスや自己学習によって知識を補足します。これらを通じて、遭遇する事が稀な疾患であっても類縁疾患の経験と自己学習によって適切な診療を行えるようにします。

- ① 内科専攻医は、担当指導医もしくはサブスペシャルの上級医の指導の下、主担当医として入院症例と外来症例の診療を通じて、内科専門医を目指して常に研鑽します。主担当医として、入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで可能な範囲で経時的に、診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践します。
- ② 定期的(毎週 1 回)に開催する各診療科あるいは合同カンファレンスを通じて、担当症例の病態や診断過程の理解を深め、多面的な見方や最新の情報を得ます。また、プレゼンターとして情報検索およびコミュニケーション能力を高めます。
- ③ 総合内科外来(初診を含む)とサブスペシャル診療科外来(初診を含む)のいずれか、もしくは、双方を週 1 回 1 年以上もしくはそれと同等以上の日数を担当医として経験を積みみます。
- ④ 救命救急センター外来(平日夕方・土日祝日)で内科領域の救急診療の経験を積みみます。
- ⑤ 担当医もしくは当直医として病棟急変などの経験を積みみます。
- ⑥ 必要に応じて、サブスペシャル診療科検査を担当します。

## 3) 臨床現場を離れた学習【整備基準 14】

1)内科領域の救急対応、2)最新のエビデンスや病態理解・治療法の理解、3)標準的な医療安全や感染対策に関する事項、4)医療倫理、医療安全、感染防御、臨床研究や利益相反に関する事項、5)専攻医の指導・評価方法に関する事項、などについて、以下の方法などで研鑽します。

- ① 定期的(毎週 1 回程度)に開催する各診療科でのカンファレンス、症例検討会、抄読会、レクチャー など
- ② 医療倫理・医療安全・感染防御に関する講習会

※ 内科専攻医は年に 2 回以上受講します。

- ③ CPC
- ④ 研修施設群合同カンファレンス
- ⑤ 地域参加型のカンファレンス
- ⑥ JMECC 受講

※ 内科専攻医は必ず専門研修 1 年もしくは 2 年までに 1 回受講します。

- ⑦ 内科系学会集(下記「7. 学術活動に関する研修計画」参照)
- ⑧ 各種指導医講習会/JMECC 指導者講習会

#### 4) 自己学習【整備基準 15】

「[研修カリキュラム項目表](#)」では、知識に関する到達レベルを A(病態の理解と合わせて十分に深く知っている)と B(概念を理解し、意味を説明できる)に分類、技術・技能に関する到達レベルを A(複数回の経験を経て、安全に実施できる、または判定できる)、B(経験は少数例だが、指導者の立ち会いのもとで安全に実施できる、または判定できる)、C(経験はないが、自己学習で内容と判断根拠を理解できる)に分類、さらに、症例に関する到達レベルを A(主担当医として自ら経験した)、B(間接的に経験している(実症例をチームとして経験した、または症例検討会を通して経験した))、C(レクチャー、セミナー、学会が公認するセルフスタディやコンピューターシミュレーションで学習した)と分類しています。(「[研修カリキュラム項目表](#)」参照)自身の経験がなくても自己学習すべき項目については、以下の方法などで学習します。

- ① 内科系学会が行っているセミナーの DVD やオンデマンドの配信
- ② 日本内科学会雑誌にある MCQ
- ③ 日本内科学会が実施しているセルフトレーニング問題

#### 5) 研修実績および評価を記録し、蓄積するシステム【整備基準 41】

J-OSLER を用いて、以下を web ベースで日時を含めて記録します。

- ・ 専攻医は全 70 疾患群の経験と 200 症例以上を主担当医として経験することを目標に、通算で最低 56 疾患群以上 160 症例の研修内容を登録します。指導医はその内容を評価し、合格基準に達したと判断した場合に承認を行います。
- ・ 専攻医による逆評価を入力して記録します。
- ・ 全 29 症例の病歴要約を指導医が校閲後に登録し、専門研修施設群とは別の日本内科学会病歴要約評価ボード(仮称)によるピアレビューを受け、指摘事項に基づいた改訂を受理(アクセプト)されるまでシステム上で行います。
- ・ 専攻医は学会発表や論文発表の記録をシステムに登録します。
- ・ 専攻医は各専門研修プログラムで出席を求められる講習会等(例: CPC、地域連携カンファレンス、医療倫理・医療安全・感染対策講習会)の出席をシステム上に登録します。

#### 5.プログラム全体と各施設におけるカンファレンス【整備基準 13、14】

飯塚病院内科専門研修施設群でのカンファレンスの概要は、施設ごとの実績を記載しました(P.16「飯塚病院内科専門研修施設群」参照)。プログラム全体と各施設のカンファレンスについては、基幹施設である飯塚病院教育推進本部が把握し、定期的に専攻医に周知し、出席を促します。

#### 6.リサーチマインドの養成計画【整備基準 6、12、30】

内科専攻医に求められる姿勢とは単に症例を経験することにとどまらず、これらを自ら深めてゆく姿勢です。この能

力は自己研鑽を生涯にわたってゆく際に不可欠となります。

飯塚病院内科専門研修施設群は基幹施設、連携施設、特別連携施設のいずれにおいても、

- ① 患者から学ぶという姿勢を基本とする。
- ② 科学的な根拠に基づいた診断、治療を行う(EBM:evidence-based medicine)。
- ③ 最新の知識、技能を常にアップデートする(生涯学習)。
- ④ 診断・治療および医療システムなどに関する研究に関わる。
- ⑤ 症例報告を通じて深い洞察力を磨く。

といった基本的なリサーチマインドおよび学問的姿勢を涵養します。併せて、

- ① 初期研修医あるいは医学部学生の指導を行う。
- ② 後輩専攻医の指導を行う。
- ③ メディカルスタッフを尊重し、指導を行う。

を通じて、内科専攻医としての教育活動を行います。

## 7.学術活動に関する研修計画【整備基準 12】

飯塚病院内科専門研修施設群では基幹病院、連携病院、特別連携病院のいずれにおいても、

- ① 内科系の学術集会や企画※に年2回以上参加します(必須)。  
※主として日本内科学会が推奨する日本内科学会本部または支部主催の生涯教育講演会、年次講演会、CPC  
および内科系サブスペシャル学会の学術講演会・講習会。
- ② 経験症例についての文献検索を行い、症例報告を行います。
- ③ 臨床的疑問を抽出して臨床研究に関わります。
- ④ 内科学に通じる基礎研究を行います。

を通じて、科学的根拠に基づいた思考を全人的に活かせるようにします。

内科専攻医は学会発表あるいは論文発表は筆頭者として2件以上行います。

なお、専攻医が、社会人大学院などを希望する場合でも、飯塚病院内科専門研修プログラムの修了認定基準を満たせるようにバランスを持った研修を推奨します。

## 8.コア・コンピテンシーの研修計画【整備基準 7】

「コンピテンシー」とは観察可能な能力で、知識、技能、態度が複合された能力です。これは観察可能であることから、その習得を測定し、評価することが可能です。その中で共通・中核となる、コア・コンピテンシーは倫理観・社会性です。

飯塚病院内科専門研修施設群は基幹施設、連携施設、特別連携施設のいずれにおいても、指導医、サブスペシャル上級医とともに下記①～⑩について積極的に研鑽する機会を与えます。プログラム全体と各施設のカンファレンスについては、基幹施設である飯塚病院の教育推進本部が把握し、定期的に専攻医に周知し、出席を促します。

内科専門医として高い倫理観と社会性を獲得します。

- ① 患者とのコミュニケーション能力
- ② 患者中心の医療の実践
- ③ 患者から学ぶ姿勢
- ④ 自己省察の姿勢
- ⑤ 医の倫理への配慮
- ⑥ 医療安全への配慮

- ⑦ 公益に資する医師としての責務に対する自律性(プロフェッショナリズム)
- ⑧ 地域医療保健活動への参画
- ⑨ 他職種を含めた医療関係者とのコミュニケーション能力
- ⑩ 後輩医師への指導

※ 教える事が学ぶ事につながる経験を通し、先輩からだけではなく後輩、医療関係者からも常に学ぶ姿勢を身につけます。

## 9.地域医療における施設群の役割【整備基準 11、28】

多岐にわたる疾患群を経験するため、飯塚病院内科専門研修施設群研修施設は福岡県筑豊医療圏の地域包括ケア・認知症ケアに加えて、僻地・離島医療の経験を積むことができる医療機関などから構成されています。

飯塚病院は、福岡県筑豊医療圏の中心的な急性期病院であるとともに、地域の病診・病病連携の中核です。一方で、地域に根ざす第一線の病院でもあり、コモディティーズの経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病病連携や診療所(在宅訪問診療施設などを含む)との病診連携も経験できます。また、臨床研究や症例報告などの学術活動の素養を身につけます。

連携施設、特別連携施設には、内科専攻医の多様な希望・将来性に対応し、地域医療や全人的医療を組み合わせ、急性期医療、慢性期医療および患者の生活に根ざした地域医療を経験できることを目的に、高次機能病院である九州医療センター、小倉記念病院、今村総合病院、神奈川県立循環器呼吸器病センター、および地域医療病院である頼田病院、飯塚記念病院、京都(みやこ)病院、田川新生病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、伊東市民病院、三重県立志摩病院、瀬戸内徳州会病院、古賀総合病院、陣内病院、前田病院で構成しています。

九州医療センター、小倉記念病院、今村総合病院では、飯塚病院とは異なる医療圏において、高度な急性期医療とより専門的な内科診療、希少疾患を中心とした診療を経験します。

頼田病院、飯塚記念病院、京都病院、田川新生病院、松口循環器科内科医院では、同じ筑豊医療圏において、地域に根ざした医療、地域包括ケア、在宅医療などを中心とした診療を経験します。

千葉県の東京ベイ・浦安市川医療センターは、急性期でありながらも地域医療振興協会の活動として、定期的に指導医が地域の僻地診療を行っているため、ローテーション時にはその診療についても指導を受ける機会があります。また、同施設で指導にあたる内科医師 5 名は飯塚病院研修修了者・指導医であり(地域医療を守るために赴任を支援してきました)、このため当院と同等の研修の質は保たれます。

神奈川県立循環器呼吸器病センターは、循環器および呼吸器疾患の専門病院です。陣内病院、前田病院は、地域における腎臓内科専門研修を行う場です。いずれも飯塚病院では経験できない希少かつ重要な症例を、経験豊富な指導医の下で学ぶ事ができます。なお、前田病院には飯塚病院の元指導医経験者がいます。

瀬戸内徳州会病院、伊東市民病院、三重県立志摩病院、古賀総合病院は、都市部の総合病院では経験できないような、僻地・離島の診療を研修するために賛同を得られた施設です。

連携施設の中には距離が離れている施設もありますが、全連携施設での研修中は、飯塚病院のプログラム管理委員会と各施設の研修担当者とは管理と指導の責任を持ちます。特別連携施設での研修においては、飯塚病院の指導医が定期的に各施設を訪れ、各施設の上級医とともに、専攻医の研修指導にあたり、指導の質を保ちます。なお、各連携施設・特別連携施設での研修中は施設近辺に宿泊施設を設けるなど、基幹施設と連携施設とが相互に協力し、専攻医が研修に集中できる環境を整えます。

## 10.地域医療に関する研修計画【整備基準 28、29】

飯塚病院内科施設群専門研修では、症例をある時点で経験するということだけではなく、主担当医として、入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで可能な範囲で経時的に、診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状

態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践し、個々の患者に最適な医療を提供する計画を立て実行する能力の修得を目標としています。

飯塚病院内科施設群専門研修では、主担当医として診療・経験する患者を通じて、高次病院や地域病院との病病連携や診療所（在宅訪問診療施設などを含む）との病診連携も経験できます。

## 11.内科専攻医研修(モデル)【整備基準 16】

図 1。飯塚病院内科専門研修モデル

| 月<br>年次     | 4                                       | 5 | 6 | 7         | 8 | 9 | 10        | 11 | 12 | 1                    | 2 | 3 |
|-------------|-----------------------------------------|---|---|-----------|---|---|-----------|----|----|----------------------|---|---|
| 専攻医<br>1 年次 | 飯塚病院 院内内科ローテーション<br>(1 単位 6 週～7 週)      |   |   |           |   |   |           |    |    | 連携施設①3 ヶ月            |   |   |
|             | 各科レクチャー、医療倫理・医療安全・感染防御セミナー、CPC、JMECC など |   |   |           |   |   |           |    |    |                      |   |   |
| 専攻医<br>2 年次 | 連携施設②3 ヶ月                               |   |   | 連携施設③3 ヶ月 |   |   | 連携施設④3 ヶ月 |    |    | 飯塚病院 院内内科ロ<br>ーテーション |   |   |
|             | 各科レクチャー、医療倫理・医療安全・感染防御セミナー、CPC、JMECC など |   |   |           |   |   |           |    |    |                      |   |   |
| 専攻医<br>3 年次 | 飯塚病院 院内内科ローテーション                        |   |   |           |   |   |           |    |    |                      |   |   |
|             | 各科レクチャー、医療倫理・医療安全・感染防御セミナー、CPC など       |   |   |           |   |   |           |    |    |                      |   |   |

※院外ローテーションは原則案であり、時期およびローテーション先は、専攻医数および当院もしくは連携施設の状況によっては、例外として、各年次研修先の調整や変更を、当方の判断で行なうこともある。

専攻医 1 年次および 2 年次の秋から冬に専攻医の希望・将来像、研修達成度および指導医数やメディカルスタッフによる 360 度評価(内科専門研修評価)などを基に、飯塚病院院内ローテーション診療科・連携施設・時期・順番を決定します。原則 1 年次の 1～2 単位は救急部ローテーションがあります。

選択可能な飯塚病院院内内科ローテーション診療科は、肝臓内科、呼吸器内科、内分泌・糖尿病内科、消化器内科、血液内科、総合診療科、膠原病リウマチ内科、連携医療・緩和ケア科、腎臓内科、循環器内科、脳神経内科、漢方診療科、心療内科、集中治療科、感染症科、救急科などです。

## 12.専攻医の評価時期と方法【整備基準 17、19～22】

### (1)飯塚病院教育推進本部の役割

- ・飯塚病院内科専門研修管理委員会の事務局を行います。
- ・飯塚病院内科専門研修プログラム開始時に、各専攻医が初期研修期間などで経験した疾患について J-OSLER を基にカテゴリー別の充足状況を確認します。
- ・4 ヶ月ごとに J-OSLER にて専攻医の研修実績と到達度を適宜追跡し、専攻医による J-OSLER への記入を促します。また、各カテゴリー内の研修実績と到達度が充足していない場合は該当疾患の診療経験を促します。
- ・6 ヶ月ごとに病歴要約作成状況を適宜追跡し、専攻医による病歴要約の作成を促します。また、各カテゴリー内

の病歴要約が充足していない場合は該当疾患の診療経験を促します。

- ・ 6ヶ月ごとにプログラムに定められている所定の学術活動の記録と各種講習会出席を追跡します。
- ・ 年に複数回(8月頃と2月頃、必要に応じて臨時に)、専攻医自身の自己評価を行います。その結果は J-OSLER を通じて集計され、1ヶ月以内に担当指導医によって専攻医に形式的にフィードバックを行って、改善を促します。
- ・ 教育推進本部は、メディカルスタッフによる 360 度評価(内科専門研修評価)を毎年複数回(8月頃と2月頃、必要に応じて臨時に)行います。担当指導医、サブスペシアル上級医に加えて、看護師長、看護師、臨床検査・放射線技師・臨床工学技士、事務員などから複数名を評価者として指名します。評価表では社会人としての適性、医師としての適正、コミュニケーション、チーム医療の一員としての適性を多職種が評価します。評価は無記名方式で、教育推進本部もしくは統括責任者が各研修施設の研修委員会に委託して 5 名以上の複数職種に回答を依頼し、その回答は担当指導医が取りまとめ、J-OSLER に登録します(他職種はシステムにアクセスしません)。その結果は J-OSLER を通じて集計され、担当指導医から形式的にフィードバックを行います。
- ・ 日本専門医機構内科領域研修委員会によるサイトビジット(施設実地調査)に対応します。

## (2) 専攻医と担当指導医の役割

- ・ 専攻医 1 人に 1 人の担当指導医(メンター)が飯塚病院内科専門研修プログラム管理委員会により決定されます。
- ・ 専攻医は web にて J-OSLER にその研修内容を登録し、担当指導医はその履修状況の確認をシステム上で行ってフィードバックの後にシステム上で承認をします。この作業は日常臨床業務での経験に応じて順次行います。
- ・ 専攻医は、1 年次専門研修終了時に[研修カリキュラム](#)に定める 70 疾患群のうち 20 疾患群、60 症例以上の経験と登録を行うようにします。2 年次専門研修終了時に 70 疾患群のうち 45 疾患群、120 症例以上の経験と登録を行うようにします。3 年次専門研修終了時には 70 疾患群のうち 56 疾患群、160 症例以上の経験の登録を修了します。それぞれの年次で登録された内容は都度、担当指導医が評価・承認します。
- ・ 担当指導医は専攻医と十分なコミュニケーションを取り、J-OSLER での専攻医による症例登録の評価や教育推進本部からの報告などにより研修の進捗状況を把握します。専攻医はサブスペシアルの上級医と面談し、専攻医が経験すべき症例について報告・相談します。担当指導医とサブスペシアルの上級医は、専攻医が充足していないカテゴリー内の疾患を可能な範囲で経験できるよう、主担当医の割り振りを調整します。
- ・ 担当指導医はサブスペシアル上級医と協議し、知識、技能の評価を行います。
- ・ 専攻医は、専門研修(専攻医)2 年修了時まで 29 症例の病歴要約を順次作成し、J-OSLER に登録します。担当指導医は専攻医が合計 29 症例の病歴要約を作成することを促進し、内科専門医ボードによる査読・評価で受理(アクセプト)されるように病歴要約について確認し、形式的な指導を行う必要があります。専攻医は、内科専門医ボードのピアレビュー方式の査読・形式的評価に基づき、専門研修(専攻医)3 年修了までにすべての病歴要約が受理(アクセプト)されるように改訂します。これによって病歴記載能力を形式的に深化させます。

## (3) 評価の責任者

年度ごとに担当指導医が評価を行い、基幹施設あるいは連携施設の内科研修委員会で検討します。その結果を年度ごとに飯塚病院内科専門研修プログラム管理委員会で検討し、統括責任者が承認します。

## (4) 修了判定基準【整備基準 53】

- 1) 担当指導医は、J-OSLER を用いて研修内容を評価し、以下 i)～vi)の修了を確認します。
  - i) 主担当医として「[研修手帳\(疾患群項目表\)](#)」に定める全 70 疾患群、計 200 症例以上(外来症例は 20 症例ま

で含むことができる)を経験することを目標にし、その研修内容を J-OSLER に登録していること。修了認定には、主担当医として通算で最低 56 疾患群以上の経験と計 160 症例以上の症例(外来症例は登録症例の 1 割まで含むことができる)を経験し、登録済みであること。

ii) 29 病歴要約の内科専門医ボードによる査読・形成的評価後の受理(アクセプト)

iii) 所定の 2 編の学会発表または論文発表

iv) JMECC 受講

v) プログラムで定める講習会受講

vi) メディカルスタッフによる 360 度評価と、指導医による内科専攻医評価を参照し、医師としての適性を判定

2) 飯塚内科専門研修プログラム管理委員会は、当該専攻医が上記修了要件を充足していることを確認し、研修期間修了約 1 ヶ月前に飯塚病院内科専門研修プログラム管理委員会で合議のうえ統括責任者が修了判定を行います。

#### (5) プログラム運用マニュアル・フォーマット等の整備

「専攻医研修実績記録フォーマット」、「指導医による指導とフィードバックの記録」および「指導者研修計画(FD)の実施記録」は、J-OSLER を用います。なお、「飯塚病院内科専攻医研修マニュアル」【整備基準 44】(P. 52)と「飯塚病院内科専門研修指導者マニュアル」【整備基準 45】(P. 59)と別に示します。

### 13. 専門研修管理委員会の運営計画【整備基準 34、35、37～39】

(P.51「飯塚病院内科専門研修プログラム管理委員会」参照)

#### 1) 飯塚病院内科専門研修プログラムの管理運営体制の基準

i) 内科専門研修プログラム管理委員会にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。内科専門研修プログラム管理委員会は、統括責任者(院長)、プログラム管理者(診療科部長)(ともに総合内科専門医かつ指導医)、事務局代表者、内科サブスペシャル分野の研修指導責任者(診療科部長または部長が指名する医師)および連携施設担当委員で構成されます。また、オブザーバーとして専攻医にも委員会の一部に参加を要請することがあります。飯塚病院内科専門研修プログラム管理委員会の事務局を、飯塚病院教育推進本部におきます。

ii) 飯塚病院内科専門研修施設群は、基幹施設、連携施設ともに内科専門研修委員会を設置します。委員長 1 名(指導医)は、基幹施設との連携のもと活動するとともに、専攻医に関する情報を定期的に共有するために、年に複数回開催する飯塚病院内科専門研修プログラム管理委員会の委員として出席します。

基幹施設、連携施設ともに、毎年 4 月 30 日までに、飯塚病院内科専門研修プログラム管理委員会に以下の報告を行います。

#### ① 前年度の診療実績(対象期間: 前年 4 月～当年 3 月)

a) 病院病床数、b) 内科病床数、c) 内科診療科数、d) 1 ヶ月あたり内科外来患者数、e) 1 ヶ月あたり内科入院患者数、f) 剖検数

#### ② 専門研修指導医数および専攻医数

a) 前年度の専攻医の指導実績、b) 今年度の指導医数/総合内科専門医数、c) 今年度の専攻医数、d) 次年度の専攻医受け入れ可能人数

#### ③ 前年度の学術活動

a) 学会発表、b) 論文発表

#### ④ 施設状況

a) 施設区分、b) 指導可能領域、c) 内科カンファレンス、d) 他科とのカンファレンス、e) 図書館、f) 文献検索システ

ム、g) 医療安全・感染対策・医療倫理に関する研修会、h) JMECC の開催

⑤ サブスペシャル領域の専門医数

日本消化器病学会消化器専門医数、日本肝臓学会肝臓専門医数、日本循環器学会循環器専門医数、日本内分泌学会専門医数、日本腎臓病学会専門医数、日本糖尿病学会専門医数、日本呼吸器学会呼吸器専門医数、日本血液学会血液専門医数、日本神経学会神経内科専門医数、日本アレルギー学会専門医(内科)数、日本リウマチ学会専門医数、日本感染症学会専門医数、日本救急医学会救急科専門医数

**14.プログラムとしての指導者研修(FD)の計画【整備基準 18、43】**

指導法の標準化のため日本内科学会作製の冊子「指導の手引き」を活用します。

厚生労働省や日本内科学会の指導医講習会の受講を推奨します。指導者研修(FD)の実施記録として、J-OSLER を用います。

**15.専攻医の就業環境の整備機能(労務管理)【整備基準 40】**

労働基準法や医療法を順守することを原則とします。

基幹施設である飯塚病院の就業環境に基づき就業しますが、連携施設もしくは特別連携施設での研修時は飯塚病院と連携先施設との取り決めによる就業環境に基づき、就業します(P.16「飯塚病院内科専門研修施設群」参照)。

基幹施設である飯塚病院の整備状況：

- ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。
- ・飯塚病院常勤医師として労務環境が保障されています。
- ・メンタルストレスに適切に対処する部署およびハラスメント窓口として医務室があります。医務室には産業医および看護師が常駐しています。
- ・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。
- ・敷地内に 24 時間対応院内託児所、隣接する施設に病児保育室があり、利用可能です。

専門研修施設群の各研修施設の状況については、P.16「飯塚病院内科専門施設群」を参照。

また、総括的評価を行う際、専攻医および指導医は専攻医指導施設に対する評価も行い、その内容は飯塚病院内科専門研修プログラム管理委員会に報告されますが、そこには労働時間、当直回数、給与など、労働条件についての内容が含まれ、適切に改善を図ります。

**16.内科専門研修プログラムの改善方法【整備基準 49～51】**

1) 専攻医による指導医および研修プログラムに対する評価

J-OSLER を用いて無記名式逆評価を行います。逆評価は年に複数回行います。また、年に複数の研修施設に在籍して研修を行う場合には、研修施設ごとに逆評価を行います。その集計結果は担当指導医、施設の研修委員会、およびプログラム管理委員会が閲覧します。また集計結果に基づき、飯塚病院内科専門研修プログラムや指導医、あるいは研修施設の研修環境の改善に役立てます。

2) 専攻医等からの評価(フィードバック)をシステム改善につなげるプロセス

専門研修施設の内科専門研修委員会、飯塚病院内科専門研修プログラム管理委員会、および日本専門医機構内科領域研修委員会は J-OSLER を用いて、専攻医の逆評価、専攻医の研修状況を把握します。把握した事項については、飯塚病院内科専門研修プログラム管理委員会が以下に分類して対応を検討します。

- ① 即時改善を要する事項
- ② 年度内に改善を要する事項

- ③ 数年をかけて改善を要する事項
- ④ 内科領域全体で改善を要する事項
- ⑤ 特に改善を要しない事項

なお、研修施設群内で何らかの問題が発生し、施設群内で解決が困難である場合は、専攻医や指導医から日本専門医機構内科領域研修委員会を相談先とします。

- ・担当指導医、施設の内科研修委員会、飯塚病院内科専門研修プログラム管理委員会、および日本専門医機構内科領域研修委員会は、J-OSLER を用いて、専攻医の研修状況を定期的にモニタし、飯塚病院内科専門研修プログラムが円滑に進められているか否かを判断して飯塚病院内科専門研修プログラムを評価します。
- ・担当指導医、各施設の内科研修委員会、飯塚病院内科専門研修プログラム管理委員会、および日本専門医機構内科領域研修委員会は、J-OSLER を用いて、担当指導医が専攻医の研修にどの程度関与しているかをモニタし、自律的な改善に役立てます・状況によって、日本専門医機構内科領域研修委員会の支援、指導を受け入れ、改善に役立てます。

### 3) 研修に対する監査(サイトビジット等)・調査への対応

飯塚病院教育推進本部と飯塚病院内科専門研修プログラム管理委員会は、飯塚病院内科専門研修プログラムに対する日本専門医機構内科領域研修委員会からのサイトビジットを受け入れ対応します。その評価を基に、必要に応じて飯塚病院内科専門研修プログラムの改良を行います。

飯塚病院内科専門研修プログラム更新の際には、サイトビジットによる評価の結果と改良の方策について日本専門医機構内科領域研修委員会に報告します。

## 17.専攻医の募集および採用の方法【整備基準 52】

本プログラム管理委員会は、常時ホームページでの公表や、説明会などを行い、内科専攻医を募集します。翌年度のプログラムへの応募者は、機構によって定められた期日と応募方法に従って応募します。書類選考および面接を行い、飯塚病院内科専門研修プログラム管理委員会において協議の上で採否を決定します。

飯塚病院内科専門研修プログラムを開始した専攻医は、遅滞なく J-OSLER にて登録を行います。

【問い合わせ先】飯塚病院教育推進本部

E-mail: [aih-education@aih-net.com](mailto:aih-education@aih-net.com)

ホームページ: <http://aih-net.com/>

## 18.内科専門研修の休止-中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件【整備基準 33】

やむを得ない事情により他の内科専門研修プログラムへの移動が必要になった場合には、適切に J-OSLER を用いて飯塚病院内科専門研修プログラムでの研修内容を遅滞なく登録し、担当指導医が認証します。これに基づき、飯塚病院内科専門研修プログラム管理委員会と移動後のプログラム管理委員会が、その継続的研修を相互に認証することにより、専攻医の継続的な研修を認めます。他の内科専門研修プログラムから飯塚病院内科専門研修プログラムへの移動の場合も同様です。

他の領域から飯塚病院内科専門研修プログラムに移動する場合で、他の専門研修を修了し新たに内科領域専門研修をはじめめる場合、あるいは初期研修における内科研修において専門研修での経験に匹敵する経験をしている場合には、当該専攻医が症例経験の根拠となる記録を担当指導医に提示し、担当指導医が内科専門研修の経験としてふさわしいと認め、さらに飯塚病院内科専門研修プログラム統括責任者が認めた場合に限り、J-OSLER への登録を認めます。症例経験として適切か否かの最終判定は日本専門医機構内科領域研修委員会の決定によります。

疾病あるいは妊娠・出産、産前後に伴う研修期間の休止については、プログラム終了要件を満たしており、かつ休

職期間が6ヶ月以内であれば、研修期間を延長する必要はないものとします。これを超える期間の休止の場合は、研修期間の延長が必要です。短時間の非常勤勤務期間などがある場合、按分計算(1日8時間、週5日を基本単位とします)を行なうことによって、研修実績に加算します。海外留学期間は、原則として研修期間と認めません。

**飯塚病院内科専門研修施設群**  
**(地方型一般病院のモデルプログラム)**  
**研修期間:3年間(基幹施設2年間+連携・特別連携施設1年間)**

図1。飯塚病院内科専門研修モデル

| 月<br>年次    | 4                                       | 5 | 6        | 7 | 8 | 9        | 10 | 11 | 12               | 1        | 2 | 3 |
|------------|-----------------------------------------|---|----------|---|---|----------|----|----|------------------|----------|---|---|
| 専攻医<br>1年次 | 飯塚病院 院内内科ローテーション<br>(1単位6週～7週)          |   |          |   |   |          |    |    |                  | 連携施設①3ヶ月 |   |   |
|            | 各科レクチャー、医療倫理・医療安全・感染防御セミナー、CPC、JMECC など |   |          |   |   |          |    |    |                  |          |   |   |
| 専攻医<br>2年次 | 連携施設②3ヶ月                                |   | 連携施設③3ヶ月 |   |   | 連携施設④3ヶ月 |    |    | 飯塚病院 院内内科ローテーション |          |   |   |
|            | 各科レクチャー、医療倫理・医療安全・感染防御セミナー、CPC、JMECC など |   |          |   |   |          |    |    |                  |          |   |   |
| 専攻医<br>3年次 | 飯塚病院 院内内科ローテーション                        |   |          |   |   |          |    |    |                  |          |   |   |
|            | 各科レクチャー、医療倫理・医療安全・感染防御セミナー、CPC など       |   |          |   |   |          |    |    |                  |          |   |   |

※院外ローテーションは原則案であり、時期およびローテーション先は、専攻医数および当院もしくは連携施設の状況によっては、例外として、各年次研修先の調整や変更を、当方の判断で行なうこともある。

専攻医1年次および2年次の秋から冬に専攻医の希望・将来像、研修達成度および指導医数やメディカルスタッフによる360度評価(内科専門研修評価)などを基に、飯塚病院院内内科ローテーション診療科・連携施設・時期・順番を決定します。原則1年次の1～2単位は救急部ローテーションがあります。

選択可能な飯塚病院院内内科ローテーション診療科は、肝臓内科、呼吸器内科、内分泌・糖尿病内科、消化器内科、血液内科、総合診療科、膠原病リウマチ内科、連携医療・緩和ケア科、腎臓内科、循環器内科、脳神経内科、集中治療科、漢方診療科、心療内科、感染症科、救急科などです。

表 1. 飯塚病院内科専門研修施設群研修施設(2024 年 4 月現在、剖検数 2024 年度実績)

| 施設<br>区分 | 施設名                              | 病床<br>数 | 内科<br>系病<br>床数 | 内科<br>系診<br>療科<br>数 | 内科<br>指導<br>医数 | 総合<br>内科<br>専門<br>医数 | 内科<br>剖検<br>数 |
|----------|----------------------------------|---------|----------------|---------------------|----------------|----------------------|---------------|
| 基幹       | 飯塚病院                             | 1040    | 561            | 18                  | 37             | 47                   | 9             |
| 連携       | 一般財団法人厚生会 仙台厚生病院                 | 409     | 300            | 5                   | 19             | 23                   | 3             |
| 連携       | 一般財団法人 脳神経疾患研究所附属総合南東北病院         | 461     | 88             | 5                   | 10             | 8                    | 4             |
| 連携       | 一般財団法人 大原記念財団 大原総合病院             | 353     | 9              | 13                  | 15             | 12                   | 0             |
| 連携       | 総合病院水戸協同病院                       | 369     | 160            | 9                   | 17             | 16                   | 3             |
| 連携       | 社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 埼玉県 済生会 川口総合病院 | 424     | 141            | 8                   | 23             | 12                   | 9             |
| 連携       | 公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター   | 344     | 154            | 9                   | 16             | 7                    | 4             |
| 連携       | 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院                   | 917     | 500            | 11                  | 33             | 22                   | 17            |
| 連携       | 国立研究開発法人国立がん研究センター東病院            | 427     | 266            | 21                  | 20             | 22                   | 2             |
| 連携       | 昭和医科大学病院                         | 815     | 359            | 10                  | 81             | 52                   | 29            |
| 連携       | 地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター | 789     | 283            | 12                  | 47             | 50                   | 30            |
| 連携       | 東京科学大学病院                         | 753     | 254            | 11                  | 122            | 77                   | 6             |
| 連携       | 昭和医科大学江東豊洲病院                     | 400     | －              | 4                   | 20             | 24                   | 1             |
| 連携       | 神奈川県立循環器呼吸器病センター                 | 239     | 199            | 3                   | 13             | 15                   | 3             |
| 連携       | 医療法人 徳洲会 湘南鎌倉総合病院                | 669     |                | 15                  | 46             | 29                   | 13            |
| 連携       | 昭和医科大学藤が丘病院                      | 584     | 248            | 5                   | 39             | 26                   | 16            |
| 連携       | 昭和医科大学横浜市北部病院                    | 689     | －              | 4                   | 13             | 13                   | 10            |
| 連携       | 社会医療法人財団石心会 川崎幸病院                | 326     | 110            | 7                   | 10             | 10                   | 6             |
| 連携       | 独立行政法人国立病院機構 相模原病院               | 458     | 211            | 8                   | 22             | 17                   | 13            |
| 連携       | 市立大町総合病院                         | 199     | 107            | 9                   | 1              | 0                    | 1             |
| 連携       | 組合立諏訪中央病院                        | 360     | 230            | 14                  | 14             | 12                   | 5             |
| 連携       | 松波総合病院                           | 501     | 194            | 10                  | 33             | 27                   | 39            |
| 連携       | 伊東市民病院                           | 250     | 135            | 7                   | 5              | 5                    | 7             |
| 連携       | 静岡県立静岡がんセンター                     | 615     | 300            | 12                  | 6              | 20                   | 3             |
| 連携       | 社会福祉法人聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院        | 750     | 345            | 9                   | 18             | 31                   | 13            |
| 連携       | 大同病院                             | 404     | 218            | 13                  | 22             | 17                   | 14            |
| 連携       | 一宮西病院                            | 801     | 230            | 11                  | 23             | 23                   | 12            |
| 連携       | 公立陶生病院                           | 633     | 293            | 11                  | 31             | 30                   | 8             |
| 連携       | 三重県立志摩病院                         | 336     | 96             | 3                   | 3              | 1                    | 3             |
| 連携       | 国立研究開発法人 国立循環器病研究センター            | 527     | 279            | 11                  | 82             | 53                   | 21            |
| 連携       | 社会医療法人愛仁会 明石医療センター               | 382     | 215            | 6                   | 12             | 20                   | 5             |
| 連携       | 公益財団法人 天理よろづ相談所病院                |         | 715            | －                   | 7              | 25                   | 33            |
| 連携       | 島根県立中央病院                         | 520     | 145            | 6                   | 22             | 27                   | 5             |

|          |                              |      |     |    |     |     |    |
|----------|------------------------------|------|-----|----|-----|-----|----|
| 連携       | 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構<br>倉敷中央病院 | 1172 | 445 | 10 | 76  | 52  | 8  |
| 連携       | 宇部中央病院                       | 384  | 127 | 5  | 7   | 3   | 1  |
| 連携       | 総合病院 山口赤十字病院                 | 377  | 80  | 8  | 9   | 10  | 1  |
| 連携       | 回生病院                         | 397  | －   | 9  | 3   | 2   | 2  |
| 連携       | 松山赤十字病院                      | 585  | 244 | 11 | 28  | 31  | 5  |
| 連携       | 愛媛県立中央病院                     | 827  | 250 | 9  | 35  | 34  | 13 |
| 連携       | 社会医療法人 近森会 近森病院              | 489  | 250 | 13 | 30  | 28  | 9  |
| 連携       | 福岡市民病院                       | 204  | 105 | 8  | 9   | 14  | 0  |
| 連携       | 国家公務員共済組合連合会 浜の町病院           | 468  | 245 | 13 | 11  | 25  | 1  |
| 連携       | 米の山病院                        | 219  | 96  | 8  | 5   | 4   | 0  |
| 連携       | 北九州市立医療センター                  | 636  | 165 | 12 | 21  | 23  | 10 |
| 連携       | 九州大学病院                       | 1252 | 372 | 11 | 151 | 127 | 16 |
| 連携       | 独立行政法人国立病院機構 九州医療セン<br>ター    | 702  | 650 | 13 | 34  | 24  | 9  |
| 連携       | 九州がんセンター                     | 411  | 101 | 10 | 8   | 15  | 3  |
| 連携       | 潁田病院                         | 96   | 96  | 2  | 0   | 0   | 0  |
| 連携       | 宮崎市郡医師会病院                    | 267  | －   | 3  | 20  | 13  | 8  |
| 連携       | 済生会飯塚嘉穂病院                    | 197  | 133 | 9  | 0   | 5   | 0  |
| 連携       | 前田病院                         | 129  | 118 | 7  | 4   | 5   | 0  |
| 連携       | 佐賀県医療センター好生館                 | 450  | 178 | 13 | 19  | 29  | 3  |
| 連携       | 佐賀大学医学部附属病院                  | 602  | 210 | 9  | 42  | 51  | 19 |
| 連携       | 独立行政法人国立病院機構 長崎医療セン<br>ター    | 643  | 230 | 13 | 24  | 23  | 9  |
| 連携       | 熊本赤十字病院                      | 490  | 225 | 10 | 25  | 25  | 8  |
| 連携       | 済生会熊本病院                      | 400  | 142 | 8  | 43  | 43  | 2  |
| 連携       | 大分県立病院                       | 557  | 160 | 9  | 11  | 14  | 8  |
| 連携       | 古賀総合病院                       | 362  | 109 | 9  | 7   | 7   | 0  |
| 連携       | 今村総合病院                       | 428  | 200 | 14 | 10  | 14  | 2  |
| 連携       | 沖縄県立中部病院                     | 559  | 201 | 10 | 27  | 18  | 4  |
| 連携       | 社会医療法人 かりゆし会 ハートライフ病<br>院    | 308  | 142 | 4  | 11  | 5   | 5  |
| 連携       | 社会医療法人敬愛会 中頭病院               | 355  | 174 | 9  | 20  | 22  | 9  |
| 連携       | 日本赤十字社医療センター                 | 645  | 167 | 11 | 19  | 36  | 6  |
| 連携       | 健和会大手町病院                     | 499  | 218 | 4  | 11  | 3   | 6  |
| 特別<br>連携 | 松口循環器科内科医院                   | 0    | 0   | 1  | 1   | 0   | 0  |
| 特別<br>連携 | 飯塚記念病院                       | 400  | 0   | 1  | 1   | 1   | 0  |
| 特別<br>連携 | 田川新生病院                       | 90   | 30  | 5  | 0   | 0   | 0  |
| 特別<br>連携 | 京都病院                         | 174  | 174 | 4  | 1   | 1   | 0  |
| 特別<br>連携 | 陣内病院                         | 34   | 34  | 2  | 0   | 1   | 0  |
| 特別<br>連携 | 社会医療法人財団天心堂へつぎ病院             | 188  | 59  | 5  | 4   | 6   | 0  |

|      |                 |     |     |   |   |   |   |
|------|-----------------|-----|-----|---|---|---|---|
| 特別連携 | 霧島市立医師会医療センター   | 254 | -   | 7 | 8 | 5 | 2 |
| 特別連携 | 医療法人徳洲会 中部徳洲会病院 | 408 | 140 | 8 | 3 | 5 | 3 |
| 特別連携 | 瀬戸内徳洲会病院        | 60  | 60  | 1 | 0 | 0 | 0 |

表 2.各内科専門研修施設の内科 13 領域の研修の可能性

○:十分に経験できる △:時々経験できる ×:全く経験できない

| 施設区分 | 施設名                              | 総合内科 | 消化器 | 循環器 | 内分泌 | 代謝 | 腎臓 | 呼吸器 | 血液 | 神経 | アレルギー | 膠原病 | 感染症 | 救急 |
|------|----------------------------------|------|-----|-----|-----|----|----|-----|----|----|-------|-----|-----|----|
| 基幹   | 飯塚病院                             | ○    | ○   | ○   | △   | △  | ○  | ○   | ○  | △  | △     | ○   | △   | ○  |
| 連携   | 一般財団法人厚生会 仙台厚生病院                 | ○    | ○   | ○   | △   | ○  | △  | ○   | ○  | △  | ○     | ○   | ○   | ○  |
| 連携   | 一般財団法人 脳神経疾患研究所附属総合南東北病院         | ○    | ○   | ○   | △   | ○  | △  | ○   | △  | ○  | ○     | △   | ○   | ○  |
| 連携   | 一般財団法人 大原記念財団 大原総合病院             | ○    | ○   | ○   | △   | △  | ○  | ○   | ○  | △  | △     | ○   | △   | ○  |
| 連携   | 総合病院水戸協同病院                       | ○    | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○     | ○   | ×   | ○  |
| 連携   | 社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 埼玉県 済生会 川口総合病院  | ○    | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○   | △  | △  | △     | △   | △   | ○  |
| 連携   | 公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター   | ○    | ○   | ○   | △   | ○  | ○  | ○   | △  | ○  | ○     | ○   | ○   | ○  |
| 連携   | 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院                   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | △   | ○  | ○  | ○     | ○   | ○   | ×  |
| 連携   | 国立研究開発法人国立がん研究センター東病院            | ○    | ○   | ×   | ×   | ×  | ×  | ○   | ○  | ×  | ×     | ×   | ○   | ×  |
| 連携   | 昭和医科大学病院                         | ○    | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○     | ○   | ○   | ○  |
| 連携   | 地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター | ○    | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○     | ○   | ○   | ○  |
| 連携   | 東京科学大学病院                         | ○    | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○     | ○   | ○   | ○  |
| 連携   | 昭和医科大学江東豊洲病院                     | ○    | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○   | ×  | ○  | ○     | ○   | △   | △  |
| 連携   | 神奈川県立循環器呼吸器病センター                 | △    | ×   | ○   | ×   | ×  | ×  | ○   | ×  | ×  | ○     | ×   | ○   | ×  |
| 連携   | 医療法人 徳洲会 湘南鎌倉総合病院                | ○    | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○     | ○   | ○   | ○  |
| 連携   | 昭和医科大学藤が丘病院                      | ×    | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○     | ○   | ○   | ○  |
| 連携   | 昭和医科大学横浜市北部病院                    | ×    | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○     | ○   | ○   | ○  |
| 連携   | 社会医療法人財団石心会 川崎幸病院                | ○    | ○   | ○   | ×   | ×  | ○  | ○   | ×  | △  | ○     | ×   | ○   | ○  |

|    |                                   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|----|-----------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 連携 | 独立行政法人国立病院<br>機構 相模原病院            | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携 | 市立大町総合病院                          | ○ | △ | △ | △ | △ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | △ | △ | ○ |
| 連携 | 組合立諏訪中央病院                         | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携 | 松波総合病院                            | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携 | 伊東市民病院                            | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携 | 静岡県立静岡がんセンタ<br>ー                  | ○ | ○ | △ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | × |
| 連携 | 社会福祉法人聖隷福祉<br>事業団 総合病院聖隷浜<br>松病院  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携 | 大同病院                              | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携 | 一宮西病院                             | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | △ | ○ | × | ○ | × | ○ |
| 連携 | 公立陶生病院                            | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携 | 三重県立志摩病院                          | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | △ | △ | ○ | ○ |
| 連携 | 国立研究開発法人 国立<br>循環器病研究センター         | △ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | × | × | △ | ○ |
| 連携 | 社会医療法人愛仁会 明<br>石医療センター            | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携 | 公益財団法人 天理よろ<br>づ相談所病院             | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携 | 島根県立中央病院                          | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携 | 公益財団法人大原記念<br>倉敷中央医療機構 倉敷<br>中央病院 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携 | 宇部中央病院                            | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 連携 | 総合病院 山口赤十字病<br>院                  | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | × | ○ | △ | ○ | △ | ○ |
| 連携 | 回生病院                              | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | △ | ○ | △ | △ | × | △ | ○ |
| 連携 | 松山赤十字病院                           | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携 | 愛媛県立中央病院                          | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携 | 社会医療法人 近森会<br>近森病院                | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携 | 福岡市民病院                            | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| 連携 | 国家公務員共済組合連<br>合会 浜の町病院            | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携 | 米の山病院                             | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | △ | ○ | △ | ○ | ○ |
| 連携 | 北九州市立医療センター                       | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携 | 九州大学病院                            | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携 | 独立行政法人国立病院<br>機構 九州医療センター         | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携 | 九州がんセンター                          | △ | ○ | △ | △ | △ | × | △ | ○ | × | × | × | △ | △ |
| 連携 | 潁田病院                              | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | × | △ | △ | ○ |
| 連携 | 宮崎市郡医師会病院                         | ○ | ○ | ○ | △ | △ | ○ | ○ | ○ | △ | △ | ○ | △ | ○ |
| 連携 | 済生会飯塚嘉穂病院                         | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | × | ○ | × | △ | × | △ | △ | ○ |
| 連携 | 前田病院                              | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ | ○ | ○ |
| 連携 | 佐賀県医療センター好生<br>館                  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ |
| 連携 | 佐賀大学医学部附属病                        | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

|          |                           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|----------|---------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|          | 院                         |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 連携       | 独立行政法人国立病院<br>機構 長崎医療センター | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ |
| 連携       | 熊本赤十字病院                   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携       | 済生会熊本病院                   | ○ | ○ | ○ | × | △ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ |
| 連携       | 大分県立病院                    | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ |
| 連携       | 古賀総合病院                    | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | △ | △ | × | △ | × |
| 連携       | 今村総合病院                    | ○ | ○ | △ | △ | △ | ○ | ○ | ○ | △ | △ | ○ | ○ | ○ |
| 連携       | 沖縄県立中部病院                  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携       | 社会医療法人 かりゆし<br>会 ハートライフ病院 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | △ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携       | 社会医療法人敬愛会 中<br>頭病院        | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | △ | ○ | ○ |
| 連携       | 日本赤十字社医療センタ<br>ー          | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 連携       | 健和会大手町病院                  | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | × | △ | ○ | △ | △ | ○ | ○ |
| 特別<br>連携 | 松口循環器科内科医院                | ○ | × | ○ | × | × | × | ○ | × | × | ○ | × | × | × |
| 特別<br>連携 | 飯塚記念病院                    | ○ | × | △ | △ | ○ | ○ | ○ | × | △ | × | × | △ | △ |
| 特別<br>連携 | 田川新生病院                    | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | × | ○ | × | × | × | × |
| 特別<br>連携 | 京都病院                      | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ | △ | △ | ○ | △ | △ | △ | × |
| 特別<br>連携 | 陣内病院                      | ○ | △ | ○ | △ | ○ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 特別<br>連携 | 社会医療法人財団天心<br>堂へつぎ病院      | ○ | △ | ○ | △ | △ | ○ | ○ | △ | △ | ○ | △ | ○ | ○ |
| 特別<br>連携 | 霧島市立医師会医療セン<br>ター         | ○ | ○ | ○ | △ | × | × | × | ○ | × | △ | × | △ | ○ |
| 特別<br>連携 | 医療法人徳洲会 中部徳<br>洲会病院       | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 特別<br>連携 | 瀬戸内徳州会病院                  | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ | ○ | △ | ○ | △ | △ | ○ | ○ |

## 専門研修施設群の構成要件【整備基準 25】

多岐にわたる疾患群を経験するため、飯塚病院内科専門研修施設群研修施設は福岡県筑豊医療圏の地域包括ケア・認知症ケアに加えて、僻地・離島医療の経験を積むことができる医療機関などから構成されています。

飯塚病院は、福岡県筑豊医療圏の中心的な急性期病院であるとともに、地域の病診・病病連携の中核です。一方で、地域に根ざす第一線の病院でもあり、コモンディジーズの経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病病連携や診療所（在宅訪問診療施設などを含む）との病診連携も経験できます。また、臨床研究や症例報告などの学術活動の素養を身につけます。

連携施設、特別連携施設には、内科専攻医の多様な希望・将来性に対応し、地域医療や全人的医療を組み合わせ、急性期医療、慢性期医療および患者の生活に根ざした地域医療を経験できることを目的に、高次機能病院である九州医療センター、小倉記念病院、今村総合病院、神奈川県立循環器呼吸器病センター、および地域医療病院である潁田病院、飯塚記念病院、京都（みやこ）病院、田川新生病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、伊東市立病院、三重県立志摩病院、瀬戸内徳州会病院、古賀総合病院、陣内病院、前田病院で構成しています。

九州医療センター、小倉記念病院、今村総合病院では、飯塚病院とは異なる医療圏において、高度な急性期医療とより専門的な内科診療、希少疾患を中心とした診療を経験します。

潁田病院、飯塚記念病院、京都病院、田川新生病院、松口循環器科内科医院では、同じ筑豊医療圏において、地域に根ざした医療、地域包括ケア、在宅医療などを中心とした診療を経験します。

千葉県の東京ベイ・浦安市川医療センターは、急性期でありながらも地域医療振興協会の活動として、定期的に指導医が地域の僻地診療を行っているため、ローテーション時にはその診療についても指導を受ける機会があります。また、同施設で指導にあたる内科医師 5 名は飯塚病院研修修了者・指導医であり（地域医療を守るために赴任を支援してきました）、このため当院と同等の研修の質は保たれます。

神奈川県立循環器呼吸器病センターは、循環器および呼吸器疾患の専門病院です。陣内病院、前田病院は、地域における腎臓内科専門研修を行う場です。いずれも飯塚病院では経験できない希少かつ重要な症例、経験豊富な指導医の下で学ぶ事ができます。なお、前田病院には飯塚病院の元指導医経験者がいます。

瀬戸内徳州会病院、伊東市民病院、三重県立志摩病院、古賀総合病院は、都市部の総合病院では経験できないような、僻地・離島の診療を研修するために賛同を得られた施設です。

## 専門研修施設（連携施設・特別連携施設）の選択

- ・ 専攻医 1 年次および 2 年次の秋から冬の間、専攻医の希望・将来像、研修達成度、および内科専門研修評価などを基に、研修施設を調整し決定します。
- ・ 専攻医 3 年次には研修達成度により、サブスペシャル研修の是非も含めて調整します。

## 専門研修施設群の地理的範囲【整備基準 26】

連携施設の中には距離が離れている施設もありますが、全連携施設での研修中は、塚病院のプログラム管理委員会と各施設の研修担当者とは管理と指導の責任を持ちます。特別連携施設での研修においては、飯塚病院の指導医が定期的に各施設を訪れ、各施設の上級医とともに、専攻医の研修指導にあたり、指導の質を保ちます。なお、各連携施設・特別連携施設での研修中は施設近辺に宿泊施設を設けるなど、基幹施設と連携施設とが相互に協力し、専攻医が研修に集中できる環境を整えます。

# 1)専門研修基幹施設

株式会社麻生 飯塚病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 23】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>● 研修に必要な図書室とインターネット環境(有線 LAN、Wi-Fi)があります。</li> <li>● 飯塚病院専攻医として勤務環境が保障されています。</li> <li>● メンタルストレスに適切に対処する部署およびハラスメント窓口として医務室があります。医務室には産業医および看護師が常駐しています。</li> <li>● 女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>● 敷地内に 24 時間対応院内託児所、隣接する施設に病児保育室があり、利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 23】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指導医は 37 名在籍しています。</li> <li>● 内科専門研修プログラム管理委員会にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。</li> <li>● 基幹施設内で研修する専攻医の研修を管理する、内科専門研修委員会を設置します。</li> <li>● 医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的開催(2024 年実績 医療倫理 4 回、医療安全 10 回、感染対策 4 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>● CPC を定期的開催(2024 年実績 5 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>● プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>● 特別連携施設の専門研修では、症例指導医と飯塚病院の担当指導医が連携し研修指導を行います。なお、研修期間中は飯塚病院の担当指導医による定期的な電話や訪問での面談・カンファレンスなどにより研修指導を行います。</li> <li>● 日本専門医機構による施設実地調査に教育推進本部が対応します。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 23/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>● 70 疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも 45 以上の疾患群)について研修できます。</li> <li>● 専門研修に必要な剖検を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 23】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 臨床研究に必要な図書室などを整備しています。</li> <li>● 倫理委員会を設置し、定期的開催しています。</li> <li>● 治験管理室を設置し、定期的に受託研究審査会を開催しています。</li> <li>● 日本内科学会講演会あるいは同地方会での学会発表を行っています。また、国内外の内科系学会での学会発表にも積極的に取り組める環境があります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>本村 健太</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>飯塚病院内科専門研修プログラムを通じて、プライマリ・ケアから高度急性期医療、地方都市から僻地・離島の全ての診療に対応できるような能力的基盤を身に付けることができます。米国ピッツバーグ大学の教育専門医と、6 年間に亘り共同で医学教育システム作りに取り組んだ結果構築し得た教育プログラムおよび教育指導方法を反映した研修を行います。</p> <p>専攻医の皆さんの可能性を最大限に高めるための「価値ある」内科専門研修プログラムを作り続ける覚悟です。将来のキャリアパスが決定している方、していない方、いずれに対しても価値のある研修を行います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)<br/>[2025 年度]</p>          | <p>日本内科学会指導医 14 名、日本内科学会総合内科専門医 47 名<br/>日本消化器病学会消化器病専門医 16 名、日本循環器学会循環器専門医 8 名<br/>日本糖尿病学会糖尿病専門医 3 名、日本腎臓病学会腎臓専門医 4 名<br/>日本呼吸器学会呼吸器専門医 11 名、日本血液学会血液専門医 2 名<br/>日本神経学会神経内科専門医 4 名、日本アレルギー学会アレルギー専門医 1 名<br/>日本リウマチ学会リウマチ専門医 7 名、日本感染症学会専門医 2 名、ほか</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>外来・入院患者数<br/>[2024 年度実績]</p>              | <p>外来患者 1,660 名(1 ヶ月平均) 入院患者 1,786 名(1 ヶ月平均)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | 幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本内科学会 教育病院<br>日本救急医学会 救急科指定施設<br>日本消化器病学会 認定施設<br>日本循環器学会 研修施設<br>日本呼吸器学会 認定施設<br>日本血液学会 研修施設<br>日本糖尿病学会 認定教育施設<br>日本腎臓学会 研修施設<br>日本肝臓学会 認定施設<br>日本神経学会 教育施設<br>日本リウマチ学会 教育施設<br>日本臨床腫瘍学会 研修施設<br>日本消化器内視鏡学会 指導施設<br>日本消化管学会 胃腸科指導施設<br>日本呼吸器内視鏡学会 認定施設<br>日本呼吸療法医学会 研修施設<br>飯塚・潁田家庭医療プログラム<br>日本緩和医療学会 認定研修施設<br>日本心血管インターベンション治療学会 研修施設<br>日本不整脈学会・日本心電図学会認定 不整脈専門医研修施設<br>日本肝胆膵外科学会 高度技能専門医修練施設 A<br>日本胆道学会指導施設<br>日本がん治療医認定医機構 認定研修施設<br>日本透析医学会 認定施設<br>日本高血圧学会 認定施設<br>日本脳卒中学会 研修教育病院<br>日本臨床細胞学会 教育研修施設<br>日本東洋医学会 研修施設<br>日本静脈経腸栄養学会 NST 稼動施設<br>日本栄養療法推進協議会 NST 稼動施設 など |

## 2) 専門研修連携施設

### 仙台厚生病院

|                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1) 専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・常勤医師として勤務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレス・ハラスメントに適切に対処する部署(総務部)があります。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・敷地内に院内保育所および病児・病後児保育所があり、利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2) 専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は19名在籍しています。</li> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修委員会を設置、既存の医学教育支援室と連携し活動します。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行う(2024年度実績 43回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催(予定)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPCを定期的に開催(2024年度実績 5 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンスを定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講(年1回開催、インストラクター2名在籍、院内開催実績8回)を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に医学教育支援室が対応します。</li> <li>・特別連携施設(永仁会病院、古川星陵病院、仙石病院、広南病院)の専門研修では、電話や週 1 回の仙台厚生病院での面談・カンファレンスなどにより指導医がその施設での研修指導を行います。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3) 診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野(少なくとも 7 分野以上)で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも 35 以上の疾患群)について研修できます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4) 学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室、読影室などを整備しています。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的に行います。</li> <li>・治験管理室を設置し、定期的に治験委員会を開催(2024 年度実績 10 回)しています。</li> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 3 演題以上の学会発表(2017 年度実績 3 演題)をしています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>指導責任者</p>                                  | <p>木村 雄一郎<br/>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>仙台厚生病院は宮城県仙台医療圏の中心的な急性期病院であり、仙台医療圏および大崎・栗原医療圏、東京都区西部および区西北部保健医療圏にある連携施設・特別連携施設とで内科専門研修を行い、必要に応じた可塑性のある、地域医療にも貢献できる内科専門医を目指します。</p> <p>主担当医として入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで経時的に、診断・治療の流れを通じて、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医になります。</p> <p>なお特記すべき内容として、三陸沿岸からの移住者が震災後に非常に増加している大崎・栗原医療圏の地域密着型病院での研修を必須としています。これらの施設では訪問診療を含めた地域医療、高齢者医療の経験を十分に積むことを目標とします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                         | <p>日本内科学会指導医 19 名、日本内科学会総合内科専門医 23 名、<br/>日本内科学会認定内科医 36 名、内科専門医 13 名、<br/>日本循環器学会循環器専門医 18 名、日本消化器病学会消化器専門医 14 名、<br/>日本肝臓内科肝臓専門医 4 名、日本呼吸器学会呼吸器専門医 8 名、</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | 日本神経学会神経内科専門医 1 名、日本感染症学会感染症専門医 1 名、日本アレルギー学会専門医 2 名、ほか                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 外来・入院患者数        | 年間入院患者実数 17,987 名、年間新外来患者数 11,453 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 経験できる疾患群        | きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本内科学会認定医制度教育病院<br>日本循環器学会循環器専門医研修施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修施設<br>日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設<br>日本呼吸器学会認定施設<br>日本消化器内視鏡学会指導施設<br>日本消化器病学会専門医制度認定施設<br>日本消化器がん検診学会認定指導施設<br>日本感染症学会研修施設<br>日本がん治療認定医機構 日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br>日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設<br>日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設<br>日本カプセル内視鏡学会指導施設<br>浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設<br>日本集中治療医学会専門医研修施設<br>下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設<br>日本肝臓学会認定施設<br>日本循環器学会経皮的僧帽弁接合不全修復システム実施施設<br>経カテーテル的心臓弁治療関連学会協議会 経カテーテルの大動脈弁置換術指導施設<br>日本成人先天性心疾患学会成人先天性心疾患専門医連携修練施設<br>日本循環器学会左心耳閉鎖システム実施施設<br>補助人工心臓治療関連学会協議会 IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル実施施設<br>日本 Pediatric Interventional Cardiology 学会・日本心血管インターベンション治療学会合同教育委員会認定の経皮的動脈管閉鎖術施行施設<br>日本 Pediatric Interventional Cardiology 学会・日本心血管インターベンション治療学会合同教育委員会認定の経皮的心房中隔欠損閉鎖術施行施設<br>日本心血管インターベンション治療学会潜因性脳梗塞に対する卵円孔開存閉鎖術実施施設<br>日本心エコー図学会 心エコー図専門医制度研修認定施設<br>日本アレルギー学会 アレルギー専門医準教育研修認定施設 |

総合南東北病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <p>初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。<br/>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。<br/>・総合南東北病院専攻医として勤務環境が保障されています。<br/>・メンタルストレスに適切に対処する部署があります。<br/>・ハラスメント委員会がハ整備されています。<br/>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。<br/>・病児保育、病後児保育を含め利用可能です。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <p>・指導医が 10 名在籍しています<br/>・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。<br/>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。<br/>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。<br/>・CPC を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。<br/>・地域参加型のカンファレンスを定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</p>                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <p>カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、消化器、循環器、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、感染症および救急の分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <p>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表をしています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>神経内科 科長 金子 知香子<br/>若い時に出来るだけたくさんの症例を経験してください。守備範囲を決めるのは自分自身です。当院は軽症例から重症例まで幅広く経験することができます。医師不足に悩む地方都市の中核病院であり、症例や手技の取りあいはありません。臨床の出来ない医師にならないように、臨床の基礎から難病・重症例の対応まで丁寧に指導します。脳神経内科では脳卒中、神経免疫疾患、神経変性疾患、神経感染症、神経筋疾患など神経救急から慢性期まですべてを経験できます。グループ制ではないため多種類の疾患を同時に経験する事も可能です。福島県立医科大学名誉教授である山木梯司先生、現:福島県立医科大学医学部多発性硬化症治学講座・藤原一男教授が在籍され、系統だった神経診察の指導、学会発表・研究・論文指導をしています。<br/>若い時の 3 年間は貴重です。臨床経験を積んだ後、大学院進学、また修練のための他院への移動など、様々な進路にも柔軟に対応できる病院です。出産・育児・介護、また自分自身の病気といったライフ・イベントへのサポート体制も整っています。臨床医を目指す方、大学に進む研究テーマを探している方、ぜひ貴重な 3 年間で一緒に研鑽を積みましょう。</p> |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)<br/>重複あり</p>               | <p>日本循環器学会循環器専門医 8 名、日本消化管学会胃腸科専門医 2 名、日本消化器内視鏡学会専門医 5 名、日本消化器病学会消化器病専門医 5 名、日本神経学会神経内科専門医 4 名、日本内科学会総合内科専門医 7 名、日本救急医学会救急科専門医 1 名、日本呼吸器学会専門医 2 名</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来患者数: 497,946 名(1 年・延人数)<br/>入院患者数: 183,241 名(1 年・延人数)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                        | <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p>                      | <p>日本内科学会認定教育関連病院<br/>日本呼吸器学会認定施設<br/>日本神経学会認定教育施設<br/>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

|  |                                          |
|--|------------------------------------------|
|  | 日本消化器病学会専門医認定施設<br>日本消化器内視鏡学会認定指導施設<br>等 |
|--|------------------------------------------|

一般財団法人 大原記念財団 大原総合病院

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・財団附属病院の精神科でメンタルストレスへ適切に対処しており、またハラスメント窓口があります。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、更衣室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・隣接する施設に財団施設である保育所があり、利用可能です。</li> </ul>      |
| 2) 専門研修プログラムの環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医が在籍しています。</li> <li>医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的開催(2024 年度実績 倫理委員会 1 回、医療安全委員会 月 1 回、感染管理委員会 月 1 回)し、専攻医が参加できます。</li> <li>・CPC を定期的開催(2024 年実績 4 回)し、専攻医も参加ができます。</li> </ul>                                                       |
| 3) 診療経験の環境            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・内科(消化器内科・腎臓内科・循環器内科・呼吸器内科・糖尿病内分泌内科・脳神経内科)で、専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> </ul>                                                                                                                                                    |
| 4) 学術活動の環境            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室などを整備しています。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的開催しています。</li> <li>・国内外の内科系学会での学会発表にも積極的に取り組める環境があります。</li> </ul>                                                                                                                |
| 指導責任者                 | <p>齋藤 修一</p> <p>【メッセージ】</p> <p>当院は東北新幹線の福島駅から近く、福島県庁や福島県警など県内の主要な公的施設の近隣に位置する病院です。2018 年に免震機能を有した新病院になり 8 年目を迎えました。明るく楽しい雰囲気の中で成長できる環境が揃っております。</p>                                                                                                                   |
| 指導医数<br>(常勤医)         | <p>日本内科学会総合内科専門医 12 名</p> <p>日本消化器病学会消化器専門医 4 名、日本循環器学会循環器専門医 6 名</p> <p>日本糖尿病学会糖尿病専門医 1 名、日本腎臓病学会腎臓専門医 3 名</p> <p>日本呼吸器学会呼吸器専門医 2 名、日本神経学会神経内科専門医 1 名、日本アレルギー学会アレルギー専門医 2 名、日本感染症学会専門医 1 名、ほか</p>                                                                    |
| 外来・入院患者数<br>[2023 年度] | <p>外来患者 380 名(内科系初診患者数 1 ヶ月)2024 年度実績</p> <p>入院患者 258 名(内科系新入院数 1 ヶ月)2024 年度実績</p>                                                                                                                                                                                    |
| 経験できる疾患群              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                   |
| 経験できる技術・技能            | <p>内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                    |
| 経験できる地域医療・診療連携        | <p>急性期医療だけでなく、地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。</p>                                                                                                                                                                                                                         |
| 学会認定施設<br>(内科系)       | <p>日本消化器病学会 認定施設</p> <p>日本循環器学会 研修施設</p> <p>日本腎臓学会 研修施設</p> <p>日本肝臓学会 特別連携施設</p> <p>日本神経学会 准教育施設</p> <p>日本消化器内視鏡学会 指導施設</p> <p>日本呼吸器内視鏡学会 関連認定施設</p> <p>日本心血管インターベンション治療学会 研修関連施設</p> <p>日本がん治療医認定医機構 認定研修施設</p> <p>日本透析医学会 教育関連施設</p> <p>日本臨床細胞学会 認定施設</p> <p>など</p> |

水戸協同病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・ 筑波大学附属病院水戸地域医療教育センターを設置し、民間病院の中に国立大学の教育システムを導入して、筑波大学の教員である医師が共同で診療・教育を行っています。</li> <li>・ 研修に必要な図書室とインターネット環境があります。筑波大学附属図書館と直結したインターネット回線があり、筑波大学で契約している電子ジャーナルを共有しています。</li> <li>・ 病院職員（常勤）として労務環境が保障されています。</li> <li>・ メンタルストレスおよびハラスメントに適切に対処する部署があります（茨城県厚生連内）。</li> <li>・ 女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・ 敷地内に院内保育所があり、利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導医は 17 名在籍しています。</li> <li>・ 総合病院水戸協同病院総合内科専門研修プログラム管理委員会（統括責任者、プログラム管理委員長にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。</li> <li>・ 基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する臨床研修管理委員会を設置します。</li> <li>・ 医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催（2024 年度 4 回、2023 年度 4 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催（2024 年度 2 回、2023 年度 2 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ CPC（2024 年度 5 回）、マクロ CPC（2024 年度 4 回）を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 地域参加型のカンファレンスを定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講（2024 年度開催実績 2 回）を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 日本専門医機構による施設実地調査に臨床研修管理委員会が対応します。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野（少なくとも 7 分野以上）で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・ 70 疾患群のうちほぼ全疾患群（少なくとも 35 以上の疾患群）について研修できます。</li> <li>・ 専門研修に必要な剖検（2024 年度 3 体）を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨床研究に必要な図書室などを整備しています。</li> <li>・ 倫理委員会を設置し、不定期に開催しています。</li> <li>・ 治験管理室を設置し、定期的に受託研究審査会を開催しています。筑波大学の教員が訪問して臨床研究相談会を開催しています。</li> <li>・ 日本内科学会講演会あるいは同地方会で積極的に学会発表をしています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>小林 裕幸</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>水戸協同病院は筑波大学附属病院水戸地域医療教育センターを設置し、大学病院でも一般病院でも実現困難な、全く新しい診療と臨床研修体制を実現しました他に例を見ないこの体制は誰もが描く診療と研修の理想像に近く、あの Tierney 先生の一番弟子である UCSF の Dhaliwal 先生をして「嫉妬を感じる」と言わしめた体制です。その体制の中核は、病院全体が水戸協同病院でありかつ教育センターであること、内科、救急、集中治療の間に垣根がない総合診療体制で、他のすべての科を含んだ病院全体が一体化していること、毎朝、毎週、全内科はもちろん病理学部門を含む主要科がそろって症例検討すること、教授から研修医までみんなの目線が等しくいつでもどこでも、普通に気軽に相談、討論できること、そして、「すべては研修医のために」を方針として常に体制を見直していることです。さあ、皆さん、一緒に学び、そして地域医療に貢献しようではありませんか。</p>                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>指導医数<br/>（常勤医）</p>                        | <p>日本内科学会指導医 17 名、日本内科学会総合内科専門医 16 名、<br/>日本消化器病学会消化器専門医 4 名、日本循環器学会循環器専門医 3 名、<br/>日本糖尿病学会専門医 4 名、日本腎臓学会腎臓専門医 2 名、<br/>日本呼吸器学会呼吸器専門医 2 名、日本神経学会神経内科専門医 1 名、ほか</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 外来・入院患者数        | 外来患者 606 名(1 日平均) 入院患者 227.7 名(1 日平均)2024.4～2025.3                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 経験できる疾患群        | きわめて稀な疾患を除いて、「研修手帳(疾患群項目表)」にある 13 領域, 70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 経験できる技術・技能      | 「技術・技能評価手帳」にある内科専門医に必要な技術・技能を, 実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 急性期医療だけでなく, 超高齢社会に対応した地域に根ざした医療, 病診・病病連携なども経験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本内科学会認定教育施設<br>日本病院総合診療医学会認定施設<br>日本呼吸器学会認定施設<br>日本循環器学会循環器研修施設<br>日本消化器病学会認定施設<br>日本血液学会認定研修施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設<br>日本消化器内視鏡学会指導施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本静脈経腸栄養学会(NST 稼働施設認定)<br>日本頭痛学会認定教育施設<br>日本脳卒中学会認定研修教育病院<br>日本人間ドック学会会員施設<br>日本緩和医療学会認定研修施設<br>日本緩和医療学会緩和ケアチーム登録施設<br>救急科専門医指定施設、DMAT 指定病院<br>茨城県広域スポーツセンタースポーツ医科学推進事業協力医療機関認定施設 など |

埼玉県済生会川口総合病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・常勤職員(嘱託職員)として労働環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(心理相談室)があります。</li> <li>・ハラスメント委員会が整備されています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・保育所があり、利用可能です。</li> <li>・希望者には宿舎(単身者)が利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                      |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は 21 名在籍しています。</li> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修委員会を設置します。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型カンファレンスを定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に当院が対応します。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち少なくとも 7 分野以上で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・70 疾患群のうち少なくとも 35 以上の疾患群について研修できます。</li> <li>・専門研修に必要な剖検(2024 年度 10 体:内科 9 体)を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室などを整備しています。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的に開催しています。</li> <li>・治験管理室を設置し、定期的に受託研究審査会を開催しています。</li> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 3 演題以上の学会発表をしています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>田中 聡(プログラム統括責任者)</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>埼玉県済生会川口総合病院は最寄り駅(西川口駅)まで東京駅から 30 分、新宿駅から 25 分、大宮駅から 20 分の位置にある埼玉県南部医療圏の中心的な急性期病院です。埼玉県内及び近隣医療圏にある大学病院を含む連携施設で内科専門研修を行い、リサーチマインドを刺激しつつ地域医療にも貢献できる内科専門医の育成を目指します。</p> <p>主担当医として入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで経時的に、診断・治療の流れを通じて、患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療の実践ができる、みなさんがそんな内科専門医に成長できるように済生会川口総合病院はスタッフ全員で支援致します。</p>                                                                                                                                                                   |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会総合内科専門医 12 名、日本消化器病学会消化器専門医 7 名、<br/>日本循環器学会循環器専門医 7 名、日本腎臓学会専門医 4 名、<br/>日本糖尿病学会専門医 3 名、日本内分泌学会内分泌専門医 1 名、<br/>日本呼吸器学会呼吸器専門医 3 名、日本肝臓学会肝臓専門医 3 名、<br/>日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医 1 名、日本消化器内視鏡学会専門医 10 名、<br/>日本神経学会専門医 1 名 ほか</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>延べ外来患者:7,962 名/月(2024 年度) 入院患者総数:440 名/月(2024 年度)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>消化器・循環器・代謝・腎臓・救急などの領域では幅広く症例を経験することができます。連携する大学病院や国立埼玉東病院での補完的研修では、一般病院では経験することが難しい疾患を学ぶことができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、臨床の第一線病院ならではのメリットを活かして、実際の症例に基づきながら幅広く、しかも深く経験することができます。                                                                                                                                                                  |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 急性期だけでなく、超高齢社会にも対応した地域に根ざした医療、病診連携なども多数の部門スタッフとの協働の中で経験できます。                                                                                                                                                                                          |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本内科学会認定制度審議会認定教育病院<br>日本消化器病学会認定施設<br>日本呼吸器学会認定施設<br>日本糖尿病学会認定教育施設<br>日本腎臓学会研修施設<br>日本消化器内視鏡学会認定指導施設<br>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br>日本肝臓学会認定施設<br>日本透析医学会認定医制度認定施設<br>日本内分泌学会認定教育施設<br>日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設<br>など |

一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <p>初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。<br/>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。<br/>・総合南東北病院専攻医として勤務環境が保障されています。<br/>・メンタルストレスに適切に対処する部署があります。<br/>・ハラスメント委員会が整備されています。<br/>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。<br/>・病児保育、病後児保育を含め利用可能です。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <p>・指導医が 10 名在籍しています<br/>・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。<br/>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。<br/>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。<br/>・CPC を定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。<br/>・地域参加型のカンファレンスを定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <p>カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、消化器、循環器、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、感染症および救急の分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <p>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表をしています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>神経内科 科長 金子 知香子<br/>【内科専攻医へのメッセージ】<br/>若い時に出来るだけたくさんの症例を経験してください。守備範囲を決めるのは自分自身です。当院は軽症例から重症例まで幅広く経験することができます。医師不足に悩む地方都市の中核病院であり、症例や手技の取りあいはありません。臨床の出来ない医師にならないように、臨床の基礎から難病・重症例の対応まで丁寧に指導します。脳神経内科では脳卒中、神経免疫疾患、神経変性疾患、神経感染症、神経筋疾患など神経救急から慢性期まですべてを経験できます。グループ制ではないため多種類の疾患を同時に経験する事も可能です。福島県立医科大学名誉教授である山本悌司先生、現・福島県立医科大学医学部多発性硬化症治学講座・藤原一男教授が在籍され、系統だった神経診察の指導、学会発表・研究・論文指導をしています。<br/>若い時の 3 年間は貴重です。臨床経験を積んだ後、大学院進学、また修練のための他院への移動など、様々な進路にも柔軟に対応できる病院です。出産・育児・介護、また自分自身の病気といったライフ・イベントへのサポート体制も整っています。臨床医を目指す方、大学に進む研究テーマを探している方、ぜひ貴重な 3 年間で一緒に研鑽を積みましょう。</p> |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本循環器学会循環器専門医 8 名、日本消化管学会胃腸科専門医 1 名、日本消化器内視鏡学会専門医 4 名、日本消化器病学会消化器病専門医 5 名、日本神経学会神経内科専門医 4 名、日本内科学会総合内科専門医 8 名、日本救急医学会救急科専門医 2 名、日本呼吸器学会専門医 1 名、ほか</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来患者数:504, 714 名(1 年・延人数)<br/>入院患者数:180, 619 名(1 年・延べ人数)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                        | <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>学会認定施設</p>                                | <p>日本内科学会認定教育関連病院</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

|       |                                                                                             |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| (内科系) | 日本呼吸器学会認定施設<br>日本神経学会認定教育施設<br>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br>日本消化器病学会専門医認定施設<br>日本消化器内視鏡学会認定指導施設 等 |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------|

水戸協同病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・ 筑波大学附属病院水戸地域医療教育センターを設置し、民間病院の中に国立大学の教育システムを導入して、筑波大学の教員である医師が共同で診療・教育を行っています。</li> <li>・ 研修に必要な図書室とインターネット環境があります。筑波大学附属図書館と直結したインターネット回線があり、筑波大学で契約している電子ジャーナルを共有しています。</li> <li>・ 病院職員（常勤）として労務環境が保障されています。</li> <li>・ メンタルストレスおよびハラスメントに適切に対処する部署があります（茨城県厚生連内）。</li> <li>・ 女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・ 敷地内に院内保育所があり、利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導医は 14 名在籍しています。</li> <li>・ 総合病院水戸協同病院総合内科専門研修プログラム管理委員会（統括責任者、プログラム管理委員長にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります）。</li> <li>・ 基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する臨床研修管理委員会を設置します。</li> <li>・ 医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行う（2023 年度 3 回、2022 年度 3 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 研修施設群合同カンファレンスを定期的に行う（2023 年度 2 回、2022 年度 2 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ CPC（2023 年度 4 回）、マクロ CPC（2023 年度 4 回）を定期的に行うし、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 地域参加型のカンファレンスを定期的に行うし、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講（2023 年度開催実績 2 回）を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 日本専門医機構による施設実地調査に臨床研修管理委員会が対応します。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野（少なくとも 7 分野以上）で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・ 70 疾患群のうちほぼ全疾患群（少なくとも 35 以上の疾患群）について研修できます。</li> <li>・ 専門研修に必要な剖検（2023 年度 7 体）を行っています。</li> <li>・ カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野（少なくとも 7 分野以上）で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・ 70 疾患群のうちほぼ全疾患群（少なくとも 35 以上の疾患群）について研修できます。</li> <li>・ 専門研修に必要な剖検（2023 年度 7 体）を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨床研究に必要な図書室などを整備しています。</li> <li>・ 倫理委員会を設置し、不定期に開催しています。</li> <li>・ 治験管理室を設置し、定期的に受託研究審査会を開催しています。筑波大学の教員が訪問して臨床研究相談会を開催しています。</li> <li>・ 日本内科学会講演会あるいは同地方会で積極的に学会発表をしています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>小林 裕幸<br/>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>水戸協同病院は筑波大学附属病院水戸地域医療教育センターを設置し、大学病院でも一般病院でも実現困難な、全く新しい診療と臨床研修体制を実現しました他に例を見ないこの体制は誰もが描く診療と研修の理想像に近く、あの Tierney 先生の一歩弟子である UCSF の Dhaliwal 先生をして「嫉妬を感じる」と言わしめた体制です。その体制の中核は、病院全体が水戸協同病院でありかつ教育センターであること、内科、救急、集中治療の間に垣根がない総合診療体制で、他のすべての科を含んだ病院全体が一体化していること、毎朝、毎週、全内科はもちろん病理学部門を含む主要科がそろって症例検討すること、教授から研修医までみんなの目線が等しくいつでもどこでも、普通に気軽に相談、討論できること、そして、「すべては研修医のために」を方針として常に体制を見直していることです。さあ、皆</p>                                                                                                                                                                                                                                                    |

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                       | さん、一緒に学び、そして地域医療に貢献しようではありませんか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 指導医数<br>(常勤医)<br>重複あり | 日本内科学会指導医 14 名, 日本内科学会総合内科専門医 13 名,<br>日本消化器病学会消化器専門医 1 名, 日本循環器学会循環器専門医 2 名,<br>日本糖尿病学会専門医 3 名, 日本腎臓学会腎臓専門医 1 名,<br>日本呼吸器学会呼吸器専門医 2 名, 日本神経学会神経内科専門医 1 名, ほか                                                                                                                                                                                               |
| 外来・入院患者数              | 内科外来患者 271.6 名(1 日平均) 内科入院患者 164.1 名(1 日平均)2023.4~2024.3                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 経験できる疾患群              | きわめて稀な疾患を除いて、「研修手帳(疾患群項目表)」にある 13 領域, 70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 経験できる技術・技能            | 「技術・技能評価手帳」にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 経験できる地域医療・診療連携        | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療, 病診・病病連携なども経験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 学会認定施設<br>(内科系)       | 日本内科学会認定教育施設<br>日本病院総合診療医学会認定施設<br>日本呼吸器学会認定施設<br>日本循環器学会循環器研修施設<br>日本消化器病学会認定施設<br>日本血液学会認定研修施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設<br>日本消化器内視鏡学会指導施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本静脈経腸栄養学会(NST 稼動施設認定)<br>日本頭痛学会認定教育施設<br>日本脳卒中学会認定研修教育病院<br>日本人間ドック学会会員施設<br>日本緩和医療学会認定研修施設<br>日本緩和医療学会緩和ケアチーム登録施設<br>救急科専門医指定施設、DMAT 指定病院<br>茨城県広域スポーツセンタースポーツ医科学推進事業協力医療機関認定施設 など |

東京ベイ・浦安市川医療センター

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・東京ベイ・浦安市川医療センター専攻医として勤務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(総務課職員担当)があります。</li> <li>・ハラスメント委員会が東京ベイ・浦安市川医療センターに整備されています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は 16 名在籍しています。</li> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会(統括責任者(ともに総合内科専門医かつ指導医)にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する研修管理委員会と医師・研修管理室を設置しています。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に行い(2024 年度実績 4 回)し、専攻医に受講を促し、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に医師・研修管理室が対応します。</li> </ul>                                                                            |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野(少なくとも 7 分野以上)で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも 35 以上の疾患群)について研修できます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室などを整備しています。</li> <li>・倫理審査委員会を設置し、定期的に行い(2024 年度実績 12 回、審査 123 件)しています。</li> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 3 演題以上の学会発表をしています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>江原 淳</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>東京ベイ・浦安市川医療センターは千葉県東葛南部地区の中心的な急性期病院です。年間救急搬送受け入れ台数は千葉県内でもトップレベルであり、豊富な急性期疾患かつ市中病院ならではのコンディショニングを幅広く経験できます。患者層も若年から超高齢者まで幅広く様々です。当センターでは総合内科チームが全ての内科系入院症例を担当し、症例ごとに各専門科がコンサルタントとしてチームに加わる体制をとっています。初期・後期・若手指導医の屋根瓦式の教育体制に加え、さらに各チームにそれぞれ総合内科指導医と各専門科指導医が並列で加わる 2 人指導医体制により、幅広い視野と深い考察という非常にバランスの取れた指導を受けることができます。またこの体制により総合内科ローテートでも各科サブスペシャリティ研修と比較して遜色のない、十分な症例経験が可能です。また専門科研修では更にサブスペシャリティに特化した研修(手技やコンサルト業務等)を行います。設立当初から幅広く質の高い内科研修を行うことを目的に構築された、自信を持ってお勧めできる研修体制です。皆様のご応募をお待ちしております。</p> |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会指導医 16 名、日本内科学会総合内科専門医 7 名、<br/>日本循環器学会循環器専門医 8 名、日本心血管インターベンション治療学会専門医 2 名、<br/>日本消化器病学会専門医 1 名、日本消化器内視鏡学会専門医 3 名、<br/>日本消化管学会専門医 1 名、日本呼吸器学会呼吸器専門医 1 名、<br/>日本腎臓学会専門医 5 名、日本透析医学会専門医 2 名、<br/>日本救急医学会救急科専門医 8 名、日本集中治療医学会専門医 5 名、<br/>日本リウマチ学会専門医 1 名、日本感染症学会専門医 1 名</p>                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来患者 5,403 名(内科系診療科のみ 1 ヶ月平均 延べ患者数)<br/>入院患者 618 名(内科系診療科のみ 1 ヶ月平均 延べ患者数)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | 幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・疾病連携なども経験できます。                                                                                                                                                                                                                       |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本内科学会認定医制度教育病院<br>日本消化器病学会認定施設<br>日本消化器内視鏡学会指導施設<br>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修施設<br>日本不整脈心電学会不整脈専門研修施設<br>日本透析医学会専門医制度教育関連施設<br>日本腎臓学会研修施設<br>日本救急医学会救急科専門医指定施設<br>日本集中治療医学会研修施設<br>日本リウマチ学会教育施設<br>日本感染症学会研修施設<br>日本緩和医療学会研修施設<br>日本病院総合診療医学会認定施設など |

亀田総合病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修に必要な図書室とインターネット環境</li> <li>・ メンタルストレスに適切に対処するセルフケアサポートセンター</li> <li>・ 悩みの相談をはじめ精神的なケアに専従するチャプレンや臨床心理士が常勤</li> <li>・ ハラスメント委員会の整備</li> <li>・ 女性専攻医も安心して勤務できるように、男女別の更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室を整備</li> <li>・ 敷地に隣接した保育所および病児保育施設</li> <li>・ 病院併設の体育館、トレーニングジム</li> <li>・ その他、クラブ活動、サーフィン大会</li> </ul>                                |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常にメールなどを通じて指導医、研修センターと連絡ができる環境。</li> <li>・ 連携施設での研修中であっても指導医と面談しプログラムの進捗状況の報告や相談をすることができるようウェブ会議ができる環境。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                           |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <p>内科領域の専門知識は、広範な分野を横断的に研修し、各種の疾患経験とその省察とによって獲得されます。</p> <p>内科領域を 70 疾患群(経験すべき病態等を含む)に分類し、それぞれに提示されているいずれかの疾患を順次経験します。この過程によって専門医に必要な知識、技術・技能を修得します。代表的なものについては病歴要約や病歴報告を記載します。これらを通じて、遭遇することが稀な疾患であっても類縁疾患の経験と自己学習によって適切な診療を行えるようにします。</p>                                                                                                                           |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <p>①内科系学術集会や企画に年 2 回以上参加する(必須)。<br/>※日本内科学会本部または支部主催の生涯教育講演会、年次講演会 CPC および内科系 subspecialty 学会の学術講演会・講習会を推奨する。</p> <p>②経験症例についての文献検索を行い、症例報告を行う。</p> <p>③クリニカルクエスチョンを見出し臨床研究を行う。</p> <p>④内科学会に通じる基礎研究を行う。</p> <p>以上を通じて、化学的根拠に基づいた思考を全人的に活かせるようにします。専攻医は学会発表あるいは論文発表を、筆頭者として 2 件以上行います。なお、専攻医が、社会人大学院など希望する場合でも、亀田総合病院内科専門医研修プログラムの修了認定基準を満たせるようにバランスを持った研修を推奨します。</p> |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>中路 聡</p> <p>【専攻医へのメッセージ】</p> <p>亀田総合病院では、高いレベルで幅広く総合的な内科診療能力を修得するための研修プログラムを準備しています。</p> <p>これから内科専門医研修を開始するみなさんは、一人ひとりバックグラウンドが違います。また、将来のビジョンも異なります。わたしたちには研修病院として長年の実績があります。みなさんのニーズやスタイルに合わせ、かつ効率よく最短でプログラムを終了するための研修を提供いたします。「自由と責任」、「権利と義務」のもと、形式的ではないアウトカムを重視した内科医として研修を行ってみませんか？内科専門医研修を開始するみなさん、ぜひ亀田総合病院で一緒に働きましょう！</p>                                   |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会指導医 3 名、日本内科学会総合内科専門医 22 名、<br/>日本消化器病学会専門医 6 名、日本胆道学会専門医 3 名、<br/>日本消化器内視鏡学会 6 名、日本循環器学会専門医 7 名、<br/>日本内分泌学会専門医 4 名、日本腎臓病学会専門医 5 名、<br/>日本呼吸器学会専門医 4 名、日本血液学会専門医 2 名、<br/>日本神経学会専門医 8 名、日本リウマチ学会専門医 1 名、<br/>日本感染症学会専門医 4 名ほか</p>                                                                                                                           |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>総外来患者（実数）：631,609 名 総入院患者（実数）：22,884 名</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>全 70 疾患群、200 症例以上を経験することを目指します。</p> <p>内科領域研修を幅広く行うため、内科領域内のどの疾患を受け持つかについては多様性がありますので、内科専門医に求められる知識・技能・態度修練プロセスを専門研修(専攻医)年限ごとに設定している。</p>                                                                                                                                                                                                                          |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳参照。幅広い疾患を網羅した知識と経験とに裏付けをされた、医療面接、身体診察、検査結果の解釈、ならびに化学的根拠に基づいた幅の広い診断・治療方針決定を指します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 病病・病診連携の両方での立場での研修を通じ、地域医療を幅広く多面的に学ぶことができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 学会認定施設<br>(内科系) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本日本内科学会認定医制度における教育病院</li> <li>・日本糖尿病学会認定教育施設Ⅰ</li> <li>・日本内分泌学会認定教育施設</li> <li>・日本血液学会認定血液研修施設</li> <li>・日本がん治療認定医機構認定研修施設</li> <li>・日本腎臓学会研修施設</li> <li>・日本急性血液浄化学会認定指定施設</li> <li>・日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院</li> <li>・日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡認定施設</li> <li>・日本アレルギー学会アレルギー専門医教育施設</li> <li>・日本消化器内視鏡学会指導施設</li> <li>・日本消化器病学会認定施設</li> <li>・日本胆道学会認定指導医制度指導施設認定</li> <li>・日本不整脈・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設</li> <li>・日本リウマチ学会教育施設</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> |

国立がん研究センター東病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設内に研修に必要なインターネット環境が整備されている。</li> <li>・ 適切な労務環境が保障されている。</li> <li>・ メンタルストレスに適切に対処するため基幹施設と連携できる。</li> <li>・ ハラスメント委員会が整備されている。</li> <li>・ 女性専攻医が安心して勤務できるような休憩室や更衣室等が配慮されている。</li> <li>・ 敷地内外を問わず保育施設等が利用可能である。</li> </ul>                                                                                                                                                                               |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導医が1名以上在籍している(下記)</li> <li>・ 研修委員会を設置し、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ることができる。</li> <li>・ 医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えている。<br/>(2024 年度実績:医療倫理 5 回、医療安全 2 回、感染対策講習会 2 回)</li> <li>・ 研修施設郡合同カンファレンスを定期的に参加し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えている。</li> <li>・ CPC を定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 地域参加型のカンファレンスを定期的に参加し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <p>カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、総合内科Ⅲ(腫瘍)、消化器、循環器、呼吸器、血液、感染症の分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診察している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <p>日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計1演題以上の学会発表をしている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>内藤 陽一<br/>【内科専攻医へのメッセージ】<br/>国立がん研究センター東病院は、世界最高のがん医療の提供、世界レベルの新しいがん医療の創出を行う最高峰の施設です。がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療 中核拠点病院、特定機能病院等にも指定され、豊富な症例経験、様々な領域を専門とする指導医によるがん診療を含め、高度な技能の習得が可能です。様々な臓器にまたがる疾患を経験することにより、内科専門医としての幅広い知識や技能を習得することと共に、コミュニケーションスキル・トレーニングや、チーム医療、地域医療との連携により、全人的な医療従事者として活躍できるための支援・指導を行います。</p>                                                                                                                                       |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会指導医 20 名、日本内科学会総合内科専門医 22 名、内科専門医 23 名、認定内科医 25 名、日本臨床腫瘍学会指導医 16 名、がん薬物療法専門医 13 名、日本肝臓学会指導医 1 名、肝臓専門医 7 名、日本血液学会指導医 5 名、血液専門医 5 名、日本呼吸器学会指導医 3 名、呼吸器専門医 7 名、日本消化器病学会指導医 8 名、消化器病専門医 25 名 ほか</p>                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来患者 28,472 名(1ヶ月平均)入院患者 11,988 名(1ヶ月平均)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>研修手帳(疾患軍港目標)にある、総合内科Ⅲ(腫瘍)、消化器、呼吸器、血液の分野で主要疾患を中心に経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>該当する疾患に対して、技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                        | <p>地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p>                      | <p>日本内科学会認定医制度教育病院<br/>日本呼吸器学会認定施設<br/>日本消化器内視鏡学会認定指導施設<br/>日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設<br/>日本血液学会認定研修施設<br/>日本大腸肛門病学会専門医修練施設<br/>日本呼吸器内視鏡学会認定施設<br/>日本臨床腫瘍学会認定研修施設</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

|  |                                               |
|--|-----------------------------------------------|
|  | 日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本緩和医療学会専門医認定制度認定研修施設 など |
|--|-----------------------------------------------|

昭和医科大学病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(人権啓発推進室)があります。</li> <li>・ハラスメントについても人権啓発推進委員会が昭和医科大学に整備されています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医が 81 名在籍しています(下記)。</li> <li>・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンスを定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講の機会を提供し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに指導医の在籍していない施設(特別連携施設:診療所や過疎地病院、あるいは研究施設等を想定)での専門研修が含まれる場合には、基幹施設に所属する指導医がその施設での研修指導を行えるような工夫をしています(テレビ電話等)。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <p>カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全ての領域、総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病、感染症および救急の分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <p>日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表をしています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>相良 博典<br/>【内科専攻医へのメッセージ】<br/>昭和医科大学は 8 つの附属病院を有し、東京都内の協力病院と連携して人材の育成や地域医療の充実に向けて様々な活動を行っています。本プログラムは初期臨床研修修了後に大学病院の内科系診療科が協力病院と連携して、質の高い内科医を育成するものです。また単に内科医を養成するだけでなく、医療安全を重視し、患者本位の医療サービスが提供でき、医学の進歩に貢献し、日本の医療を担える医師を育成することを目的とするものです。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>指導医数<br/>(常勤医)<br/>日本内科学会認定内科医 91 名、日本内科学会総合内科専門医 52 名、<br/>日本消化器病学会消化器専門医 23 名、日本循環器学会専門医 25 名、<br/>日本内分泌学会専門医 3 名、日本糖尿病学会専門医 8 名、<br/>日本腎臓病学会専門医 9 名、日本呼吸器学会専門医 16 名、<br/>日本血液学会専門医 7 名、日本神経学会専門医 16 名、<br/>日本アレルギー学会専門医(内科)10 名、日本リウマチ学会専門医 7 名、<br/>日本感染症学会専門医 3 名、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医 4 名、日本肝臓学会専門医 10 名、日本老年医学会専門医 5 名</p>                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来:1999.5 人、入院: 814.1 人(2024 年度 一日平均患者数)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                        | <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病院連携なども経験できます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p> | <p>学会認定施設<br/>(病院全体)<br/>日本内科学会認定医制度教育病院日本アレルギー学会認定教育施設<br/>日本呼吸器学会認定施設 日本リウマチ学会教育施設<br/>日本糖尿病学会認定教育施設日本内分泌学会認定教育施設日本透析医学会認定施設<br/>日本アフェリシス学会認定施設日本腎臓学会研修施設<br/>東京都区部災害時透析医療ネットワーク会員施設日本内科学会認定教育施設<br/>日本肝臓学会認定施設日本脈管学会認定施設<br/>日本消化器内視鏡学会指導施設日本消化器病学会認定施設<br/>日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br/>骨髓バンク非血縁者間骨髓採取認定施設・非血縁者間骨髓移植認定施設日本血液学会血液研修施設<br/>日本臨床薬理学会認定医制度研修施設日本老年医学会認定施設<br/>日本心血管インターベンション治療学会研修施設日本循環器学会専門医研修施設<br/>日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設日本高血圧学会専門医認定施設<br/>日本不整脈心電学会植え込み型除細動器／ペースティングによる心不全治療施行施設<br/>日本心臓リハビリテーション学会認定施設日本アレルギー学会認定教育施設<br/>日本呼吸器学会認定施設 日本リウマチ学会教育施設<br/>日本糖尿病学会認定教育施設<br/>日本内分泌学会認定教育施設日本透析医学会認定施設<br/>日本老年医学会認定施設<br/>日本心臓リハビリテーション学会認定施設日本麻酔科学会認定病院<br/>日本集中治療医学会専門医研修施設<br/>日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設<br/>特定非営利活動法人婦人科悪性腫瘍研究機構登録参加施設臨床遺伝専門医制度委員会認定研修施設<br/>日本救急医学会指導医指定施設 日本救急医学会専門医指定施設 日本外傷学会外傷専門医研修施設<br/>日本眼科学会眼科研修プログラム施行施設(基幹研修施設)日本病理学会研修認定施設<br/>日本臨床細胞学会教育研修施設日本東洋医学会指定研修施設<br/>日本肥満学会認定肥満症専門病院日本胆道学会指導施設<br/>日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設<br/>日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師制度研修施設日本薬剤師研修センター研修会実施期間<br/>日本薬剤師研修センター研修受入施設<br/>公益社団法人日本診療放射線技師会医療被ばく低減施設認定日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設<br/>全国環境器撮影研究会被ばく線量低減推進認定施設認定<br/>特定非営利活動法人乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ検診施設画像認定施設<br/>認定輸血検査技師制度協議会認定輸血検査技師制度指定施設公益社団法人日本診療放射線技師会臨床実習指導施設<br/>日本臨床衛生検査技師会精度保証施設</p> |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

昭和医科大学江東豊洲病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹型臨床研修病院である。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境がある。</li> <li>・労務環境が保障されている(衛生管理者による院内巡視・週1回)。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(管理課職員担当)、人権啓発推進委員会がある。</li> <li>・監査・コンプライアンス室が昭和大学本部に整備されている。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、シャワー室、当直室が整備されている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医が23名在籍している(下記)。</li> <li>・内科研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図る。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。</li> <li>・CPCを定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。</li> <li>・地域参加型のカンファレンス(消化器病研究会、循環器内科学研究会、Stroke Neurologist研究会、関節リウマチ研究会、腎疾患研修会)などを定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。</li> </ul>                                                                                                                       |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <p>カリキュラムに示す内科領域13分野のうち、総合内科、消化器、循環器、呼吸器、神経、腎臓、感染症、アレルギー、代謝、膠原病および救急の分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <p>日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計1演題以上の学会発表を予定している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>伊藤 敬義<br/>【内科専攻医へのメッセージ】<br/>昭和医科大学江東豊洲病院は循環器センター、消化器センター、脳血管センター、救急センターおよび内科系診療センターを有する総合病院であり、連携施設として循環器、消化器、神経疾患および呼吸器疾患をはじめとする内科系疾患全般にわたっての診断と治療の基礎から、より専門的医療を研修できます。循環器に関しては急性期の虚血性疾患の対応から、慢性期の心不全の管理まで対応できます。消化器に関しては、食道、胃、大腸などの消化管疾患および肝胆膵疾患などを幅広く経験できます。神経疾患は特に脳血管疾患の急性期の対応から髄膜炎など感染症疾患などを研修できます。呼吸器疾患に関しては、感染症、肺癌など腫瘍性疾患、間質性肺疾患、気管支喘息などのアレルギー性疾患など幅広い疾患に関して症例を有しております。リウマチ・膠原病疾患なども入院・外来にて多くの症例を経験できます。また総合内科・救急疾患としての症例も豊富でありさまざまな疾患に対応できます。また、専門医療のみではなく、主担当医として、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医をめざせるように教育に力を入れています。また全国に連携施設を持っており、充実した専攻医研修が可能です。</p> |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会指導医(20名)、日本内科学会総合内科専門医(24名)、日本循環器学会循環器専門医(8名)、日本心血管インターベンション治療学会専門医(2名)、日本消化器病学会専門医(17名)、日本消化器病学会指導医(9名)、日本消化器内視鏡学会専門医(21名)、日本消化器内視鏡学会指導医(9名)、日本消化管学会胃腸科専門医・指導医(4名)、日本肝臓学会専門医(8名)、日本肝臓学会指導医(2名)、日本ヘリコバクター学会：H.pylori(ピロリ菌)感染症認定医(2名)、日本呼吸器学会呼吸器専門医(4名)、日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医(2名)、日本神経学会神経内科専門医(8名)、日本脳卒中学会専門医(4名)、日本腎臓学会専門医・指導医(2名)、日本アレルギー学会アレルギー専門医(3名)、日本糖尿病学会糖尿病専門医(2名)、日本透析医学会専門医・指導医(2名)、日本脳神経血管内治療学会専門医(1名)、日本不整脈学会専門医(1名)、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医(1名)、日本膵臓学会指導医(1名)</p>                                                                                          |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来 347.0 人 入院 550.6 人 (2024 年度一日平均患者数)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経験できる疾患群        | きわめて稀な疾患を含めて、研修手帳(疾患群項目表)にある13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。血液、感染症、救急の領域に関しても、本学附属病院及び連携施設を研修することで経験できます。                                                                                                                                                                                                                                         |
| 経験できる技術・技能      | 技術・機能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。特に循環器および消化器領域においては、より高度な専門技術も習得することができます。                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した、地域に根ざした医療、病診・病院連携などを経験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本内科学会認定医制度教育施設「大学病院」<br>日本消化器病学会認定施設<br>日本消化管学会胃腸科指導施設<br>日本消化器内視鏡学会指導施設<br>日本食道学会全国登録認定施設<br>日本胆道学会認定指導医制度指導施設<br>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br>日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設<br>日本神経学会教育施設<br>日本脳卒中学会認定研修教育病院<br>日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設<br>日本リウマチ学会教育施設<br>日本腎臓学会研修施設<br>日本透析医学会認定施設<br>日本高血圧学会認定施設<br>日本アフェシス学会施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本肝臓学会認定施設<br>など |

日本赤十字社医療センター

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・日本赤十字社常勤嘱託医師として労務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(人事課職員担当)があります。</li> <li>・ハラスメント委員会が当センター内に整備されています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように更衣室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・敷地内に託児所があり、利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は 19 名在籍しています。</li> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会によって、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する研修委員会と臨床研修推進室を設置しています。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行う(2018 年度実績 2 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に開催(年度間実績 8 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンス(渋谷区医師会日赤合同カンファレンス、循環器科渋谷区バス大会、循環器科渋谷区公開クルズス、東京循環器病研究会、城南呼吸器疾患研究会、城南気道疾患研究会、城南間質性肺炎研究会、渋谷目黒世田ヶ谷糖尿病カンファレンス、城南消化器検討会、東京肝癌局所治療研究会、都内肝臓臨床検討会、東京神奈川劇症肝炎研究会、消化器医療連携研究会、臨床に役立つ漢方勉強会、など)を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講(2015～2018 年度開催実績各年 1 回)を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に臨床研修推進室が対応します。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群について研修できます。</li> <li>・専門研修に必要な剖検(実績:2022 年度～2024 年度各々14,14,11 体)を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室などを整備しています。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的に行う(年度間実績 11 回)しています。</li> <li>・治験管理室を設置し、定期的に行う受託研究審査会を開催(年度実績 11 回)しています。</li> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表(年度間実績 4 演題)をしています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>小島 敏弥</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>日本赤十字社医療センターは日本赤十字社直属の総合病院であり、救急医療、がん治療、周産期を三本柱とする東京中心部の急性期病院です。救命救急センターにおける三次救急、二次救急には研修医の先生に積極的に参加していただいております。当院は癌拠点病院であり、外科治療はもちろん、サイバーナイフ治療、化学治療、そして緩和病棟と一貫した体制がとられ、各科が協力して、とくに内科と外科は密接に関係しながら治療にあたっています。また、当院は都内有数の周産期病院であり、年間 1000 件を超える出産があり、妊婦や婦人科に関連した疾患も内科において経験することが可能です。その他ほとんどすべての診療科を有し、多種多彩な疾患、症例を経験することが可能となっています。スタッフは各分野のエキスパートであり、指導体制も確立しています。症例報告、各種学会発表、臨床研究、論文作成も積極的に行われております。これまで、当院で研修された数多くの諸先輩医師が各分野における日本の医療を支える立場で活躍しています。当院出身の先輩医師は当院の出身であることに誇りを持ち、その経験を生かしつつ最前線で医療に携わっております。また、さらに経験を積んだうえで当院に戻られる先生方も多数おられます。新しい内科専門医制度の採用により、実際の症例件数や実技の修達度も明らかとなり、これまでより一層研修</p>                                                                                                                                          |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | <p>の質を向上させてくれることと思います。またさらには関連施設での一定期間の研修を組み入れることにより、一つの施設にとらわれない広い視野を持った医師の育成にも良い影響があると考えられます。当院のプログラムは、十分な症例経験、実技経験、地域医療や関連施設での研修を通し、これまで以上に日本の医療に貢献できる医師の育成に寄与すべく作成されております。少しでも多くの専攻医のみなさんが当院のプログラムに参加されることを期待しております。</p>                                                                                                                                                                |
| 指導医数<br>(常勤医)   | <p>日本内科学会専門研修指導医 19 名、日本内科学会総合内科専門医 36 名<br/>日本消化器病学会消化器病専門医 16 名、日本肝臓学会肝臓専門医 6 名<br/>日本糖尿病学会糖尿病専門医 2 名、日本内分泌学会内分泌代謝科専門医 1 名、<br/>日本腎臓学会腎臓専門医 5 名、日本呼吸器学会呼吸器専門医 8 名、<br/>日本血液学会血液専門医 10 名、日本神経学会神経内科専門医 2 名、<br/>日本循環器学会循環器専門医 7 名、日本リウマチ学会リウマチ専門医 2 名、<br/>日本救急医学会救急科専門医 12 名 など</p>                                                                                                       |
| 外来・入院患者数        | <p>外来患者 11,335 名(内科 1 ヶ月平均) 入院患者 5,419 名(内科 1 ヶ月平均)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 経験できる疾患群        | <p>研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 経験できる技術・技能      | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 経験できる地域医療・診療連携  | <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 学会認定施設<br>(内科系) | <p>日本内科学会認定医制度教育病院<br/>日本消化器病学会認定施設<br/>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br/>日本呼吸器学会認定施設<br/>日本血液学会認定血液研修施設<br/>日本腎臓学会研修施設<br/>日本リウマチ学会教育施設<br/>日本透析医学会専門医制度認定施設<br/>日本神経学会教育施設・准教育施設<br/>日本アレルギー学会認定教育施設・准教育施設<br/>日本救急医学会救急科専門医指導医指定施設<br/>日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設<br/>日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br/>日本消化器内視鏡学会指導施設<br/>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br/>日本糖尿病学会認定教育施設<br/>日本内分泌学会認定教育施設<br/>日本緩和医療学会認定研修施設<br/>日本感染症学会研修施設 など</p> |

東京都立多摩総合医療センター

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院である。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境がある。</li> <li>・東京都非常勤医員として勤務環境が保障されている。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(庶務課医事課、職員担当、医局役員)がある。</li> <li>・ハラスメント委員会が東京都庁に整備されている。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー 室、当直室が整備されている。</li> <li>・敷地内に院内保育所があり、利用可能である。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は 47 名在籍している(2025 年 3 月)。</li> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会(内科系副院長、プログラム統括責任者(内科系診療科医長 1 名)</li> <li>・ 副プログラム統括責任者(に内科系診療科部医長各 2 名)、基幹施設内科専門研修委員長(内科系診療科部医長 1 名)(ともに総合内科専門医かつ指導医))</li> <li>・内科専門研修プログラム委員会は、基幹施設、連携施設に設置されている研修 委員会との連携を図る。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修委員会を 臨床研修管理委員会に設置する。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催(2024 年度実績 5 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。</li> <li>・CPC を定期的に開催(2024 年度実績 10 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。</li> <li>・多摩地区の連携施設勤務医も参加する地域参加型のカンファレンスを定期的 に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に研修期間中の JMECC 受講(2024 年度開催実 績 1 回: 受講者 20 名)を義務付け、そのための時間的余裕を与える。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に臨床研修管理委員会が対応する。</li> <li>・特別連携施設島嶼診療所の専門研修では、電話やメールでの面談・Web 会議シ ステムなどにより指導医がその施設での研修指導を行う。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 全分野で定期的に専門研修が可能な症例数を 診療している(上記)。</li> <li>・その結果 70 疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも 35 以上の疾患群)について研修できる(上記)。</li> <li>・専門研修に必要な剖検(2019 年度 26 体、2020 年度 29 体、2021 年度 28 件、2022 年度 25 件、2023 年度 31 件、2024 年度 30 件)を行っている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室などを整備している。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的に開催(2021 年度実績 12 回)している。</li> <li>・治験管理室を設置し、定期的に受託研究審査会を開催(2020 年度実績 11 回)している。</li> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 3 演題以上の学会発表をしている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>佐藤 文紀</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>東京都多摩地区の中心的な急性期第三次医療機関です。卓越した指導医陣のもと、内科の全領域で豊富な症例を経験できます。東京 ER(一次～三次救急)での救急医療研修(必修)と合わせて、総合診療基盤と知識技能を有した内科専門医を目指してください。新制度では、全国の連携施設や東京都島嶼等の特別連携施設での研修を通じて、僻地を含めた地域医療の重要性和問題点を学び、また貢献できます。お待ちしております！</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会総合内科専門医 50 名、日本消化器病学会消化器病専門医 20 名、日本肝臓学会肝臓専門医 6 名、日本循環器学会循環器専門医 9 名、日本糖尿病学会糖尿病専門医 7 名、日本内分泌学会内分泌代謝科専門医 9 名、日本腎臓学会専門医 3 名、日本呼吸器学会呼吸器専門医 11 名、</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

|                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                    | 日本血液学会血液専門医 5 名、日本神経学会神経内科専門医 1 名、<br>日本アレルギー学会アレルギー専門医 4 名、日本リウマチ学会リウマチ専門医 12 名、<br>日本感染症学会感染症専門医 3 名、日本救急医学会救急科専門医 20 名、<br>日本プライマリ・ケア連合学会指導医 6 名ほか                                                                                                                                                                                                                |
| 外来・入院患者数           | 外来患者 449, 354 名(2024 年実績)、入院患者 234, 713 名(2024 年実績)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 経験できる疾患群           | きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を<br>幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 経験できる技術・技能         | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら<br>幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 経験できる地域医療・<br>診療連携 | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携、島嶼<br>医療なども経験できる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 学会認定施設<br>(内科系)    | 日本内科学会認定医制度教育病院<br>日本消化器病学会認定施設<br>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br>日本呼吸器学会認定施設<br>日本血液学会認定血液研修施設<br>日本腎臓学会研修施設<br>日本リウマチ学会教育施設<br>日本アレルギー学会アレルギー専門医教育施設<br>日本透析医学会専門医制度認定施設<br>日本救急医学会救急科専門医指定施設<br>日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設<br>日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br>日本消化器内視鏡学会認定指導施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本プライマリ・ケア連合学会認定医研修施設<br>日本内分泌代謝科学会認定教育施設<br>日本糖尿病学会認定教育施設<br>日本感染症学会研修施設<br>日本肝臓学会認定施設など |

東京科学大学病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・専攻医の安全及び衛生並びに災害補償については、労働基準法や労働安全衛生法に準じる。給与(当直業務給与や時間外業務給与を含む)、福利厚生(健康保険、年金、住居補助、健康診断など)、労働災害補償などについては、本学の就業規則等に従います。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部門として保健管理センターが設置されています。</li> <li>・ハラスメント防止対策委員会が設置され、各部に苦情相談員が置かれています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるよう、女性医師用の休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・学内の保育園(わくわく保育園)が利用可能です。</li> </ul>                                                                                         |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・内科指導医が 122 名在籍しています。</li> <li>・研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。(2024 年度開催実績 6 回内科系のみ)</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンスを定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講の機会を与え、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・施設実地調査についてはプログラム管理委員会が対応します。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・70 疾患群のうち、すべての疾患群について研修できます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京科学大学大学院では内科系診療科に関連する講座が開設され、附属機関に難治疾患研究所も設置されていて臨床研究が可能です。</li> <li>・臨床倫理委員会が設置されています。</li> <li>・臨床試験管理センターが設置されています。</li> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で 10 題の学会発表を行っています。(2022 年度実績)</li> <li>・内科系学会等で年間 261 題の学会発表を行っています。(2022 年度実績)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>呼吸器内科教授 宮崎 泰成</p> <p>【メッセージ】</p> <p>東京科学大学病院内科は、日本有数の初期研修プログラムとシームレスに連携して、毎年 60～90 名の内科後期研修医を受け入れてきました。東京および周辺県の関連病院と連携して、医療の最先端を担う研究志向の内科医から、地域の中核病院で優れた専門診療を行う医師まで幅広い内科医を育成しています。</p> <p>新制度のもとでは、さらに質の高い効率的な内科研修を提供し、広い視野、内科全体に対する幅広い経験と優れた専門性を有する内科医を育成する体制を構築しました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>内科指導医数 122 名<br/>(内:総合内科専門医 77 名)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来患者数:508,832 人(2024 年度 延数)<br/>入院患者数:243,428 人(2024 年度 延数)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                        | <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p> | <p>日本内科学会認定医教育施設<br/> 日本血液学会血液研修施設<br/> 日本輸血細胞治療学会認定医制度指定施設<br/> 日本リウマチ学会教育施設<br/> 日本糖尿病学会認定教育施設<br/> 日本内分泌学会認定教育施設<br/> 日本甲状腺学会認定専門医施設<br/> 日本高血圧学会認定研修施設<br/> 日本肥満学会認定肥満症専門病院<br/> 日本腎臓学会研修施設<br/> 日本透析医学会認定施設<br/> 日本急性血液浄化学会認定指定施設<br/> 日本老年医学会認定施設<br/> 日本老年精神医学会認定施設<br/> 日本東洋医学会指定研修施設<br/> 日本消化器病学会専門医制度認定施設<br/> 日本肝臓学会認定施設<br/> 日本消化器内視鏡学会指導施設<br/> 日本消化管学会胃腸科指導施設<br/> 日本循環器学会循環器専門医研修施設<br/> 不整脈学会認定不整脈専門医研修施設<br/> 日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設<br/> 学会認定不整脈専門医研修施設<br/> 日本脈管学会認定施設<br/> 日本呼吸器学会認定施設<br/> 日本アレルギー学会認定教育施設<br/> 日本神経学会認定施設<br/> 日本脳卒中学会認定研修教育病院<br/> 認知症学会専門医教育施設</p> |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター

|                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・神奈川県立病院機構任期付常勤医師として勤務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(事務局総務課)があります。</li> <li>・内部統制・コンプライアンス室が地方独立行政法人神奈川県立病院機構本部事務局に整備されています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。</li> </ul>                                                                                          |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専攻医の環境</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医が13名在籍しています(下記)。</li> <li>・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスに定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPCを定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンスは、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、実施を見送っていましたが、2024年から再開しております。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>3)診療経験の環境</p> | <p>カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、総合内科、循環器、呼吸器、感染症、アレルギーおよび代謝の分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・症例報告を論文にまとめることを始めとして、臨床データの収集解析を行い、在籍中に原著論文を仕上げられるよう指導します。(1年～4年次)</li> <li>・総会発表を年1回以上行うことを指導します。(3～4年次)</li> <li>・研究会、学会活動、論文作成には可能な限り経済的・時間的援助を行います。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                     |
| <p>指導責任者</p>                            | <p>萩原恵里<br/>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>循環器呼吸器病センターは循環器および呼吸器疾患の専門病院であり、連携施設として循環器、呼吸器疾患の診断と治療の基礎から、より専門的医療を研修できます。循環器に関しては急性期の虚血性疾患の対応から、慢性期の心不全の管理まで対応できます。呼吸器疾患に関しては、結核を含む感染症、肺癌など腫瘍性疾患、間質性肺疾患、気管支喘息などのアレルギー性疾患など幅広い疾患に関して全国有数の症例数を有しており、それぞれの疾患の専門家が指導できます。また専門医療のみではなく、主担当医として、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医をめざせるように教育に力をいれています。</p>                                                                       |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                   | <p>日本内科学会指導医 13 名、日本内科学会総合内科専門医 15 名<br/>日本循環器学会循環器専門医 6 名、日本呼吸器学会専門医 13 名、<br/>日本糖尿病学会専門医 1 名、日本アレルギー学会専門医(内科)1 名、<br/>日本感染症学会専門医 2 名、ほか</p>                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>外来・入院患者数</p>                         | <p>外来患者 6,642 名(1ヶ月平均)<br/>入院患者 4,166 名(1ヶ月平均) * 2024 年度実績</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>経験できる疾患群</p>                         | <p>きわめて稀な疾患を含めて、研修手帳(疾患群項目表)にある9領域、39 疾患群の症例を幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>経験できる技術・技能</p>                       | <p>技術・機能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。特に循環器および呼吸器領域においては、より高度な専門技術も習得することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                   | <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した、地域に根ざした医療、病診・病院連携などを経験できます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>学会認定施設(内科系)</p>                      | <p>日本内科学会連携施設<br/>日本呼吸器学会基幹施設<br/>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

|  |                                                                                                                                            |
|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設<br>日本アレルギー学会専門医教育研修施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本環境感染学会認定教育施設<br>日本感染症学会認定研修施設<br>日本呼吸器内視鏡学会認定施設<br>日本臨床腫瘍学会認定研修施設 |
|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・669 床の初期臨床研修制度基幹型研修指定病院である。</li> <li>・「JCI」(米国の国際医療機能評価機関)認定病院、「JMIP」(外国人患者受入れに関する認定制度)認証病院である。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット・Wi-Fi 環境がある。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(総務課、臨床心理室)がある。</li> <li>・ハラスメント委員会が院内に整備され、月一回開催されている。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備され、HOSPIRATE 認証病院となっている。</li> <li>・敷地内に院内保育所(24 時間・365 日運営)があり、利用可能である。</li> </ul> <p>※「JCI」とは・・・米国の医療施設を対象とした第三者評価機関 Joint Commission (元 JCAHO:1951 年設立)の国際部門として 1994 年に設立された、国際非営利団体 Joint Commission International の略称である。世界 70 カ国 700 の医療施設が JCI の認証を取得している。JCI のミッションは、継続的に教育やコンサルテーションサービスや国際認証・証明の提供を通じて、国際社会における医療の安全性と品質を向上させることである。</p> <p>※「JMIP」とは・・・Japan Medical Service Accreditation for International Patients の略称であり、日本語での名称は外国人患者受入れ医療機関認証制度となる。厚生労働省が「外国人の方々安心して日本の医療サービスを受けることができるように」、外国人患者の円滑な受け入れを推進する国の事業の一環として策定し、一般社団法人日本医療教育財団が医療機関の外国人受け入れ体制を中立・公平な立場で評価する認証制度である。</p> <p>※「HOSPIRATE 認証病院」とは・・・この評価認定は、働く職員にとって、ワークライフバランスを病院側がどのように工夫し、「働きやすい環境」を整備しているかを第三者側から評価するものである。</p> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医が 46 名在籍しています。</li> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会;専門医研修プログラム委員会にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図る。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修委員会と臨床研修センター／内科専門研修センターを設置する。</li> <li>・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。</li> <li>・CPC を定期的に開催(2024 年度実績 11 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。</li> <li>・地域参加型のカンファレンスを定期的に開催し、専攻医には受講を原則的に義務付け、そのための時間的余裕を与える。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講(2024 年度開催実績1回、受講者 11 名)を義務付けそのための時間的余裕を与える。</li> <li>・日本専門医機構による施設実施調査に臨床研修センターが対応する。</li> <li>・英国人医師による問診聴取や身体所見の取り方を研修するとともに、英語によるコミュニケーション能力を向上させる。</li> <li>・特別連携施設の専門研修では、電話やインターネットを通じて月 1 回の湘南鎌倉総合病院での面談・カンファレンスにより、指導医がその施設での研修指導を行う。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野(少なくとも 11 分野以上)で定常的に専門研修が可能な症例数を診療している。</li> <li>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも 35 以上の疾患群)について研修できる。</li> <li>・専門研修に必要な剖検(2024 年度実績 13 体)を行っている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <p>臨床研究に必要な図書室、写真室などを整備している。UpToDate、今日の臨床サポートの医療検索ツールも充実しており、Mobile を用いた検索も全内科医師が可能な環境である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理委員会を設置し、定期的に開催(2024 年度実績 24 回 内訳:徳洲会全体 12 回、院内 12 回)している。</li> <li>・治験管理室を設置し、定期的に治験審査会を開催(2024 年度実績 12 回)している。再生医療のための特定認定再生医療等審査委員会も設置され CPC (cell processing center)が用意され今後の展開が可能。</li> <li>・臨床研究センターが設置されており、症例報告のみならず臨床研究への積極的な参画を</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | <p>推進する。</p> <p>・日本内科学会講演会あるいは同地方会での学会発表(2023 年度実績 3 演題)をしている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 指導責任者           | <p>小泉一也</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>湘南鎌倉総合病院は、神奈川県横須賀・三浦医療圏の中心的な急性期病院であり、神奈川県横須賀・三浦・湘南医療圏・近隣医療圏にある連携施設・特別連携施設とで内科専門研修を行い、必要に応じた可塑性のある、地域医療にも貢献できる内科専門医を目指します。</p> <p>内科領域全般の診療能力として、知識や技能に偏らずに、患者に人間性をもって接すると同時に、医師としてのプロフェッショナリズムとリサーチマインドの素養をも修得して可塑性が高く様々な環境下で全人的な内科医療を実践します。内科の専門研修では、幅広い疾患群を順次、経験してゆくことによって、内科の基礎的診療を繰り返して学ぶとともに、疾患や病態に特異的な診療技術や患者の抱える多様な背景に配慮することを経験します。そして、これらの経験を単に記録するのではなく、病歴要約として、科学的根拠や自己省察をふくめて記載し、複数の指導医による指導をうけることによってリサーチマインドを備えつつも全人的医療を実践する能力を涵養することが可能となります。主担当医として、入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで経時的に、診断・治療の流れを通じて、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医になります。医を目指します。</p> <p>内科領域全般の診療能力として、知識や技能に偏らずに、患者に人間性をもって接すると同時に、医師としてのプロフェッショナリズムとリサーチマインドの素養をも修得して可塑性が高く様々な環境下で全人的な内科医療を実践します。内科の専門研修では、幅広い疾患群を順次、経験してゆくことによって、内科の基礎的診療を繰り返して学ぶとともに、疾患や病態に特異的な診療技術や患者の抱える多様な背景に配慮することを経験します。そして、これらの経験を単に記録するのではなく、病歴要約として、科学的根拠や自己省察をふくめて記載し、複数の指導医による指導をうけることによってリサーチマインドを備えつつも全人的医療を実践する能力を涵養することが可能となります。主担当医として、入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで経時的に、診断・治療の流れを通じて、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医になります。</p> |
| 指導医数<br>(常勤医)   | <p>日本内科学会指導医 46 名、日本内科学会総合内科専門医 29 名</p> <p>日本消化器病学会消化器専門医 10 名、日本循環器学会循環器専門医 22 名、</p> <p>日本糖尿病学会専門医 2 名、日本腎臓学会専門医 10 名、</p> <p>日本呼吸器学会呼吸器専門医 5 名、日本血液学会血液専門医 5 名、</p> <p>日本神経学会神経内科専門医 5 名、日本リウマチ学会専門医 1 名、</p> <p>日本アレルギー学会専門医 2 名、日本肝臓学会肝臓専門医 10 名、</p> <p>日本消化器内視鏡学会専門医 9 名、日本臨床腫瘍学会専門医 3 名</p> <p>日本感染症学会専門医数 1 名</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 外来・入院患者数        | <p>外来患者 560,003 名 新入院患者 24,700 名(2024 年度実績)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 経験できる疾患群        | <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 経験できる技術・技能      | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 経験できる地域医療・診療連携  | <p>急性期医療だけでなく、訪問診療も行っており、また福祉施設などの関連施設も持ち緩和ケアや超高齢社会に対応した医療も行っており、地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 学会認定施設<br>(内科系) | <p>日本内科学会認定医制度教育病院</p> <p>日本消化器病学会認定施設</p> <p>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設</p> <p>日本呼吸器学会認定施設</p> <p>日本血液学会認定血液研修施設</p> <p>日本腎臓学会研修施設</p> <p>日本リウマチ学会教育施設</p> <p>日本透析医学会専門医制度認定施設</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

|  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 日本神経学会教育関連施設<br>日本救急医学会救急科専門医認定施設<br>日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設<br>日本消化器内視鏡学会指導施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本高血圧学会専門医認定施設<br>日本病態栄養学会認定施設<br>日本急性血液浄化学会認定施設<br>日本アフェレンス学会認定施設<br>日本脳卒中学会専門医認定研修教育病院<br>日本脳神経血管内治療学会専門医制度研修施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修施設<br>日本認知症学会教育施設認定<br>日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設<br>日本肝臓学会認定施設<br>日本胆道学会認定指導施設<br>日本消化管学会胃腸科指導施設 |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

昭和医科大学藤が丘病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <p>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。<br/>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。<br/>・ハラスメントについても人権啓発推進委員会が昭和大学に整備されています。<br/>・メンタルストレスに適切に対処する部署があります。<br/>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</p>                                                                                                                                                                                          |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <p>・内科専門研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置される内科専門研修プログラム管理委員会と連携を図ります。<br/>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付けます。<br/>・CPC を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。<br/>・地域参加型のカンファレンスを定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</p>                                                                                                                                                  |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <p>カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、総合内科を除く、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病、感染症および救急の分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <p>日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表をしています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>井上 嘉彦<br/>【内科専攻医へのメッセージ】<br/>昭和医科大学は 8 つの附属病院及び 1 施設を有し、神奈川県・東京都を中心に近隣医療圏の協力病院と連携して人材の育成や地域医療の充実に向けて様々な活動を行っています。本プログラムは初期臨床研修修了後に大学病院の内科系診療科が協力病院と連携して、質の高い内科医を育成するものです。また単に内科医を養成するだけでなく、医療安全を重視し、患者本位の医療サービスが提供でき、医学の進歩に貢献し、日本の医療を担える医師を育成することを目的とするものです。</p>                                                                                                                 |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>内科指導医 39 名<br/>総合内科専門医 32 名</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来:947.1 人 入院:477.4 人 (2024 年度一日平均患者数)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、J-OSLER(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群のうち、少なくとも通算で 56 疾患群、160 症例以上を経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                        | <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p>                      | <p>日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設<br/>日本心血管インターベーション治療学会研修施設認定<br/>日本高血圧学会専門医認定施設<br/>日本循環器学会専門医研修施設<br/>日本脈管学会認定研修関連施設<br/>日本脳卒中学会認定研修教育病院<br/>日本神経学会専門医制度における教育施設<br/>日本内分泌学会内分泌代謝科専門医制度における認定教育施設<br/>日本甲状腺学会専門医制度における認定専門医施設<br/>日本糖尿病学会認定教育施設<br/>日本消化器病学会専門医制度認定施設<br/>日本消化器内視鏡学会指導施設<br/>日本消化管学会胃腸科指導施設<br/>日本カプセル内視鏡学会指導施設<br/>日本呼吸器学会認定施設<br/>日本アレルギー学会教育施設<br/>日本腎臓学会研修施設</p> |

|  |                                                                                                                                                     |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 日本透析医学会専門医制度認定施設<br>日本アフェレーシス学会認定施設<br>日本リウマチ学会教育施設<br>日本超音波医学会専門医研修施設<br>日本認知症学会認定専門医教育施設<br>日本呼吸器内視鏡学会認定施設<br>日本血液学会認定専門研修施設<br>日本輸血・細胞治療学会指定施設認定 |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

昭和医科大学横浜市北部病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <p>・初期臨床研修制度期間型研修指定病院<br/>・研修に必要な図書室とインターネット環境がある。<br/>・労働環境が保障されている。<br/>・メンタルストレスに適切に対処する部署がある。<br/>・人権啓発・ハラスメントに対して、昭和医科大学に整備されている。<br/>・休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <p>・指導医が 13 名在籍している(2024 年 5 月 1 日)。<br/>・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図る。<br/>・医療倫理・医療安全・感染対策等の講習会を定期的に行い、専攻医に受講を義務付けている。<br/>・CPC を毎月に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための業務調整を行う。<br/>・研修施設群あるいは地域参加型のカンファレンスを定期的に行い、専攻医に出席を義務付け、そのための時間的余裕を与える。</p>                                                                                                                                                                                                     |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <p>カリキュラムに示す内科領域<br/>13 分野のうち、総合内科を除く、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病、感染症および救急の分野で定常的に専門研修が可能な症例数の診療を行っている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <p>日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表を指導し、行っている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>緒方 浩顕(内科研修プログラム 統括責任者)<br/>【内科専攻医へのメッセージ】<br/>昭和医科大学は東京都・神奈川県内に 8 つの附属病院及び 1 施設を有し、それらの病院が連携して人材の育成や地域医療の充実に向けて様々な活動を行っています。本プログラムは 臨床研修修了後に大学各附属病院および連携施設の内科系診療科が連携して、質の高い内科医を育成することを目的としたものです。また単に内科医を養成するだけでなく、医療安全を重視し、患者本位の医療サービスが提供でき、医学の進歩に貢献し、最良で最先端のチーム医療を担うことが出来る医師を育成することを目的としています。是非 このような研修環境を利用し 自らのキャリア形成の一助としてほしいと思います</p>                                                                                                                             |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>指導医数(常勤医)<br/>日本内科学会認定内科医 40 名、日本内科学会専門医 33 名、<br/>日本内科学会総合内科専門医 29 名、日本呼吸器学会呼吸器専門医 4 名、<br/>日本循環器学会循環器専門医 11 名、日本消化器病学会消化器専門医 23 名、<br/>日本腎臓病学会専門医 9 名、日本神経学会神経内科専門医 2 名、<br/>日本アレルギー学会専門医(内科)1 名、日本リウマチ学会専門医 2 名、<br/>日本高血圧学会専門医 1 名、日本血液学会専門医 2 名、<br/>日本甲状腺学会専門医 1 名、日本臨床腫瘍学会専門医 2 名、<br/>日本消化器内視鏡学会専門医 22 名、日本肝臓病学会専門医 6 名、<br/>日本透析医学会専門医 7 名、日本糖尿病学会専門医 2 名、<br/>日本内分泌学会内分泌代謝科専門医 3 名、日本感染症学会専門医 1 名、<br/>日本がん治療認定医機構・がん治療認定医 14 名、<br/>日本アフェリシス学会認定専門医 1 名</p> |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来:1,150.3 人、入院:592.7 人(2024 年度 一日平均患者数)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 11 領域、59 疾患群の症例を経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                        | <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p>                      | <p>日本呼吸器学会 認定施設<br/>日本呼吸器内視鏡学会 認定施設</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

|  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 日本アレルギー学会 認定教育施設<br>日本アフェシス学会 認定施設<br>日本消化器病学会 認定施設<br>日本消化器内視鏡学会 専門医制度指導施設<br>日本心血管インターベンション学会 研修施設<br>日本循環器学会 循環器専門医研修施設<br>日本神経学会 専門医制度教育施設<br>日本腎臓学会 研修施設<br>日本透析医学会 専門医制度認定施設<br>日本臨床腫瘍学会 研修施設<br>日本がん治療認定医機構 認定研修施設<br>日本静脈経腸栄養学会 栄養サポートチーム専門療法士認定規則実地修練<br>認定教育施設<br>日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設<br>日本栄養療法推進協議会 NST 稼働施設<br>日本緩和医療学会 認定研修施設<br>日本内分泌外科学会・日本甲状腺外科学会 専門医制度認定施設<br>日本高血圧学会認定施設 など |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>整備基準 24】<br/>1) 専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内にはインターネット環境が整備され、医療文献等データベース(UpToDateをはじめとした複数サービスあり)が使用可能です。図書室も24時間使用可能です。</li> <li>・常勤産業医も委員に含む衛生委員会によりメンタルヘルスや労働環境が常に適正化されています。また各種ハラスメント対策も講じられています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務可能な休憩室、更衣室、仮眠室、当直室などが完備しています。</li> <li>・24時間保育所が完備されています。</li> </ul>                                                   |
| <p>認定基準<br/>整備基準 24】<br/>2) 専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は11名在籍しています。</li> <li>・研修委員会が設置され院内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。</li> <li>・医療安全、感染対策、医療倫理講習会を定期的に行い受講する義務があります。また受講のために時間的余裕を与えています。</li> <li>・CPCは年複数回開催され、専攻医は出席が義務化されており、そのための時間的余裕が与えられます。</li> <li>・地域参加型カンファレンスを参画し、専攻医は出席が義務化されており、そのための時間的余裕が与えられます。</li> </ul>               |
| <p>認定基準<br/>整備基準 24】<br/>3) 診療経験の環境</p>      | <p>カリキュラムに示す内科領域13分野のうち、全分野(少なくとも7分野以上)で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。専門研修に必要な剖検(2022年度7件、2023年度9件、2024年度4件)を行っています。</p>                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>認定基準<br/>整備基準 24】<br/>4) 学術活動の環境</p>      | <p>日本内科学会講演会あるいは同地方会において年複数回学会発表を行っています。倫理委員会を設置し、定期的に行い(年2回)しています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>小向 大輔</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>現在内科系診療科は腎臓内科、循環器内科、消化器内科の3科が中心で構成されています。腎臓内科は透析導入数が年70名前後と多く川崎地区の腎不全地域医療を支えています。腹膜透析導入数も県下屈指です。また循環器内科は従来から積極的に行なわれてきたPCI、アブレーション治療に加え、最近ではTAVI、経カテーテル左心耳閉鎖術の施行数も増加しています。消化器内科も内視鏡のスキルが高く、内視鏡検査は年15,000件以上、内視鏡治療は2,000件以上行われています。そして「断らない医療」の名のもと、当院は救急関連の症例が豊富です。以上、皆さんの期待に沿える充実した研修が可能だと私たちは信じています。</p> |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会指導医名10名、日本内科学会総合内科専門医10名、<br/>日本消化器病学会消化器専門医6名、日本消化器内視鏡学会専門医5名<br/>日本肝臓病学会専門医1名、<br/>日本循環器学会循環器専門医8名、日本腎臓学会腎臓専門医4名、<br/>日本感染症学会専門医・指導医1名、日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医1名、<br/>日本救急医学会救急科専門医3名</p>                                                                                                                                                   |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来患者 2,251名(1カ月平均) 入院患者 1,031名(1カ月平均)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経験できる疾患群        | きわめて稀な疾患を除いて,研修手帳にある 13 領域,70 疾患群の症例を経験することができます.特に循環器,消化器,腎臓,救急においては専門医の指導のもと非常に多くの症例を経験することが可能です.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を,実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 急性期医療だけでなく,超高齢社会に対応した地域に根ざした医療,病診・病病連携なども経験できます.特に循環器,消化器,腎臓,救急においては高度な急性期医療を経験し,地域での病診・病病連携の中核となっています.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本内科学会認定医制度教育関連施設<br>日本消化器病学会専門医制度認定施設<br>日本消化管学会胃腸科指導施設<br>日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設<br>日本カプセル内視鏡学会認定指導施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本大腸肛門病学会認定施設<br>日本胆道学会認定指導医制度指導施設<br>日本腎臓学会専門医制度認定施設<br>日本透析医学会認定施設<br>日本脳卒中学会認定研修教育病院<br>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br>日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設<br>植込み型除細動器/ペースングによる心不全治療認定施設<br>日本不整脈学会認定不整脈専門医研修施設<br>IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル実施施設<br>経カテーテル的大動脈弁置換術指導施設<br>日本脈管学会認定研修指定施設<br>救急認定医・教育医制度認定施設<br>左心耳閉鎖システム実施施設<br>日本超音波医学会専門医制度研修施設<br>日本循環器学会経皮的僧帽弁接合不全修復システム実施施設 |

独立行政法人国立病院機構 相模原病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <p>労働基準法、医療法を順守する。<br/>基幹施設及び連携施設の就業環境(添付資料参照)に基づき、就業する。<br/>国立病院機構相模原病院の整備状況:<br/>・研修に必要な図書室とインターネット環境がある。<br/>・国立病院機構のシニアレジデントとして労務環境が保障されている。<br/>・メンタルストレス、ハラスメントに適切に対処する窓口がある。<br/>・敷地内に院内保育所があり、利用可能である。<br/>総括評価の際に専攻医および指導医は専攻医指導施設に対する評価を行う。内容はプログラム管理委員会に報告され、適切な改善を基幹および連携施設に対して助言できるように図る。</p>                                                                                               |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <p>・内科指導医が 212 名在籍している。<br/>・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図る。<br/>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催している(2020 年度実績医療倫理に関しては研究センター主導で CITI Japan の受講を促し、倫理委員会についても月一回程度定期的に行っている。医療安全講習、感染対策に関しても年 2 回以上の開催をしている)。専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。<br/>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。<br/>・CPC を定期的に開催(2023 年度実績 4 回、2024 年度実績 5 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。</p> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <p>カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、消化器、循環器、呼吸器、神経内科、アレルギー、膠原病、血液内科の分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療している。<br/>また、総合内科に関しては専門各科が協力し応需をしており、内科研修内に経験可能である。<br/>感染症については、症例は十分数存在し、また救急部はないが一般二次内科救急を輪番で経験することにより、これらの分野に対する研鑽を積むことが可能である。</p>                                                                                                                                                                                   |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <p>日本内科学会地方会に年間で計 3 演題以上の学会発表<br/>(2024 年度実績 1 演題)をしている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>森田 有紀子<br/>【内科専攻医へのメッセージ】<br/>当院は、相模原地域の二次救急病院であり、地域支援病院として同地域の診療を支える一方で、免疫異常(リウマチ、アレルギー)の我が国の基幹施設として臨床研究センターを併設した高度専門施設としての役割が期待されています。<br/>それらの事情から、当施設において総合内科専門医を教育、輩出し、またサブスペシャリティの専門領域の研鑽を積むことができる施設として、内科教育の場を提供し、優れた臨床医の育成に努めています。</p>                                                                                                                                                        |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会指導医 17 名、日本内科学会総合内科専門医 17 名<br/>日本消化器病学会消化器専門医 6 名、<br/>日本循環器学会循環器専門医 5 名、<br/>日本呼吸器学会呼吸器専門医 6 名、<br/>日本神経学会神経内科専門医 3 名、<br/>日本アレルギー学会専門医(内科)8 名、<br/>日本リウマチ学会専門医 4 名、日本血液内科学会 1 名、<br/>日本内分泌学会1名、日本糖尿病学会1名、日本腎臓内科学会1名<br/>ほか</p>                                                                                                                                                               |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来患者 6299.7 名(内科系診療科のみ 1 ヶ月平均 延べ患者数)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群、200 症例のうち、189 症例を経験することが可能です。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経験できる地域医療・診療連携  | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした 医療、病診・病病連携なども経験できます。                                                                                                                                                                                                                              |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本内科学会認定医制度教育病院<br>日本消化器病学会認定施設<br>日本呼吸器学会認定施設<br>日本アレルギー学会認定教育施設<br>日本消化器内視鏡学会認定指導施設<br>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br>日本肝臓学会認定施設<br>日本内科学会認定専門医研修施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本高血圧学会高血圧専門医認定施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修施設<br>日本神経学会専門医認定教育施設<br>日本リウマチ学会認定教育施設<br>日本血液内科学会認定教育施設<br>など |

市立大町総合病院

|                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・ 研修に必要な図書室とインターネット環境(有線 LAN, Wi-Fi)があります。</li> <li>・ 当院専攻医として勤務環境が保障されています。</li> <li>・ メンタルストレスに適切に対処する部署およびハラスメント窓口として衛生委員会で設置されています。</li> <li>・ 衛生委員会は産業医および看護師等で構成されており、いつでも声掛けできる体制が整っています。</li> <li>・ 女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・ 敷地内に託児所、病児保育室があり、利用可能です。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専攻医の環境</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導医は1名在籍しています(下記)。</li> <li>・ 専門研修プログラム委員会にて、基幹施設との連携を図ります。</li> <li>・ 医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催(2024 年実績 医療倫理 5 回, 医療安全 2 回, 感染対策 2 回)しています。</li> <li>・ CPC を定期的に開催(2024 年実績 1 回)しています。</li> </ul>                                                                                                                                      |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>3)診療経験の環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち一部分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・ 70 疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも 45 以上の疾患群)について研修できます。</li> <li>・ 専門研修に必要な剖検を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                     |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨床研究に必要な図書室などを整備しています。</li> <li>・ 倫理委員会を設置し、定期的に開催しています。</li> <li>・ 日本内科学会地方会での学会発表を行っています。また、国内外の内科系学会での学会発表にも取り組める環境があります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                 |
| 指導責任者                                   | 金子一明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 指導医数<br>(常勤医)                           | 日本内科学会指導医 1 名、日本内科学会総合内科専門医 6 名<br>日本循環器学会循環器専門医 1 名、日本腎臓病学会腎臓専門医 1 名<br>日本呼吸器学会呼吸器専門医 2 名、日本アレルギー学会アレルギー専門医 2 名<br>日本リウマチ学会リウマチ専門医 1 名、日本感染症学会専門医 1 名、ほか                                                                                                                                                                                                                        |
| 外来・入院患者数                                | 外来患者 2,565 名(1 ヶ月平均) 入院患者 135 名(1 ヶ月平均)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 経験できる疾患群                                | きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 経験できる技術・技能                              | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 経験できる地域医療・診療連携                          | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 学会認定施設(内科系)                             | 日本内科学会認定医制度教育関連病院<br>日本内科学会 教育病院<br>日本救急医学会 救急科指定施設<br>日本消化器病学会 認定施設<br>日本循環器学会 研修施設<br>日本呼吸器学会 認定施設<br>日本血液学会 研修施設<br>日本糖尿病学会 認定教育施設<br>日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設(関連施設)<br>日本消化器病学会関連施設<br>日本東洋医学会指定研修施設(教育関連施設)<br>日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設<br>北アルプス家庭医療プログラム など                                                                                                                     |

諏訪中央病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <p>・医師臨床研修制度における基幹型臨床研修病院です。<br/>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。<br/>・組合立諏訪中央病院の会計年度任用職員として労務環境が保障されています。<br/>・メンタルストレスに適切に対処する部署(庶務人事課庶務係)があります。<br/>・ハラスメント委員会が院内に整備されています。<br/>・女性専攻医も安心して勤務できるように、休憩室・更衣室・仮眠室・シャワー室・当直室が整備されています。<br/>・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。</p> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <p>・医師臨床研修制度における基幹型臨床研修病院です。<br/>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。<br/>・組合立諏訪中央病院の会計年度任用職員として労務環境が保障されています。<br/>・メンタルストレスに適切に対処する部署(庶務人事課庶務係)があります。<br/>・ハラスメント委員会が院内に整備されています。<br/>・女性専攻医も安心して勤務できるように、休憩室・更衣室・仮眠室・シャワー室・当直室が整備されています。<br/>・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。</p> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <p>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち総合内科、消化器、循環器、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、救急の分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。<br/>・専門研修に必要な剖検(2023 年度 8 体、2024 年度 5 体)を行っています。</p>                                                                                                                     |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <p>・臨床研究に必要な図書室等を整備しています。<br/>・倫理委員会を設置/開催しています。<br/>・臨床研修・研究センターを設置して研究に関するとりまとめを行っています。<br/>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 3 演題以上の学会発表をしています。</p>                                                                                                                   |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>若林 禎正<br/>【内科専攻医へのメッセージ】<br/>患者のどのような訴えにも耳を傾け、その原因となる疾患を明らかにし、専門治療が必要な場合には迅速に専門医へ紹介する能力を養います。先進医療だけではなく、回復期リハビリ病棟でのケアや慢性疾患に対する外来診療、通院ができない場合には訪問診療・往診をし、シームレスで患者や家族の生活に寄り添う医療を行います。</p>                                                                     |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会指導医 14 名<br/>日本内科学会総合内科専門医 12 名<br/>日本消化器病学会消化器専門医 3 名<br/>日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 2 名<br/>日本循環器学会循環器専門医 2 名<br/>日本呼吸器学会呼吸器専門医 3 名<br/>日本救急医学会救急科専門医 2 名<br/>日本リウマチ学会リウマチ専門医 3 名<br/>日本神経学会神経内科専門医 2 名<br/>日本感染症学会感染症専門医 2 名 他</p>                        |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来患者 17,040 名(全科 1 ヶ月平均)(令和 5 年度実績)<br/>入院患者 575 名(全科 1 ヶ月平均)(令和 5 年度実績)</p>                                                                                                                                                                                |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群のうち総合内科、消化器、循環器、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、救急の分野で症例を幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                    |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                 |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                        | <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。</p>                                                                                                                                                                                                        |
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p>                      | <p>日本内科学会認定医制度教育病院<br/>日本循環器学会循環器専門医研修施設</p>                                                                                                                                                                                                                   |

|  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 日本プライマリ・ケア連合学会認定新家庭医療専門研修プログラム施設<br>日本東洋医学会研修施設<br>日本呼吸器学会認定施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本透析医学会専門医制度認定施設<br>日本静脈経腸栄養学会・NST稼働施設<br>日本消化器内視鏡学会指導施設<br>日本消化器病学会関連施設<br>日本在宅医学会認定在宅医療研修プログラム施設<br>日本腎臓学会認定研修施設<br>日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設<br>日本救急医学会救急科専門医指定施設<br>日本リウマチ学会教育施設<br>日本感染症学会認定研修施設<br>日本臨床神経生理学会準教育施設      他 |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

松波総合病院

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・ 研修に必要な図書室とインターネット環境(有線 LAN, Wi-Fi)があります。</li> <li>・ 松波総合病院専攻医として勤務環境が保障されています。</li> <li>・ メンタルストレスに適切に対処する部署があります</li> <li>・ 女性専攻医が安心して勤務できるように、仮眠室, 更衣室, 当直室が整備されています。</li> <li>・ 敷地内に 24 時間対応院内託児所があり, 利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                  |
| 2) 専門研修プログラムの環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導医は 33 名在籍しています(下記)。</li> <li>・ 内科専門研修プログラム管理委員会にて, 基幹施設, 連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。</li> <li>・ 基幹施設内で研修する専攻医の研修を管理する, 内科専門研修委員会を設置します。</li> <li>・ 医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催(2024 年実績 医療倫理 2 回, 医療安全 2 回, 感染対策 2 回)し, 専攻医に受講を義務付け, そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ CPC を定期的に開催(2024 年実績 12 回)し, 専攻医に受講を義務付け, そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講を義務付け, そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 日本専門医機構による施設実地調査に臨床研修センターが対応します。</li> </ul> |
| 3) 診療経験の環境            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野(少なくとも 7 分野以上)で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています(上記)</li> <li>・ 70 疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも 45 以上の疾患群)について研修できます。</li> <li>・ 専門研修に必要な剖検を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 4) 学術活動の環境            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨床研究に必要な図書室などを整備しています。</li> <li>・ 倫理委員会を設置し, 定期的に開催しています。</li> <li>・ 治験管理室を設置し, 定期的に受託研究審査会を開催しています。</li> <li>・ 日本内科学会講演会あるいは同地方会での学会発表を行っています。また、国内外の内科系学会での学会発表にも積極的に取り組める環境があります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                              |
| 指導責任者                 | <p>田上 真</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>松波総合病院は、岐阜医療圏に位置して地域中核病院として急性期から慢性期までの基礎的、専門的医療を学べます。主治医として入院から退院まで経時的に診断・治療の流れを通じて、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践出来る内科専門医になります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 指導医数<br>(常勤医)         | <p>内科学会指導医 33 名、日本内科学会総合内科専門医 27 名</p> <p>日本消化器病学会消化器専門医 11 名 日本消化器内視鏡学会専門医 7 名</p> <p>日本呼吸器学会呼吸器専門医 3 名、日本血液学会専門医 4 名</p> <p>日本糖尿病学会専門医 6 名、日本内分泌学会専門医 7 名</p> <p>日本感染症学会専門医 3 名、日本臨床腫瘍学会専門医 4 名 他</p>                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 外来・入院患者数<br>[2022 年度] | <p>総入院患者数(実数)9,885 名、総外来患者数(実数)177,322 名</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 経験できる疾患群              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 経験できる技術・技能            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 経験できる地域医療・診療連携        | <p>急性期医療だけではなく、超高齢化社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p> | <p>日本内科学会 教育病院<br/> 日本救急医学会 救急科指定施設<br/> 日本消化器病学会 認定施設<br/> 日本循環器学会 研修施設<br/> 日本血液学会 研修施設<br/> 日本糖尿病学会 認定教育施設<br/> 日本腎臓学会 研修施設<br/> 日本肝臓学会 認定施設<br/> 日本臨床腫瘍学会 研修施設<br/> 日本消化器内視鏡学会 指導施設<br/> 日本呼吸器内視鏡学会 認定施設<br/> 日本新血管インターベンション治療学会 研修施設<br/> 日本不整脈学会 日本心電図学会認定 不整脈専門医研修施設<br/> 日本がん治療認定医機構 認定研修施設<br/> 日本透析医学会 認定施設<br/> 日本高血圧学会 認定施設 他</p> |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

伊東市民病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <p>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。<br/>・研修に必要な図書室とインターネット環境(有線・Wi-Fi)があります。<br/>・伊東市民病院常勤医師として勤務環境が保障されています。<br/>・メンタルストレスに適切に対処する部署(労働安全衛生委員会)及びハラスメント委員会があり産業医及び認定心理士が相談窓口となっております。<br/>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、温泉大浴場、当直室が整備されています。<br/>・敷地内に 24 時間対応の院内保育所があり、利用可能です。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <p>指導医が 5 名在籍しています。<br/>・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。<br/>・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催(2024 年度実績、医療安全 2 回(各複数回開催)、感染対策 2 回(各複数回開催))し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。<br/>・医療倫理講習会については、地域医療振興協会研修センターでの受講又は e ラーニングシステムを利用した受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。<br/>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。<br/>・CPC を定期的に開催(2024 年度実績 6 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。<br/>・地域参加型のカンファレンス(2024 年度実績 年 6 回)を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。のうち、7 つの分野(総合内科、消化器、循環器、呼吸器、神経、感染症、救急)の分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</p> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <p>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、7 つの分野(総合内科、消化器、循環器、神経、膠原病、感染症、救急)の分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <p>日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 3 演題以上の学会発表(2024 年度実績 2 演題)を行っております。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>川合 耕治<br/>【内科専攻医へのメッセージ】<br/>伊東市民病院は救急医療の充実とそれを支える各診療機能の連携を通して、伊東市ならびに伊豆東海岸の急性期医療を担う病院として機能を高めてきました。更に地域医療振興協会関連の 6 診療所、1 病院と連携して伊豆半島の包括的医療について関わりたいと努力しております。臨床研修ではそういった背景の中で総合的・実践的な診療の力を身につけたい方のための研修プログラムを実施して、地域医療で活躍できる人材の育成に力を注いでいます。内科は現在循環器内科と消化器内科が独立していますが、呼吸器内科、リウマチ内科、神経内科、内分泌内科を含め、総合内科として包括的な診療を基本としております。救急診療は年間 5,742 件、救急車搬入件数年間 4,470 件、CPA 受入数年間 138 件と、所謂“2.5 次医療機関”として多種多様な疾患に対応しています。CPC を隔月で開催し、多職種を交えた総合カンファレンス、臨床検討会・勉強会を実施しています。スローガンは『みんなを元気にしたい』です。</p>                                                             |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会指導医 5 名、<br/>日本内科学会総合内科専門医 5 名<br/>日本消化器病学会消化器専門医 2 名(うち 1 名は外科)<br/>日本循環器学会循環器専門医 1 名、<br/>日本神経学会専門医 1 名<br/>日本アレルギー学会専門医 1 名<br/>日本リウマチ学会専門医 2 名、(うち 1 名は整形外科)ほか</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来患者 34,446 人/年 入院患者 38,674 人/年 (2024 年度実績)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

|                 |                                                        |
|-----------------|--------------------------------------------------------|
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。       |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本内科学会教育関連病院<br>日本消化器病学会関連病院<br>日本リウマチ学会教育施設           |

静岡県立静岡がんセンター

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院である。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境がある。</li> <li>・常勤医として勤務環境が保障されている。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(総務課職員担当)があります。</li> <li>・ハラスメント相談窓口を設置している。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されている。</li> <li>・敷地内に院内保育所があり、利用可能である。</li> </ul>                                                                                                                                                                                 |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医が6名在籍している。</li> <li>・研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図る。</li> <li>・医療安全、感染対策講習会を定期的開催(2022 年度実績:医療安全 10 テーマ2回、感染対策2回)し、専攻医に講習会の受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。医療倫理講習会は基幹施設で行う講習会の受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参加し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。</li> <li>・CPCを定期的開催(2022 年実績3回)し、専攻医に当院又は基幹施設もしくは日本内科学会が行うCPCの受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。</li> <li>・地域参加型のカンファレンスを毎月開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <p>カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、消化器、呼吸器の分野を中心に定常的に専門研修が可能な症例数を診察している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <p>臨床研究に必要な図書室等を整備している。<br/>倫理委員会を設置し、定期的開催(月1回)している。<br/>臨床研究支援センター 治験管理室を設置し、受託研究審査会を開催している。<br/>日本内科学会講演会あるいは同地方会に学会発表をしている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>副院長 高橋 利明<br/>【内科専攻医へのメッセージ】<br/>静岡県立静岡がんセンターは、全床 615 床、都道府県がん診療拠点病院、特定機能病院の資格を有するがんの高度医療機関です。<br/>経験できる疾患群は、13 領域のうち、がん専門病院として 11 領域 49 疾患群の症例を経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会指導医6名<br/>日本内科学会総合内科専門医 21 名<br/>日本消化器病学会消化器専門医 18 名<br/>日本消化器内視鏡学会専門医 13 名<br/>日本呼吸器学会呼吸器専門医9名<br/>日本血液学会血液専門医8名<br/>日本感染症学会感染症専門医1名<br/>日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医 10 名 ほか (2024.4 現在)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来延べ患者 327,097 名(2024 年度)、入院延べ患者 203,474 名(2024 年度)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>13 領域のうち、がん専門病院として主に5領域 27 疾患群の症例を、最大 11 領域 49 疾患群の症例を経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                        | <p>がんの急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p>                      | <p>日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設<br/>日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医制度認定施設<br/>日本泌尿器科学会専門医教育施設<br/>日本臨床腫瘍学会認定研修施設</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |



|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・聖隷浜松病院医師として勤務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレスに対処する部署（聖隷福祉事業団本部に委員会）があります。</li> <li>・ハラスメントに関する相談・苦情受付体制は聖隷福祉事業団本部に事務局、施設に担当窓口が整備されています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・隣接敷地外に院内保育園があり、利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医 49 が名在籍しています(下記)。</li> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会〔統括責任者(副院長・循環器科診療部長)、プログラム管理者(総合診療内科主任医長)(ともに指導医)；基幹施設、連携施設に設置されている研修管理委員会との連携を図ります。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修管理委員会を設置し、設置済の人材育成センターとともに、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、内科専門研修プログラム管理委員会と連携を図ります。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に開催(2024 年度実績 8 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンスを開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講(2024 年度開催実績 1 回)を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。また、日本救急医学会認定 ICLS コース、AHA 認定 ACLS コースなども受講可能です。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に人材育成センターが対応します。</li> <li>・特別連携施設の浜松市国民健康保険佐久間病院での専門研修では、メールや電話で指導医がその施設での研修指導を行います。特別連携施設の坂の上ファミリークリニック/坂の上在宅医療支援医院での専門研修では、電話や 2 週 1 回程度で聖隷浜松病院での面談や基幹施設でのカンファレンスへの参加などにより指導医がその施設での研修指導を行います。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野(少なくとも 7 分野以上)で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています(上記)。</li> <li>・70 疾患群のほぼ全疾患群(少なくとも 35 以上の疾患群)を研修できます(上記)。</li> <li>・専門研修に必要な剖検(2022 年 9 体、2023 年 12 体、2024 年 13 体)を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室やインターネット環境(電子ジャーナル)などを整備しています。</li> <li>・学術広報室・フォトセンターがあり、学会ポスター作成の支援が受けられます。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的に開催(2024 年度実績 2 回)しています。</li> <li>・臨床研究管理センターを設置し、定期的に臨床研究審査委員会を開催しています。</li> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会(2021 年度実績 6 演題)ならびにサブスペシャルティ学会での学会発表を含めると年間計 10 演題以上行っています。</li> <li>・浜松医科大学社会人大学院に入学が可能であり、研究活動を行うことができます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>杉浦 亮(循環器科部長)</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>聖隷浜松病院は、急性期病院として、高度な先進医療を提供するとともに、豊富な症例や指導者により、多く人材の育成を行っています。また地域の病院や開業医と病病・病診連携を行い、さらに聖隷三方原病院という系列病院や遠州病院という地域の拠点病院と連携することで、地域医療の充実を図っています。本プログラムは初期臨床研修修了後に地域の医療機関が連携し、内科専門医を育成するものです。聖隷浜松病院の理念である患者本位の医療サービスを学び、安全な医療や高度医療に触れることで、単に内科専門医を養成する</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | だけでなく、より質の高い医療を提供できる内科医の育成を図ります。さらに、多くのサブスペシャリティの指導医と学ぶことで、内科専門医からサブスペシャリティ専門医への経験を積むことができます。先進的な医学に触れ、医学の進歩に貢献し、日本の医療を担える医師を育成することを目的とするものです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 指導医数<br>(常勤医)   | 日本内科学会指導医 49 名、日本内科学会総合内科専門医 31 名<br>日本消化器病学会消化器病専門医 10 名、日本消化器病学会指導医 2 名<br>日本循環器学会循環器専門医 10 名、<br>日本呼吸器学会呼吸器専門医 8 名、日本呼吸器学会指導医 4 名<br>日本血液学会血液専門医 3 名、日本血液学会指導医 2 名、<br>日本内分泌学会内分泌代謝科専門医 2 名、日本内分泌学会指導医 1 名<br>日本糖尿病学会糖尿病専門医 2 名、日本糖尿病学会研修指導医 1 名<br>日本腎臓病学会腎臓専門医 2 名、日本腎臓病学会指導医 2 名、<br>日本肝臓学会肝臓専門医 4 名、日本肝臓学会指導医 1 名、<br>日本アレルギー学会アレルギー専門医(内科)2 名、<br>日本神経学会神経内科専門医 5 名、日本神経学会指導医 3 名、<br>日本リウマチ学会リウマチ専門医 1 名、日本リウマチ学会指導医 1 名、<br>その他:(日本救急医学会救急科専門医、日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医など幅広く在籍しています。)                                                         |
| 外来・入院患者数        | 外来患者 2,682 名(1ヶ月平均) 入院患者 1,733 名(1ヶ月平均)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 経験できる疾患群        | きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本内科学会認定医制度認定教育病院<br>日本消化器病学会専門医制度認定施設<br>日本肝臓学会認定施設<br>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br>日本呼吸器学会認定施設<br>日本神経学会認定医教育施設<br>日本血液学会認定研修施設<br>日本リウマチ学会教育施設<br>日本糖尿病学会認定教育施設<br>日本内分泌学会認定教育施設<br>日本腎臓学会研修施設<br>日本アレルギー学会準教育施設<br>日本救急医学会救急科専門医指定施設<br>日本消化器内視鏡学会指導施設<br>日本消化管学会胃腸科指導施設<br>日本心血管インターベンション学会認定研修施設<br>経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設<br>日本高血圧学会専門医認定施設<br>不整脈専門医研修施設<br>日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設<br>日本脳卒中学会認定研修教育病院<br>日本てんかん学会認定研修施設<br>日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設<br>日本甲状腺学会認定専門医施設<br>日本透析医学会専門医制度認定施設<br>日本栄養療法推進協議会認定 NST(栄養サポートチーム)稼動施設<br>日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設 |

|  |                                                                                                                         |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 日本緩和医療学会認定研修施設<br>日本リハビリテーション医学会研修施設<br>日本臨床薬理学会認定研修施設<br>日本静脈経腸栄養学会 NST(栄養サポートチーム)稼動施設<br>日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設<br>など |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・社会医療法人宏潤会常勤医師または非常勤医師として勤務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署（健康管理室）があります。</li> <li>・ハラスメントに適切に対処する部署があります。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・敷地に隣接し院内保育所（「大同保育所おひさま」）があり、入所対象は職員（パートタイム職員を含む）の子で、延長保育、夜間保育、病児・病後児保育にも利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 2) 専門研修プログラムの環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は 22 名在籍しています。</li> <li>・飯塚病院内科専門研修プログラム管理委員会委員（副院長、腎臓内科部長、総合内科専門医かつ指導医）は、大同病院院内に設置されている飯塚病院内科専門研修委員会委員長を兼務しており、基幹施設、連携施設との連携を図ります。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修委員会と卒後研修支援センターを設置しています。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策に関する認定共通講習を開催し、専攻医に年度 2 回の受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。（2024 年度実績 医療倫理 2 回、医療安全 2 回、感染対策 2 回）</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。（開催実績：2024 年度 9 回）</li> <li>・地域参加型のカンファレンスを定期的に開催し、専攻医に参加を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。（基幹施設開催実績：例年 20 回前後開催 病診連携の会、消防合同カンファレンス、感染症症例検討会、専攻医セミナー症例検討 など）</li> <li>・全内科専攻医に JMECC 受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。（基本毎年度 1 回開催 開催実績：2015～2024 年度受講者合計 55 名）</li> <li>・日本専門医機構によるサイトビジット（施設実地調査）に大同病院卒後臨床研修支援センターが対応します。</li> <li>・大同病院の外来診療部門であるだいでクリニックでは、大同病院での研修時の外来研修を行い、外来から入院への一連の診療の流れに沿った研修が可能となるよう研修指導を行います。</li> <li>・志望する Subspecialty にかかわらず、内科各科のローテーション研修を可能としています。</li> </ul> |
| 3) 診療経験の環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群（最少でも 56 以上の疾患群）について研修できます。</li> <li>・専門研修に必要な内科剖検（2022 年度実績 15 体、2023 年度 9 体、2024 年度 14 体）があります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 4) 学術活動の環境      | <p>教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修医や医学部学生の指導には、専攻医必須の役割として関わります。</li> <li>・後輩専攻医の指導機会があります。</li> <li>・メディカルスタッフへの指導機会があります。</li> </ul> <p>学術活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内科系の学術集会や企画（日本内科学会本部または支部主催の生涯教育講演会、年次講演会、および内科系サブスペシャリティ学会の学術講演会・講習会等）に年 2 回以上参加するための参加費補助があります。</li> <li>・筆頭演者または筆頭著者として、3 年間で 2 件以上の学会発表あるいは論文発表を行うため、内科系の学術集会や企画への参加費補助があります。</li> <li>・症例報告作成や基礎研究を行うために必要な図書室を整備しています。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的に開催（2023 年度実績 12 回）しています。</li> <li>・治験管理室を設置し、定期的に受託研究審査会を開催（2023 年度実績 12 回）しています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 指導責任者                 | <p>志水 英明</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>大同病院は、名古屋市南部から知多半島北部医療圏の中心的な急性期病院です。中規模病院であるが故に、内科系の各領域間に垣根はなく、横断的な研修が可能です。また内科13領域のうち、12領域で専門医が存在し幅広い研修が可能です。</p> <p>院内では各科のカンファレンスや各種セミナー・勉強会を頻回に開催しており、さらに多職種合同カンファレンスなども実施しています。大同病院における研修では、各科ローテーション中にそのローテーション科以外の科や総合内科の患者を同時に主担当する事が可能です。また週に1日「サブスペ研修日」を設ける事が可能で、generalな研修を行いながらもsubspecialな研修を並行して行う事ができます。</p> <p>大同病院での研修では、多様な形態の内科診療を通して必要に応じた可塑性のある、地域医療にも貢献できる内科専門研修を行います。主担当医として、入院から退院（初診・入院～退院・通院）まで経時的に、診断・治療の流れを通じて、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医になります。</p> |
| 指導医数<br>(常勤医)         | <p>日本内科学会指導医 22 名、総合内科専門医 17 名、消化器病専門医 5 名、消化器内視鏡専門医 4 名、肝臓専門医 2 名、日本胆道学会指導医 2 名、日本膵臓学会指導医 2 名、循環器専門医 4 名、内分泌代謝科専門医 2 名、糖尿病専門医 2 名、腎臓専門医 5 名、呼吸器専門医 4 名、血液専門医 1 名、神経内科専門医 3 名、リウマチ専門医 6 名、感染症専門医 1 名、がん薬物療法専門医 1 名<br/>内科専門医 11 名</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 外来・入院患者数<br>[2023 年度] | <p>(2024 年度)</p> <p>内科系外来患者 2,606 名/月、(外来部門だいどうクリニック 7,015 名/月)、<br/>内科系入院患者実数 629 名/月</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 経験できる疾患群              | <p>きわめて稀な症例を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 経験できる技術・技能            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 経験できる地域医療・診療連携        | <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診、病病連携なども経験できます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 学会認定施設<br>(内科系)       | <p>日本内科学会認定医制度教育病院<br/>日本神経学会専門医制度教育施設<br/>日本呼吸器学会認定施設<br/>日本消化器病学会認定施設<br/>日本消化器内視鏡学会認定指導施設<br/>日本肝臓学会関連施設<br/>日本膵臓学会認定指導施設<br/>日本胆道学会認定指導施設<br/>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br/>日本内分泌学会認定教育施設<br/>日本糖尿病学会認定教育施設<br/>日本血液学会認定血液研修施設<br/>日本腎臓学会研修施設<br/>日本透析医学会認定教育関連施設<br/>日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医制度認定施設<br/>日本リウマチ学会教育施設<br/>日本アレルギー学会認定教育施設<br/>日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br/>日本救急医学会認定救急科専門医指定施設 など</p>                                                                                                                                            |

一宮西病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署があります</li> <li>・ハラスメントを取り扱う委員会があります</li> <li>・無料職員駐車場、更衣室、当直室が整備されています</li> <li>・提携した保育所があり、利用可能です</li> </ul>                                                                                                                                      |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・内科指導医は 23 名在籍しています。</li> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会(統括責任者:循環器内科副部長)、プログラム管理者(ともに総合内科専門医かつ指導医)が<br/>基幹施設と連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付けます。</li> <li>・CPC を定期的に開催し(2024 年度実績 6 回)、専攻医に受講を義務付けます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講を義務付けます。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に研修管理委員会が対応します。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち 10 分野は、定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・専門研修に必要な剖検を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理委員会を設置しています。</li> <li>・治験に適切に対応する部署(経営企画課)があります。</li> <li>・日本内科学会講演会或いは同地方会に年間で計 3 演題以上の学会発表をしています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>田中 伸享<br/>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>一宮西病院は、愛知県尾張西部医療圏の中心的な急性期病院であり、愛知県もしくは全国各地にある連携施設と協力して研修を行ないます。主担当医として、入院から退院&lt;初診・入院～退院・通院&gt;まで経時的に、診断・治療の流れを通じて、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医になります。</p>                                                                                                                                                                           |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会指導医 23 名、日本内科学会総合内科専門医 23 名、<br/>日本消化器学会消化器病専門医 19 名、日本循環器学会循環器専門医 10 名、<br/>日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 10 名、日本糖尿病学会糖尿病専門医 3 名、<br/>日本腎臓学会腎臓専門医 2 名、日本呼吸器学会呼吸器専門医 5 名、<br/>日本血液学会血液専門医 1 名、日本神経学会神経内科専門医 4 名、<br/>日本リウマチ学会リウマチ専門医 2 名、日本感染症学会感染症専門医 2 名</p>                                                                                                                 |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>来患者 1,075 名(1 日平均) 入院患者 759 名(1 日平均)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>極めて稀な疾患を除いて、研修手帳にある 12 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することが出来ます</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することが出来ます</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                        | <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根差した医療、病診・病病連携なども経験出来ます</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p>                      | <p>日本消化器病学会認定施設<br/>日本循環器学会循環器専門医研修施設<br/>日本呼吸器学会認定施設<br/>日本血液学会血液研修教育施設<br/>日本リウマチ学会教育施設<br/>日本神経学会教育施設<br/>日本頭痛学会 認定教育施設<br/>日本呼吸器内視鏡学会認定施設<br/>日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br/>日本消化器内視鏡学会指導施設<br/>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br/>日本糖尿病学会認定教育施設<br/>日本心血管インターベンション治療学会研修施設</p>                                                                                                                    |

|  |                                                                                                                        |
|--|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 日本不整脈学会認定不整脈専門医研修施設<br>日本脳卒中学会認定研修教育病院<br>日本内分泌学会 認定教育施設<br>日本肥満学会認定 肥満症専門病院<br>日本感染症学会 認定研修施設<br>日本緩和医療学会認定研修施設<br>など |
|--|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

公立陶生病院、

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・ 研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・ 公立陶生病院常勤医師として勤務環境が保障されています。</li> <li>・ メンタルストレスに適切に対処する部署（人事課）があります。また、メンタルヘルスに関する相談窓口を設けています。産業医が在籍しています</li> <li>・ ハラスメントの相談窓口を設けハラスメント対策委員会が整備されています。</li> <li>・ 女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・ 敷地内に保育所があり利用可能です。病児保育も可能です</li> </ul>                                                                    |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導医が 31 名在籍しています。（下記）</li> <li>・ 内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図っています。</li> <li>・ 医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催（2023 年度実績 2 回）しています。専攻医は受講が義務ですが、そのために時間的余裕を確保します。</li> <li>・ 研修施設群合同カンファレンスに定期的に参画し、専攻医は受講が義務ですが、そのための時間的余裕を確保します。</li> <li>・ CPC を定期的に開催（2023 年度実績 6 回）し、専攻医は受講が義務ですが、そのための時間的余裕を確保します。</li> <li>・ 地域参加型のカンファレンスを定期的に開催し、専攻医は受講が義務ですが、そのための時間的余裕を確保します。</li> </ul>    |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表（2023 年度実績 4 演題）を行っています</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>浅野博<br/>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>公立陶生病院は、最重症の内科救急を最先端医療で対応しドクターヘリ患者搬送の受け入れも行う3次救急病院であるとともに、慢性・難治性疾患にも対応し、がん診療拠点病院でもあります。内科における 13 領域すべての専門医と緩和ケア専従医が在籍し、豊富な症例数から、全領域において必要十分な内科専門医としての修練が可能です。代々培われた屋根瓦方式の研修が行われ、熱い上級医の指導のもと、各種内科救急、慢性・難治性疾患、癌診療、緩和医療から在宅医療まで、内科医としての幅広い技量を身に付けられます。Common disease から専門性の高い疾患の経験、subspecialty 研修まで個人のニーズに合った幅広い研修と、院内研究会、国内・国際学会発表、論文作成に対してのアカデミック・サポートも充実しています。</p> <p>連携病院としての受け入れは、各個人の症例経験達成度も配慮し希望配属部署の調整が可能です。</p> |
| <p>指導医数<br/>（常勤医）</p>                        | <p>日本内科学会指導医 31 名、日本内科学会総合内科専門医 30 名、<br/>日本消化器病学会消化器病専門医 6 名、日本循環器学会循環器専門医 6 名、<br/>日本腎臓学会専門医 4 名、日本呼吸器学会呼吸器専門医 11 名、<br/>日本糖尿病学会糖尿病専門医 3 名、日本内分泌学会内分泌代謝科専門医 4 名、<br/>日本神経学会神経内科専門医 4 名、日本肝臓学会肝臓専門医 2 名、<br/>日本血液学会血液専門医 5 名、日本アレルギー学会アレルギー専門医（内科）2 名、<br/>日本感染症学会専門医 1 名、日本救急医学会救急科専門医 3 名</p>                                                                                                                                                         |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来患者 1595 名（1 日平均）、入院患者 521 名（1 日平均）</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、疾患群項目表にある 13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>経験できる地域医療・</p>                            | <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 診療連携            | 経験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本消化器内視鏡学会指導施設<br>日本消化器病学会専門医制度認定施設<br>日本呼吸器学会認定施設<br>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br>日本神経学会専門医制度教育施設<br>日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設<br>日本透析医学会専門医制度認定施設<br>日本リウマチ学会教育施設<br>日本東洋医学会研修施設<br>日本心血管インターベーション治療学会研修施設<br>日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設<br>日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br>日本腎臓学会研修施設<br>日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>浅大腿動脈ステントグラフト実施施設<br>日本緩和医療学会認定研修施設<br>日本血液学会認定血液研修施設<br>日本内分泌学会認定教育施設<br>日本糖尿病学会認定教育施設<br>日本認知症学会専門医制度認定教育施設<br>日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設<br>日本カプセル内視鏡学会指導施設<br>日本膵臓学会指導施設 |

三重県立志摩病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準24】<br/>1)専攻医の環境</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境(Wi-Fi)があります。</li> <li>・県立病院常勤医師として勤務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(総務課職員担当、外部カウンセラー)があります。</li> <li>・ハラスメント委員会が県立志摩病院に整備されています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・病院近傍に院内保育所があり、利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>認定基準<br/>【整備基準24】<br/>2) 専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医が3名在籍しています。</li> <li>・研修管理委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行う(2024年度実績 医療倫理 1回(複数回開催)、医療安全2回(各複数回開催)、感染対策2回(各複数回開催))し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参加し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に行う(2024年度実績3回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンス(を定期的に行う、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> </ul>                                                                                                         |
| <p>認定基準<br/>【整備基準24】<br/>3)診療経験の環境</p>       | <p>カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、総合内科、消化器、循環器、腎臓、呼吸器、神経、内分泌、代謝、感染、アレルギー、救急の分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>認定基準<br/>【整備基準24】<br/>4)学術活動の環境</p>       | <p>日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計1演題以上の学会発表(2024年度実績1演題)を予定しています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>堀井 学<br/>(内科専攻医へのメッセージ)</p> <p>三重県立志摩病院は、三重県志摩地域の中心となる急性期病院であり、東京ベイ・浦安市川医療センターを基幹施設とする内科専門研修プログラムの連携施設として内科専門研修を行い、内科専門医の育成を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師1人あたりの診療患者数は、適度かつ多種多様な疾患を経験することができます。救急や一般外来の時点から、入院中、さらに退院後フォローまで患者さんを一貫して対応可能です。さらに希望者には内視鏡、心臓カテーテル検査・治療や腹部・心エコーの技術研修も可能です。</li> <li>・各科に分化していない内科なので、出会える疾患は多岐に渡ります。各指導医の得意分野も、消化器疾患、循環器疾患、糖尿病・内分泌、神経内科と分かれており、より深い指導を受けることもできます。</li> <li>・週に1回カンファレンスを行い、全員の入院症例についてディスカッションする機会を設けています。研修病院として研修医、学生実習を受け入れており、後輩の指導にも関わることができます。また、他の診療科、医療スタッフとも相談しやすい環境にあります。</li> </ul> |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会総合内科専門医1名、日本循環器学会認定循環器専門医2名、日本心血管インターベンション治療学会認定専門医1名ほか</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>外来・入院 患者数</p>                             | <p>外来患者 14659 名・入院患者 2572 名(2024 年度)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、<u>研修手帳(疾患群項目表)</u>にある 13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                        | <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>学会認定施設</p>                                | <p>日本内科学会認定医制度教育関連病院</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

|       |                                                                                                    |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (内科系) | 日本循環器学会専門研修関連施設<br>日本消化器病学会専門医制度認定施設<br>日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設<br>日本栄養療法推進協議会 NST 稼働施設<br>日本東洋医学会研修施設 |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|

国立循環器病研究センター

|                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期臨床研修制度協力型研修指定病院です。</li> <li>・ 研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・ 非常勤医師として勤務環境が保障されています。</li> <li>・ メンタルストレスに適切に対処する部署(健康管理室担当)があります。</li> <li>・ ハラスメント委員会が人事課に整備されています。</li> <li>・ 女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・ 敷地内に院内保育所があり、利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                       |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専攻医の環境</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導医は 82 名在籍しています(下記)</li> <li>・ 内科専攻医研修委員会を設置し、施設内で研修する専攻医の研修を管理し基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。</li> <li>・ 医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催(2023 年度実績各 2 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ CPC を定期的に開催し(2023 年度実績 8 回)、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 地域参加型のカンファレンス(病病、病診連携カンファレンス 2023 年度実績 2 回)を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>3)診療経験の環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち 5 分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・ 専門研修に必要な剖検を行っています。(2023 年度 21 体)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 3 演題以上の学会発表(2023 年度実績 3 演題)をしています。また、内科系学会への学会発表にも積極的に取り組んでいます(2023 年度 383 演題)。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>指導責任者</p>                            | <p>野口暉夫</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>国立循環器病研究センターは、豊能医療圏の中心的な急性期病院であり、基幹施設と連携して内科専門研修を行い、必要に応じた可塑性のある、地域医療にも貢献できる内科専門医の育成を目指しています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                   | <p>日本内科学会指導医 77 名, 日本内科学会総合内科専門医 42 名,<br/>日本循環器学会循環器専門医 39 名, 日本糖尿病学会専門医 12 名,<br/>日本内分泌学会専門医 6 名, 日本腎臓病学会専門医 4 名,<br/>日本神経学会神経内科専門医 21 名, 日本老年医学会専門医 2 名, 日本感染症学会専門医 1 名, 日本呼吸器学会呼吸器専門医 1 名, 日本救急医学会救急科専門医 1 名</p>                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>外来・入院患者数</p>                         | <p>外来患者 164,222 名 入院患者 158,364 名(2023 年度実績)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>経験できる疾患群</p>                         | <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 5 領域、24 疾患群の症例を経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>経験できる技術・技能</p>                       | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                   | <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>学会認定施設(内科系)</p>                      | <p>日本内科学会認定医制度教育病院<br/>日本循環器学会専門医研修施設<br/>日本糖尿病学会認定教育施設<br/>日本腎臓学会研修施設<br/>日本呼吸器学会認定施設<br/>日本神経学会専門医制度認定教育施設<br/>日本超音波医学会研修施設<br/>日本透析医学会研修施設</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

|  |                              |
|--|------------------------------|
|  | 日本脳卒中学会研修施設<br>日本高血圧学会研修施設など |
|--|------------------------------|

明石医療センター

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・ 研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・ 明石医療センター常勤医師として勤務環境が保障されています。</li> <li>・ メンタルストレスに適切に対処する部署及びハラスメント委員会として労働安全衛生委員会が病院内に設置されています。</li> <li>・ 女性専攻医が安心して勤務できるように休憩室、更衣室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・ 院内の近くに院内保育所があり、利用可能です。</li> </ul> <p>(申請の時に説明・書類手続きがある為必ず事前にご連絡をお願い致します)</p>                                                                                                                                                          |
| 2) 専門研修プログラムの環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本内科学会指導医は 12 名在籍しています。</li> <li>・ 内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。</li> <li>・ 医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的開催(医療倫理 1 回、医療安全 2 回、感染対策 2 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 研修施設群合同カンファレンスを定期的に参加し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ CPC を定期的開催(年間 4 回程度)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 地域参加型のカンファレンス(感染防止対策地域カンファレンス 2 回、地域医療連携の会 1 回等)を定期的開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> </ul>                                        |
| 3) 診療経験の環境            | カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、アレルギー、膠原病、感染症および救急の分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 4) 学術活動の環境            | <p>日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 3 演題以上の学会発表を予定しています。</p> <p>レジデントのための臨床研究ワークショップを定期的に行い臨床研究について勉強する機会を設けています。</p> <p>症例報告や臨床研究の学会報告や論文作成も活発に行い、医学統計専門家や外国人講師による英文校正の指導を受けることができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 指導責任者                 | <p>中島 隆弘</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>明石医療センターは「患者さんを中心に、その期待に応える医療を行い、地域との連携を密にして、社会に貢献します」という理念のもと、明石市の中心的な急性期病院として、地域に根差した医療を行っています。専門内科(呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科)および総合内科の指導医は充足しており、サブスペシャリティの研修はもちろんのこと、総合内科医として幅広い研修が可能です。2019 年度から救急科専門医が赴任し、コモンディーズから高度急性期医療まで、さらに幅広い診療が可能となりました。外科系の診療科は、心臓血管外科、外科、呼吸器外科、整形外科、産婦人科が活発に診療しており垣根の低い連携が可能です。また症例報告や臨床研究にも力を入れており、学会発表・論文作成の指導体制も整っており、毎年研修医・専攻医の英語論文がアクセプトされています。症例の少ない疾患に関しては、それらの症例を経験できるように考慮した関連病院での研修が可能であり、3 年間で 13 領域、70 疾患群の症例を十分に経験することができます。</p> |
| 指導医数<br>(常勤医)         | <p>日本内科学会指導医 12 名、日本内科学会総合内科専門医 20 名、</p> <p>日本循環器学会専門医 7 名、日本呼吸器学会専門医 5 名、</p> <p>日本消化器病学会専門医 12 名、日本消化器内視鏡学会専門 11 名、</p> <p>日本呼吸器内視鏡学会専門医 3 名、日本肝臓学会専門医 5 名、</p> <p>日本心血管インターベンション治療学会専門医 1 名、</p> <p>日本不整脈心電学会認定不整脈専門医 1 名、日本感染症学会専門医 3 名、</p> <p>日本腎臓学会専門医 4 名、日本透析医学会専門医 2 名</p> <p>日本糖尿病学会専門医 2 名、日本内分泌代謝科専門医 2 名 ほか</p>                                                                                                                                                                                           |
| 外来・入院患者数<br>[2023 年度] | 外来患者 7,405 名(1 ヶ月平均)入院患者 6,797 名(1 カ月平均)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経験できる疾患群        | きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある13領域、70疾患群の症例を幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本内科学会認定医制度教育病院<br>日本透析医学会専門医教育関連施設<br>社団法人日本感染症学会研修施設<br>日本呼吸器学会認定施設<br>日本呼吸器内視鏡学会認定施設<br>循環器専門医研修施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修施設<br>日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設<br>IMPELLA補助循環用ポンプカテーテル実施施設<br>日本消化器病学会専門医制度認定施設<br>日本消化器内視鏡学会指導施設<br>日本消化管学会胃腸科指導施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本糖尿病学会認定教育施設<br>日本内分泌学会認定教育施設<br>日本腎臓学会研修施設<br>一般社団法人日本アレルギー学会アレルギー専門医準教育研修施設(呼吸器内科)など |

天理よろず相談所病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準24】<br/>1)専攻医の環境</p>        | <p>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。<br/>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。<br/>・内科専攻医もしくは指導診療医として勤務環境が保障されています。<br/>・メンタルストレスに適切に対処する部署(健康管理室)があります。<br/>・ハラスメント委員会が整備されています。<br/>・女性専攻医が安心して勤務できるように、更衣室、シャワー室、当直室が整備されています。<br/>・敷地内に院内保育所があり、病児保育、病後児保育を含め利用可能です。</p>                                                                |
| <p>認定基準<br/>【整備基準24】<br/>2) 専門研修プログラムの環境</p> | <p>・指導医が38名在籍しています(下記)。<br/>・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。<br/>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行う(2024年度実績 医療安全・感染対策 E-learning開催)します。<br/>・CPC を定期的に行う(2024年度実績5回)します。</p>                                                                                                                |
| <p>認定基準<br/>【整備基準24】<br/>3)診療経験の環境</p>       | <p>カリキュラムに示す内科領域 13 分野を定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>認定基準<br/>【整備基準24】<br/>4)学術活動の環境</p>       | <p>日本内科学会講演会あるいは同地方会に学会発表(2019年度実績 10演題)をしています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>羽白 高<br/>【内科専攻医へのメッセージ】<br/>来る高齢化社会では患者の1つの病気をただ治すといった治療モデルでは難しく、多疾患の同時並行的な治療を求められる。またケアからケアへの移行、患者との死生観の共有が必要と考えられる。天理よろず相談所病院は昭和51年よりレジデント制度を開始し、昭和53年よりシニアレジデントの内科ローテイトコースを行っている。また奈良県東和医療圏の急性期病院として役割を担っている。これらの経験を活かし、専門的な臓器別診療だけでなく、内科全般や更に医療周辺の社会機構にわたる幅広い知識や経験を基礎にバランスよく患者を診療する能力をもった内科医を養成したいと考えている。</p> |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会指導医 25 名、日本内科学会総合内科専門医 33 名、<br/>日本消化器病学会消化器専門医 6 名、日本循環器学会循環器専門医 10 名、<br/>日本内分泌学会専門医 5 名、日本糖尿病学会専門医 2 名、<br/>日本呼吸器学会呼吸器専門医 8 名、日本血液学会血液専門医 4 名、<br/>日本神経学会神経内科専門医 3 名、日本アレルギー学会専門医(内科)3 名、<br/>日本リウマチ学会専門医 2 名、日本感染症学会専門医 1 名ほか</p>                                                                       |
| <p>外来・入院 患者数</p>                             | <p>外来:約 1,800 名(1 日平均)<br/>入院:約 500 名(1 日平均延)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                        | <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p>                      | <p>日本内科学会認定医制度教育病院<br/>日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設<br/>日本消化器病学会専門医制度認定施設<br/>日本肝臓学会専門医制度認定施設<br/>日本呼吸器学会認定施設<br/>日本血液学会認定血液研修施設<br/>日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設<br/>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設</p>                                                                                                                                          |

|  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設<br>日本糖尿病学会認定教育施設<br>日本透析医学会専門医制度認定施設<br>日本神経学会専門医教育施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修施設<br>日本脳卒中学会認定研修教育病院<br>日本感染症学会専門医研修施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>スtentグラフト実施施設(胸部)<br>スtentグラフト実施施設(腹部)<br>日本内分泌学会内分泌学会認定教育施設<br>日本不整脈心電学会不整脈専門医研修施設<br>日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br>日本内分泌・甲状腺外科学会専門医制度認定施設 など |
|--|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境       | <p>専攻医の環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・島根県立中央病院の医師として勤務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルヘルスに適切に対処する部署(総務課職員担当)があります。</li> <li>・ハラスメント委員会が院内に整備されています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。</li> </ul> <p>専門研修プログラムの環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会(統括責任者、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会)との連携を図ります。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修委員会と臨床教育・研修支援センターを設置しています。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます</li> <li>・地域参加型のカンファレンス(内科体験学習集談会、地域救急医療合同カンファレンス、出雲市内科医会循環器研究会、出雲市内科医会呼吸器研究会、消化器病症例検討会)を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に臨床教育・研修支援センターが対応します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別連携施設の専門研修では、電話や週 1 回の島根県立中央病院での面談・カンファレンスなどにより指導医がその施設での研修指導を行います。</li> </ul> </li> </ul> |
| 2) 専門研修プログラムの環境 | <p>専門研修プログラムの環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会(統括責任者、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会)との連携を図ります。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修委員会と臨床教育・研修支援センターを設置します。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます</li> <li>・地域参加型のカンファレンス(内科体験学習集談会、地域救急医療合同カンファレンス、出雲市内科医会循環器研究会、出雲市内科医会呼吸器研究会、消化器病症例検討会)を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に臨床教育・研修支援センターが対応します。</li> <li>・特別連携施設の専門研修では、電話や週 1 回の島根県立中央病院での面談・カンファレンスなどにより指導医がその施設での研修指導を行います。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 3) 診療経験の環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも 35 以上の疾患群)について研修できます。</li> <li>・専門研修に必要な剖検を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 4) 学術活動の環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室、インターネットなどを整備しています。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的に開催しています。</li> <li>・治験管理室を設置し、定期的に受託研究審査会を開催しています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                       | ・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計3演題以上の学会発表をしています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 指導責任者                 | 小田強(プログラム責任者 循環器科 副院長)、<br>井本宏治(島根県立中央病院 循環器科 診療科部長)、藤代浩史(島根県立中央病院 消化器科 診療科部長)、他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 指導医数<br>(常勤医)         | J-osler 指導医一覧に登録されている指導医 22 名 (R7.4.現在)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 外来・入院患者数<br>[2023 年度] | 外来患者 4,462 名(1ヶ月平均)内科のみ 12,937 名 全体<br>入院患者 520 名(1ヶ月平均実数)内科のみ 1,468 名 全体                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 経験できる疾患群              | 1) 専門知識【整備基準 4】[「内科研修カリキュラム項目表」参照]<br>専門知識の範囲(分野)は、「総合内科」、「消化器」、「循環器」、「内分泌」、「代謝」、「腎臓」、「呼吸器」、<br>「血液」、「神経」、「アレルギー」、「膠原病および類縁疾患」、「感染症」、ならびに「救急」で構成されます。<br>「内科研修カリキュラム項目表」に記載されている、これらの分野における「解剖と機能」、「病態生理」、「身体診察」、<br>「専門的検査」、「治療」、「疾患」などを目標(到達レベル)とします。<br>2) 専門技能【整備基準 5】[「技術・技能評価手帳」参照]<br>内科領域の「技能」は、幅広い疾患を網羅した知識と経験とに裏付けをされた、医療面接、身体診察、検査結果の解釈、<br>ならびに科学的根拠に基づいた幅の広い診断・治療方針決定を指します。さらに全人的に患者・家族と関わってゆくことや<br>他の Subspecialty 専門医へのコンサルテーション能力が加わります。これらは、特定の手技の修得や経験数によって表現<br>することはできません。 |
| 経験できる技術・技能            | 島根県立中央病院内科施設群専門研修では、症例をある時点で経験するというだけでなく、主担当医として、入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで可能な範囲で経時的に、<br>診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践し、個々の患者に最適な医療を提供する計画を立て実行する能力<br>の修得を目標としています。<br>島根県立中央病院内科施設群専門研修では、主担当医として診療・経験する患者を通じて、<br>高次病院や地域病院との病病連携や診療所(在宅訪問診療施設などを含む)との病診連携<br>も経験します。                                                                                                                                                                                                     |
| 経験できる地域医療・診療連携        | 島根県立中央病院内科施設群専門研修では、主担当医として診療・経験する患者を通じて、<br>高次病院や地域病院との<br>病病連携や診療所(在宅訪問診療施設などを含む)との病診連携も経験します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 学会認定施設<br>(内科系)       | 日本内科学会認定医制度教育施設(教育病院)<br>日本消化器病学会専門医制度認定施設<br>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br>日本呼吸器学会認定施設<br>日本血液学会認定研修施設<br>日本糖尿病学会専門医制度認定教育施設(内分泌代謝科)<br>日本腎臓学会認定医制度研修施設<br>日本肝臓学会認定施設<br>日本アレルギー学会認定教育施設<br>日本感染症学会認定研修施設<br>日本神経学会専門医制度教育施設<br>日本リウマチ学会認定教育施設<br>日本消化器内視鏡学会認定専門医制度指導施設<br>日本消化管学会胃腸科指導施設                                                                                                                                                                                                             |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・倉敷中央病院専攻医として勤務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(人事部)があります。</li> <li>・ハラスメント委員会が当院内に整備されています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・敷地内に院内保育所があり、病児保育、病後児保育を含め利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 2) 専門研修プログラムの環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医が 77 名在籍しています(専攻医マニュアルに明記)。</li> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会を設置して、基幹施設、連携施設に設置される研修委員会との連携を図ります。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する研修委員会と臨床研修センターを設置します。</li> <li>・医療倫理、医療安全、感染対策講習会を定期的に開催(年間開催回数: 医療倫理 2 回、医療安全 2 回、感染対策 2 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に開催(年間実績 10 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンスを定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に臨床研修センターが対応します。</li> <li>・指導医が在籍していない特別連携施設での専門研修では、基幹施設でのカンファレンスなどにより研修指導を行います。</li> </ul> |
| 3) 診療経験の環境      | カリキュラムに示す内科領域 13 分野の、総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病、感染症および救急の分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 4) 学術活動の環境      | 日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表(2023 年度実績 5 演題)をしています。又、内科系学会への学会発表にも積極的に取り組んでおります。(2023 年度実績 240 演題)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 指導責任者           | <p>石田 直</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>倉敷中央病院は、岡山県南西部の医療の中核として機能しており、地域の救急医療を支えながら、又高機能な医療も同時に任っている急性期基幹病院です。</p> <p>内科の分野でも入院患者の 25%は救命救急センターからの入院であり、又内科領域 13 分野には多くの専門医が high volume center として高度の医療を行っています。</p> <p>内科専門医制度の発足にあたり、連携病院並びに特別連携病院両者との連携による、地域密着型医療研修を通して人材の育成を行いつつ、地域医療の充実に向けての様々な活動を行います。</p> <p>初診を含む外来診療を通して病院での総合内科診療の実践を行います。又内科系救急医療の修練を行うと同時に、総合内科的視点をもったサブスペシャリストの育成が大切と考えカリキュラムの編成を行います。加えて、医療安全を重視し、患者本位の医療サービスを提供しながら、医学の進歩に貢献できる医師を育成することを目的とします。</p>                                                                                                                                                                                            |
| 指導医数<br>(常勤医)   | 日本内科学会指導医 76 名、日本内科学会総合内科専門医 52 名、日本消化器病学会消化器専門医 18 名、日本循環器学会循環器専門医 23 名、日本内分泌学会専門医 4 名、日本糖尿病学会専門医 10 名、日本腎臓病学会専門医 7 名、日本呼吸器学会呼吸器専門医 8 名、日本血液学会血液専門医 10 名、日本神経学会神経内科専門医 8 名、日本アレルギー学会専門医(内科)2 名、日本リウマチ学会専門医 4 名、                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | 日本感染症学会専門医 3 名、日本救急医学会専門医 2 名、<br>日本肝臓学会専門医 7 名、日本老年医学会専門医 3 名、<br>臨床腫瘍学会 4 名、消化器内視鏡学会専門医 20 名ほか                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 外来・入院患者数        | 外来患者延べ数 270,734 人/年(2023 年度実績)<br>入院患者数 13,126 人/年(2023 年度実績)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 経験できる疾患群        | きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本内科学会認定医制度教育病院<br>日本消化器病学会専門医制度認定施設<br>日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設<br>日本肝臓学会肝臓専門医制度認定施設<br>日本胆道学会認定指導医制度指導施設<br>日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設<br>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br>日本心血管カテーテル治療学会教育認定施設<br>日本神経学会専門医制度教育施設<br>日本呼吸器学会専門医制度認定施設<br>日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医制度認定施設<br>日本感染症学会認定研修施設<br>日本アレルギー学会準教育施設<br>日本糖尿病学会専門医認定制度教育施設<br>日本老年医学会認定施設<br>日本腎臓病学会腎臓専門医制度研修施設<br>日本透析医学会専門医制度認定施設<br>日本血液学会認定血液研修施設<br>日本脳卒中学会認定研修教育病院<br>日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設<br>日本甲状腺学会認定専門医施設<br>日本リウマチ学会認定教育施設<br>日本臨床腫瘍学会専門医制度認定研修施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>など |

宇部中央病院

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・図書室、インターネット環境(有線 LAN,Wi-Fi)があります。</li> <li>・文献、症例検索のデータベース等の利用環境があります。</li> <li>・健康管理、相談窓口に健康管理室を設置しており、産業医および職員が常駐しています。また、メンタルストレスに対する相談窓口を設置しています。</li> <li>・女性医師のために更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室を整備しています。</li> <li>・敷地内に 24 時間対応院内託児所、隣接する施設に病児保育所を設置しています。</li> </ul> |
| 2) 専門研修プログラムの環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門研修プログラム管理委員会において、専攻医ごとの研修手帳及び最良作品型ポートフォリオの内容確認と、今後の専門研修の進め方について検討します。</li> <li>・専門研修プログラム事務局を置き、定期的な会議を開催し、プログラムの日常的な実施・運営・改善を行います。</li> <li>・専門研修中には 1 回以上の筆頭演者として演台発表と必須とします。そのために、プログラム 1 年目にリサーチに関する基本知識の教授を指導医陣より行います。</li> <li>・医療倫理、医療安全、院内感染対策等の講習会を定期的に開催しています。</li> </ul>          |
| 4) 学術活動の環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室、文献データベースを整備しています。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的に開催しています。</li> <li>・指導医のもと、各内科系学会での学会発表に取り組める環境があります。</li> </ul>                                                                                                                                                                          |
| 指導責任者           | <p>井本 忍</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>当院の内科専門研修は総合内科が中心となりますが、プライマリケア、コモンディージーズ、高齢者医療を入院、外来(日当直)、在宅で対応できるように指導を行います。また学生や初期研修医への教育を分担してもらうことで専門医資格だけでなく指導的立場や能力の習得を目指します。より厚みのある研修ができると思います。</p>                                                                                                                                        |
| 指導医数<br>(常勤医)   | <p>日本内科学会指導医 2 名、日本消化器病学会指導医 2 名<br/>         日本消化器内視鏡学会指導医 1 名、日本肝臓学会指導医 2 名<br/>         日本糖尿病学会専門医 1 名、日本血液学会専門医 1 名、<br/>         日本内科学会専門医 2 名、日本消化器病学会専門医 4 名、<br/>         日本消化器内視鏡学会専門医 2 名、日本循環器学会専門医 4 名、<br/>         日本総合内科学会専門医 3 名、日本肝臓学会専門医 3 名、 ほか</p>                                                                 |
| 外来・入院患者数        | <p>外来患者 2,833 名(内科系診療科のみ 1 ヶ月平均 延べ患者数)<br/>         入院患者 2,507 名(内科系診療科のみ 1 ヶ月平均 延べ患者数)</p>                                                                                                                                                                                                                                            |
| 経験できる疾患群        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修手帳にある症例を幅広く経験することができます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 経験できる技術・技能      | <p>研修手帳に示されている「研修目標と研修の場」を活用し、専門医に必要な診察及び検査・治療手技を幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 経験できる地域医療・診療連携  | <p>地域特有の健康課題に多職種と連携しながら取り組むことができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 学会認定施設<br>(内科系) | <p>日本内科学会認定医制度教育関連病院<br/>         日本循環器学会専門医研修施設<br/>         日本神経学会専門医制度教育関連施設<br/>         日本消化器病学会認定施設<br/>         日本消化器内視鏡学会指導施設<br/>         日本肝臓学会認定施設<br/>         日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院<br/>         日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設</p>                                                                                                   |

総合病院山口赤十字病院

|           |                                                                                                             |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> </ul> |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤医師(正規職員)としての待遇が保障されています。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署およびハラスメント窓口として臨床心理士、産業 医、ハラスメント相談員等の対応があります。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、更衣室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。また、希望すれば育児短時間勤務を取得可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 2) 専門研修プログラムの環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・内科指導医が 10 名在籍しており、その他指導医もいます。(下記)</li> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会にて、基幹施設・連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。</li> <li>・基幹施設内で研修する専攻医の研修を管理するため、内科専門研修委員会を設置し、年 6 回程度(隔月)委員会を開催し、円滑な内科専門研修の実施を図ります。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催(2024 年実績 医療倫理 1 回、医療安全 2 回、感染対策 2 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に開催(2024 年実績 1 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する専攻医に JMECC 受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンスを定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査については、教育研修推進室が対応します。</li> </ul> |
| 3) 診療経験の環境            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、神経、膠原病、感染症および救急の分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・専門研修に必要な剖検(2024 年度実績 1 体)を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 4) 学術活動の環境            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書研修室を整備しています。</li> <li>・倫理委員会を設置し、不定期的に開催しています。</li> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 題以上の学会発表を行っています。</li> <li>・専攻医が国内・国外の学会に参加・発表する機会があります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 指導責任者                 | <p>末兼 浩史</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>内科スタッフはチームワーク良く初期診療から専門領域まで皆協力分担して診療しており、少数精鋭で密度の濃い研修が可能です。分野間の垣根が低く、common disease から希少な難病・特定疾患まで豊富な症例の治療が専門医の指導下で経験可能で、的確な判断が要求される救急の場では一人で悩むことなくマンツーマンで上級医に相談し迅速な対応が可能です。</p> <p>総合病院として、すべての専門医師・医療スタッフの力を結集して、一人ひとりの患者さんの命に向き合い、他職種の医療スタッフにも恵まれ、職種を超えた NST, ICT などのチーム医療も盛んです。</p>                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 指導医数<br>(常勤医)         | <p>日本内科学会指導医 9 名、日本内科学会総合内科専門医 10 名、<br/>日本消化器病学会消化器病専門医 4 名、日本循環器学会循環器専門医 1 名、<br/>日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 4 名、<br/>日本糖尿病学会糖尿病専門医 2 名、日本呼吸器学会呼吸器専門医 1 名、<br/>日本腎臓学会腎臓専門医 2 名、日本リウマチ学会リウマチ専門医 1 名、<br/>日本神経学会神経内科専門医 1 名 ほか</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 外来・入院患者数<br>[2023 年度] | <p>内科系外来患者 214.8 名(1 日平均)<br/>内科系入院患者 73.9 名(1 日平均)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 経験できる疾患群              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域, 70 疾患群のうち、領域においては、すべて幅広く経験することができます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | ・ 疾患群については、一部を除き多数の通院・入院患者に発生した内科疾患について、幅広く経験することが可能です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 経験できる技術・技能      | <p>1) 内科の受け持ちは臓器別ではなく内科全般の疾患を担当しますが、各診療科の専門医がいるため、適宜相談しながら主治医として診療可能です。そのため、技術・技能評価手帳に示された内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p> <p>2) 高齢化のすすむ圏域をカバーしていることから、患者の約 6 割は高齢者であるので、患者の急変に対応する機会は往々に発生します。そうした事例については終末期ケアも含めた経験を積むことができます。</p>                                                                                                                                  |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 訪問看護ステーションを有し、小児から末期がん患者の訪問緩和ケアまで、広範な地域医療・診療連携を経験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 学会認定施設<br>(内科系) | <p>日本内科学会認定医制度教育関連病院<br/> 日本専門医機構 内科領域基幹施設<br/> 日本消化器病学会認定施設<br/> 日本専門医機構 消化器内科領域基幹施設<br/> 日本消化器内視鏡学会指導施設<br/> 日本呼吸器学会認定施設<br/> 日本リウマチ学会教育施設<br/> 日本専門医機構 膠原病・リウマチ内科領域基幹施設<br/> 日本糖尿病学会教育関連施設 I<br/> 日本腎臓学会研修施設<br/> 日本透析医学会認定施設<br/> 日本神経学会専門医制度准教育施設<br/> 日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育施設<br/> 日本認知症学会専門医制度教育施設<br/> 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br/> 日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設<br/> 日本緩和医療学会認定研修施設 など</p> |

社会医療法人財団大樹会 総合病院回生病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研修指定病院(基幹施設)です。</li> <li>・施設内には、インターネット環境があり、図書室も 24 時間利用可能です。</li> <li>・専攻医として勤務環境は保障されています。</li> <li>・メンタルストレスに対して、健康管理室が窓口となり、各相談に対応しています。ハラスメントについても窓口を設けています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、当直室、仮眠室、休憩室、更衣室、シャワー室を整備しています。</li> <li>・敷地内に院内保育所を整備しており病児保育も可能となっています。</li> </ul>                                                                      |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は 3 名在籍しています。</li> <li>・当院で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設定されるプログラム管理委員会と連携を図っています。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行っており、専攻医の受講を義務付け、そのために時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスが開催される折には、専攻医の受講を義務付け、そのために時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に行い(2024 年度実績 2 回)、専攻医に受講を義務付け、そのために時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンスが開催される折には、千九おいの受講を義務付け、そのために時間的余裕を与えます。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち 7 分野において定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会での学会発表を積極的に行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>杵川文彦</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>回生病院は、香川県中讃医療圏の基幹病院であり、内科領域は救急から腫瘍及び高齢者疾患まで種々の急性期疾患を経験できます。全人的・患者中心かつ標準的・先進的内科的医療の実践を志す内科専門医志望者を丁寧に育てていきたいと考えています。</p>                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会指導医 3 名、日本内科学会総合内科専門医 2 名、<br/>日本消化器病学会消化器専門医 2 名、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 2 名、<br/>日本肝臓学会肝臓専門医 1 名、日本糖尿病学会糖尿病専門医 2 名、<br/>日本血液学会血液専門医 1 名</p>                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来患者 573 名(1ヶ月平均) 入院患者 82 名(1ヶ月平均)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>13 領域のうち 11 領域において経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>地域に根差す第一線の病院であり、common disease の経験はもちろん、超高齢化社会を反映し複数の病態をもった患者の診療経験もできます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                        | <p>高次病院や地域病院との病病連携や診療所との病診連携が経験できます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p>                      | <p>日本内科学会 教育関連病院<br/>日本消化器内視鏡学会 指導連携施設<br/>日本消化器病学会 認定施設<br/>日本糖尿病学会 認定教育施設<br/>日本脳卒中学会 認定一次脳卒中センター<br/>日本臨床栄養代謝学会 NST 稼働施設<br/>日本救急医学会 救急科領域専門研修プログラム基幹施設</p>                                                                                                                                                                                                                                     |

松山赤十字病院

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境がある。</li> <li>・松山赤十字病院常勤医師として勤務環境が保障されている。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署がある。</li> <li>・ハラスメント委員会が整備されている。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されている。</li> <li>・敷地内に院内保育所があり、利用可能。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                  |
| 2) 専門研修プログラムの環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は 28 名在籍している。</li> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図る。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修委員会を設置し教育研修推進室と連携して研修の質を担保する。</li> </ul> <p>以下のカンファレンス、講習会等を定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 医療倫理・医療安全・感染対策等の講習会</li> <li>② 研修施設群合同カンファレンス</li> <li>③ CPC</li> <li>④ 地域参加型のカンファレンス</li> <li>⑤ JMECC</li> </ol> <p>日本専門医機構による施設実地調査には教育研修推進室が対応する。<br/>特別連携施設研修では、電話や面談、カンファレンスなどにより指導医がその施設での研修指導を行う。</p> |
| 3) 診療経験の環境            | <p>カリキュラムに示す内科領域 13 分野の少なくとも 12 分野で常時専門研修が可能な症例数を診療している。</p> <p>70 疾患群のうち少なくとも 58 以上の疾患群について研修できる。</p> <p>専門研修に必要な剖検数を確保している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 4) 学術活動の環境            | <p>臨床研究に必要な図書室、写真室などを整備している。</p> <p>医療倫理委員会を設置し、定期的に行っている。</p> <p>治験管理センターを設置し、定期的に行っている。</p> <p>日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間計 3 演題以上の発表をしている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 指導責任者                 | <p>藤崎智明</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>松山赤十字病院は、松山医療圏の中心的地域医療支援病院であり、当プログラムでの内科専門研修で、将来にわたり愛媛の地域医療を支える内科専門医育成を目指します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 指導医数<br>(常勤医)         | <p>日本内科学会総合内科専門医 31 名、日本内科学会指導医 28 名、<br/>日本消化器病学会消化器専門医 10 名、日本循環器学会循環器専門医 6 名、<br/>日本糖尿病学会専門医 3 名、日本腎臓病学会専門医 6 名、<br/>日本呼吸器学会呼吸器専門医 5 名、日本血液学会血液専門医 6 名、<br/>日本神経学会神経内科専門医 1 名、日本リウマチ学会専門医 2 名、<br/>日本感染症学会専門医 3 名、日本老年医学会専門医 2 名<br/>日本肝臓学会専門医 6 名<br/>日本高血圧学会専門医 1 名、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医 1 名<br/>日本プライマリ・ケア連合学会認定プライマリ・ケア認定医・指導医 1 名<br/>日本救急医学会救急科専門医 2 名、日本消化器内視鏡学会専門医 9 名<br/>日本脳卒中学会認定脳卒中専門医 1 名、日本認知症学会認定認知症専門医 1 名、ほか</p>                                                                                     |
| 外来・入院患者数<br>[2023 年度] | <p>外来患者数 150,097 人/年 入院患者数 7,304 人/年(令和 6 年度実績)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 経験できる疾患群              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本内科学会認定医制度教育病院<br>日本老年医学会認定施設<br>日本消化器病学会専門医制度認定施設<br>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br>日本呼吸器学会専門医制度認定施設<br>日本血液学会認定血液研修施設<br>日本腎臓学会研修施設<br>日本リウマチ学会教育施設<br>日本透析医学会専門医制度認定施設<br>日本神経学会専門医制度准教育施設<br>日本救急医学会専門研修連携施設<br>日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設<br>日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br>日本消化器内視鏡学会指導施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本糖尿病学会認定教育施設<br>日本高血圧学会専門医認定施設<br>日本感染症学会認定研修施設<br>日本肝臓学会認定施設<br>日本緩和医療学会認定研修施設<br>など |

愛媛県立中央病院

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>※県非常勤医師として労務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレス(ハラスメント含む)に適切に対処する部署(総務医事課担当)があります。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                   |
| 2) 専門研修プログラムの環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は 35 名在籍しています。</li> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会(統括責任者(副院長)、プログラム管理者(主任部長)(ともに総合内科専門医かつ指導医)にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修委員会を設置しています。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会の受講を、専攻医に義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に開催(2024 年度 9 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講を義務付け、年に 1 回院内で開催しています。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に臨床研修委員会が対応します。</li> </ul> |
| 3) 診療経験の環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野(少なくとも 7 分野以上)で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています(上記)。</li> <li>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも 35 以上の疾患群)について研修できます(上記)。</li> <li>・専門研修に必要な剖検(2024 年度実績 13 体、2022 年度実績 10 体)を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                     |
| 4) 学術活動の環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室、写真室などを整備しています。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的に開催しています。</li> <li>・治験審査委員会を設置し、定期的に受託研究審査会を開催(2024 年度実績 9 回)しています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 指導責任者           | <p>副院長(消化器内科) 二宮 朋之</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>愛媛県立中央病院は、愛媛県松山医療圏の中心的な急性期病院であり、高度救命救急センターを併設しています。コモンディージーズからまれな疾患まで、また救急医療からがんの診断・治療までと、幅広い患者を経験できます。さらに地域の連携施設・特別連携施設とで内科専門研修を行い、必要に応じた可塑性のある、地域医療にも貢献できる内科専門医を目指します。</p>                                                                                                                                                                                                                                     |
| 指導医数<br>(常勤医)   | <p>日本消化器病学会消化器専門医数 13、日本循環器学会循環器専門医数 8、日本内分泌学会専門医数 2、日本糖尿病学会専門医数 5、日本腎臓病学会専門医数 3、日本呼吸器学会呼吸器専門医数 7、日本血液学会血液専門医数 8、日本神経学会神経内科専門医数 5、日本アレルギー学会専門医(内科)数 2、日本リウマチ学会専門医数 0、日本肝臓学会専門医 8、臨床腫瘍学会専門医 2、消化器内視鏡学会専門医 13、日本感染症学会専門医数 2、日本老年学会専門医数 3 ほか</p>                                                                                                                                                                                                                     |
| 外来・入院患者数        | 外来患者 25,754 名(1ヶ月平均) 入院患者 15,217 名(1ヶ月平均)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 経験できる疾患群        | きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p> | <p>日本内科学会認定医制度教育病院<br/>日本老年医学会認定施設<br/>日本消化器病学会専門医制度認定施設<br/>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br/>日本呼吸器学会専門医認定施設<br/>日本血液学会認定血液研修施設<br/>日本肝臓学会認定施設<br/>日本胆道学会指導施設<br/>日本腎臓学会研修施設<br/>日本透析医学会認定施設<br/>日本神経学会専門医制度教育施設<br/>日本アレルギー学会認定教育施設<br/>日本救急医学会救急科専門医指定施設<br/>日本呼吸器内視鏡学会認定施設<br/>日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br/>日本消化器内視鏡学会指導施設<br/>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br/>日本糖尿病学会認定教育施設<br/>日本高血圧学会専門医認定施設<br/>日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設<br/>日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設<br/>日本消化管学会胃腸科指導施設<br/>日本感染症学会連携研修施設<br/>非血縁者間骨髄採取認定施設<br/>非血縁者間骨髄移植認定施設<br/>非血縁者間末梢血幹細胞採取(移植)認定施設<br/>日本輸血・細胞治療学会認定医制度指定施設<br/>日本心血管インターベンション治療学会研修施設<br/>日本不整脈心電学会専門医研修施設<br/>日本病院総合診療医学会認定施設<br/>日本プライマリ・ケア連合学会認定 総合診療医・家庭医後期研修プログラム認定施設<br/>日本東洋医学会研修施設<br/>ステントグラフト実施認定施設など</p> |
|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

近森病院

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度の基幹型研修指定病院である。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境がある。</li> <li>・適切な労務環境が保障されている。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する環境（健康管理センター・メンタルヘルスケアサポート連絡会）が整っている。</li> <li>・ハラスメント委員会が整備されている。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるような休憩室や更衣室等が配慮されている。</li> <li>・敷地内に院内保育所があり、24 時間 365 日利用可能である。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 2) 専門研修プログラムの環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医が 30 名在籍している。</li> <li>・内科研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図る体制が整っている。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えている。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えている。</li> <li>・CPC を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えている。</li> <li>・地域参加型のカンファレンスを定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 3) 診療経験の環境      | カリキュラムに示す内科領域 13 分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 4) 学術活動の環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表をしている。（2024 年実績 5 演題）</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 指導責任者           | <p>指導責任者：細田勇人</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>当院内科は約 30 年にわたり大内科制をとっており、救急病院としての救急医療の中核を担っている。そのため、高知県全域から様々な疾患を持った救急患者・重症患者が当院に紹介され救急搬送されており、内科医としての Generality が求められるため、専門性に偏ることなくあらゆる内科疾患の主治医として入院患者に対応している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 指導医数<br>(常勤医)   | <p>30 名</p> <p>日本内科学会総合内科専門医 28 名</p> <p>日本消化器病学会指導医 6 名/専門医 13 名</p> <p>日本消化器内視鏡学会指導医 5 名/専門医 10 名</p> <p>日本循環器学会専門医 18 名</p> <p>日本心血管インターベンション治療学会専門医 5 名/認定医 9 名</p> <p>日本心臓病学会心臓病上級臨床医FJCC 2 名</p> <p>日本動脈硬化学会指導医 2 名</p> <p>日本不整脈心電学会不整脈専門医 3 名</p> <p>日本高血圧学会指導医 1 名</p> <p>日本呼吸器学会指導医 2 名/専門医 2 名</p> <p>日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医 1 名/専門医 1 名</p> <p>日本血液学会指導医 2 名/専門医 2 名</p> <p>日本内分泌学会指導医 1 名/専門医 2 名</p> <p>日本糖尿病学会指導医 1 名/専門医 3 名</p> <p>日本腎臓学会指導医 1 名/専門医 2 名</p> <p>日本透析医学会指導医 1 名/専門医 2 名</p> <p>日本肝臓学会指導医 2 名/専門医 2 名</p> <p>日本感染症学会指導医 1 名/専門医 1 名</p> <p>日本老年医学会指導医 4 名/専門医 7 名</p> <p>日本神経学会指導医 4 名/専門医 5 名</p> <p>日本脳卒中学会指導医 5 名/専門医 6 名</p> <p>日本リウマチ学会指導医 2 名/専門医 3 名</p> <p>日本救急医学会救急科専門医 7 名</p> <p>日本化学療法学会抗がん化学療法指導医 1 名</p> |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | JMECC ディレクター2名/インストラクター5名 ほか                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 外来・入院患者数        | 外来患者 10,612名(2024年度) 入院患者 11,730名(2024年度)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 経験できる疾患群        | きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある13領域、70疾患群の症例を経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 救命救急センター<br>地域医療支援病院<br>災害拠点病院<br>基幹型・協力型臨床研修病院<br>卒後臨床研修評価機構認定<br>日本医療機能評価機構 機能種別版評価項目 3rdG:Ver.1.1/付加機能(救急医療機能 Ver.2.0)<br>日本内科学会 教育病院<br>日本循環器学会 循環器専門医研修施設<br>日本神経学会 教育施設<br>日本脳卒中学会一次脳卒中センターコア<br>日本脳卒中学会 研修教育施設<br>日本老年医学会 認定施設<br>日本消化器内視鏡学会 指導施設<br>日本消化器病学会 認定施設<br>日本消化管学会 胃腸科指導施設<br>日本呼吸器学会 認定施設<br>日本呼吸器内視鏡学会 認定施設<br>日本高血圧学会 研修施設Ⅰ<br>日本動脈硬化学会 教育病院<br>超音波医学会 超音波専門医研修施設<br>日本心エコー図学会 認定心エコー図専門医制度研修関連施設<br>日本不整脈心電学会 不整脈専門医研修施設<br>MRI対応植込み型デバイス患者のMRI検査の施設基準<br>IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル実施施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修施設<br>日本循環器学会左心耳閉鎖システム実施施設<br>日本循環器学会経皮的僧帽弁接合不全修復システム実施施設<br>経カテーテル的大動脈弁置換術 専門施設<br>日本心血管インターベンション治療学会 潜因性脳梗塞に対する卵円孔開存閉鎖術実施施設<br>日本糖尿病学会認定教育施設Ⅰ<br>日本リウマチ学会教育施設<br>日本肝臓学会 関連施設<br>日本腎臓学会 認定教育施設<br>日本透析医学会 教育関連施設<br>日本感染症学会 研修施設 など |

福岡市民病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・地方独立行政法人福岡市立病院機構有期職員として労務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(総務課担当)があります。</li> <li>・セクシュアル・ハラスメントの対策等に関する委員会が機構本部に整備されています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・同一機構である福岡市立こども病院敷地内に院内保育所があり、利用可能です。</li> </ul>                                                                                                     |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医が 11 名在籍しています(下記)。</li> <li>・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。</li> <li>・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催。専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・本院での CPC, または九州大学形態機能病理学教室で実施される病理解剖の参加を専攻医に義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンスを定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> </ul>                                                   |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、神経、感染症および救急の分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表を予定しています</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>小柳 年正</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>福岡市民病院は、高度救急・高度専門医療を提供する地域の中核病院であり、内科専門研修プログラムの連携施設として内科専門研修を行い、内科専門医の育成を行います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会指導医 5 名、日本内科学会総合内科専門医 14 名、<br/>日本循環器学会専門医 7 名、日本消化器病学会指導医 2 名、<br/>日本消化器病学会専門医 5 名、日本肝臓学会指導医 1 名、日本肝臓学会専門医 3 名、<br/>日本消化管学会胃腸科指導医 1 名、日本消化管学会胃腸科専門医 1 名、<br/>日本消化器内視鏡学会指導医 1 名、日本消化器内視鏡学会専門医 2 名、<br/>日本心血管インターベンション治療学会専門医 1 名、日本神経学会指導医 3 名、<br/>日本神経学会専門医 3 名、日本腎臓学会指導医 1 名、日本腎臓学会専門医 2 名、<br/>日本糖尿病学会指導医 1 名、日本糖尿病学会専門医 2 名、日本透析医学会専門医 2 名、<br/>日本内分泌学会指導医 1 名、日本内分泌学会専門医 1 名、<br/>日本リウマチ学会指導医 2 名、日本リウマチ学会専門医 2 名、<br/>日本脳卒中学会指導医 2 名、日本脳卒中学会専門医 3 名</p> |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来患者 4,428 名(1ヶ月平均延数) 入院患者 5,369 名(1ヶ月平均延数)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 8 領域の症例を幅広く経験することができます</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                        | <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p>                      | <p>日本内科学会認定医制度教育関連病院<br/>日本消化器病学会専門医制度認定施設<br/>日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設<br/>日本消化管学会胃腸科指導施設</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

|  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>           日本肝臓学会認定施設<br/>           日本循環器学会認定循環器専門医研修施設(新制度)<br/>           日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設(旧制度)<br/>           日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設<br/>           日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設<br/>           日本糖尿病学会認定教育施設<br/>           日本神経学会専門医制度教育関連施設<br/>           日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院<br/>           日本脳神経血管内治療学会専門医制度研修施設<br/>           日本救急医学会救急科専門医指定施設<br/>           日本病態栄養学会認定栄養管理・NST実施施設<br/>           日本感染症学会認定研修施設<br/>           日本がん治療認定医機構認定研修施設<br/>           日本透析医学会専門医制度教育関連施設<br/>           日本腎臓学会研修施設<br/>           特定行為研修指定研修機関<br/>           日本臨床衛生検査技師会・日本臨床検査標準協議会 精度保証施設<br/>           日本脳卒中学会一次脳卒中センター<br/>           日本脳卒中学会一次脳卒中センター(PSC)コア施設         </p> |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・浜の町病院非常勤医師として勤務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(総務課職員担当)があります。</li> <li>・ハラスメント委員会が浜の町病院に整備されています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は 11 名在籍しています(下記)。</li> <li>・臨床研修センター(教育部内に設置、担当:統括責任者・診療部長)が内科専門研修プログラムの管理を行い、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を臨床研修センターが統括管理します。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的開催(2024 年度実績 6 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的開催(2024 年度実績3回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンス(福岡地域救急医療合同カンファレンス、福岡市内科医会、福岡市中央区内科医会、福岡市中央区消化器病症状例検討会など)を定期的開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講(2024 年度実績 2 回:受講者 12 名)を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に教育部が対応します。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野(少なくとも 7 分野以上)で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています(上記)。</li> <li>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも 35 以上の疾患群)について研修できます(上記)。</li> <li>・専門研修に必要な剖検(2022 年度実績 6 件、2023 年度 5 件、2024 年度 1 件)を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室、写真室などを整備しています。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的開催(2024 年度実績 2 回)しています。</li> <li>・治験管理室を設置し、定期的に治験審査委員会を開催(2024 年度実績 10 回)しています。</li> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に学会発表(2024 年度実績 8 演題)をしています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>衛藤徹也</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>浜の町病院は、福岡県福岡・糸島医療圏の中心となる急性期病院であり、福岡・糸島医療圏・近隣医療圏にある連携施設とで内科専門研修を行い、必要に応じた可塑性のある、地域医療にも貢献できる内科専門医を目指します。</p> <p>主担当医として、入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで経時的に、診断・治療の流れを通じて、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医になります。</p> <p>内科ほぼすべての分野において、専門学会の指導医あるいは専門医の資格を持つ部長が指導に当たり、幅広い研修が可能です。シミュレーションラボセンターを併設しているため、高度なシミュレーターを使用して技術指導を受けることが可能です。急患や総合診療症例も多く、急性疾患から慢性疾患まで幅広く研修することが可能です。</p>                                                                                                                                                                                                   |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会指導医 11 名、日本内科学会総合内科専門医 25 名、<br/>日本消化器病学会消化器専門医 11 名、日本肝臓学会専門医 3 名、<br/>日本循環器学会循環器専門医 6 名、日本感染症学会専門医 2 名、<br/>日本糖尿病学会専門医 2 名、日本腎臓学会専門医 3 名、<br/>日本呼吸器学会呼吸器専門医 3 名、日本血液学会血液専門医 4 名、<br/>日本神経学会神経内科専門医 2 名、日本リウマチ学会専門医 4 名、</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | 日本救急医学会救急科専門医 1 名, ほか                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 外来・入院患者数        | 外来患者 6,470 名(1ヶ月平均) 入院患者 509 名(1ヶ月平均)                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 経験できる疾患群        | 研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域, 70 疾患群の症例を幅広く経験することができます.                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を, 実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます.                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を, 実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます.                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本内科学会内科専門研修基幹病院<br>日本消化器病学会認定施設<br>日本肝臓学会認定施設<br>日本循環器学会専門医制度専門医研修施設認定<br>日本呼吸器学会認定施設<br>日本血液学会認定血液研修施設<br>日本透析医学会認定医制度認定施設認定<br>日本リウマチ学会教育施設<br>日本透析医学会専門医制度認定施設<br>日本神経学会専門医制度教育関連施設認定<br>日本脳卒中学会研修教育病院認定施設<br>日本糖尿病学会認定教育施設<br>日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設<br>日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本消化器内視鏡学会認定医制度指導施設認定<br>日本病院総合診療医学会認定施設<br>など |

米の山病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する委員会、「こころの相談室」を設置、および臨床心理士・公認心理師を配置しています。</li> <li>・ハラスメント委員会を設置しています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・敷地近くに託児所、保育園があります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は 5 名在籍しています。</li> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会(統括責任者、内科研修委員長、ともに総合内科専門医かつ指導医)にて、基幹施設、連携施設に設置されている内科研修委員会との連携を図ります。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修委員会と臨床研修センターが設置されています。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行う(2024 年度実績 医療倫理 1 回、医療安全 2 回・感染対策 2 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的保障を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的保障を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に行う(2023 年度実績 2 回、2024 年度実績 1 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的保障を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンス(有明地区合同カンファレンス年 1 回開催)を定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的保障を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講(2015 年度より院内にて年 1 回開催)を義務付け、そのための時間的保障を与えます。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に臨床研修センターが対応します。</li> <li>・特別連携施設(みさき病院や中友診療所や神野診療所)の専門研修では、米の山病院での合同カンファレンスや、テレビでの会議システム運用も視野に入れ、指導医がその施設での研修指導を行います。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野(少なくとも 7 分野以上)で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群について研修できます。</li> <li>・専門研修に必要な剖検(2023 年度 2 体、2024 年度 0 体)を行っています。</li> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野(少なくとも 7 分野以上)で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群について研修できます。</li> <li>・専門研修に必要な剖検(2023 年度 2 体、2024 年度 0 体)を行っています。</li> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野(少なくとも 7 分野以上)で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群について研修できます。</li> <li>・専門研修に必要な剖検(2023 年度 2 体、2024 年度 0 体)を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室などを整備しています。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的に行っています。</li> <li>・治験委員会を設置し、定期的に行う研究審査会を開催する体制を整えています。</li> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 3 演題以上の学会発表をしています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>崎山 博司</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>米の山病院内科専門研修プログラムは、福岡県有明医療圏の急性期病院である米の山病院を基幹施設として、内科専門医はもちろんのこと、内科系各領域の subspecialty にも共通で必要とされる総合性を身に着けることを重視しています。また高齢率が 38.4%(2025 年 4 月 1 日時点)と急速な高齢化が進む有明医療地区において、地域と時代における役割と</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

|                 |                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | 求められる医療について理解した上で、そのニーズに応える総合的な力量と必要な専門性を習得するプログラムです。「地域に出て、地域に学び、育つ」地域基盤型教育を重視し、またヘルスプロモーション活動など住民と共同の場を研修の特徴としており、様々な取り組みへの参加を通じて、専門性と倫理性、そして利他主義の視点を身につけることを目指しています。                                             |
| 指導医数<br>(常勤医)   | 日本内科学会総合内科専門医 4 名、日本循環器学会循環器専門医 2 名、日本消化器病学会消化器病専門医 1 名、日本睡眠学会総合専門医 1 名、日本東洋医学会漢方専門医 1 名                                                                                                                            |
| 外来・入院患者数        | 総外来延患者(実数)84,514 名、総入院患者(実数)2,724 名                                                                                                                                                                                 |
| 経験できる疾患群        | 血液内科疾患をはじめ、きわめてまれな疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患の症例を広く経験することができます。<br>不足する分野においては、連携施設にて研修可能です。                                                                                                                 |
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                             |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 高齢化率が高い福岡県南部の有明医療圏に位置する急性期病院であるとともに、回復期リハビリテーション病棟・維持期病棟もあり、大牟田市内において医療、介護の中核的な病院です。また地域における病病連携、病診連携医療を経験できます。                                                                                                     |
| 学会認定施設<br>(内科系) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・内科専門研修プログラム基幹施設</li> <li>・総合診療専門研修プログラム基幹施設</li> <li>・日本循環器学会研修施設</li> <li>・日本呼吸器学会特別連携施設</li> <li>・日本肝臓学会特別連携施設</li> <li>・日本東洋医学会教育関連施設</li> <li>・日本病理学会登録施設 など</li> </ul> |

健和会大手町病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・ 研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・ 常勤医師として勤務環境が保障されています。</li> <li>・ メンタルストレスに適切に対処する部署(健和会本部人事部福利厚生課)があります。</li> <li>・ 「ハラスメント防止に関する規程」に基づき、相談窓口は法人統括責任者として健和会本部人事部長、健和会大手町病院は事務長と総師長が担当しています。</li> <li>・ 女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・ 敷地内に院内保育所があり、利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導医は 11 名在籍しています。</li> <li>・ 内科専門研修プログラム管理委員会(統括責任者、プログラム管理者(総合内科専門医かつ指導医)にて、 基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。</li> <li>・ 基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修委員会と臨床研修課が設置されています。</li> <li>・ 医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行う(基幹施設 2023 年度実績 医師対象講習会 2 回、eラーニング 4 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ CPC を定期的に開催(2022 年度 7 件、2023 年度 9 件)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 地域参加型のカンファレンス(基幹施設:北九州総合診療研究会、北九州ER critical CareConference)等を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 日本専門医機構による施設実地調査に臨床研修課が対応します。</li> <li>・ 特別連携施設(戸畑けんわ病院、大手町リハビリテーション病院、健和会京町病院、健和会町上津役診療所、大分健生病院、くわみず病院)の専門研修では、電話や月 1 回の健和会大手町病院での面談・カンファレンスなどにより指導医がその施設での研修指導を行います。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野(少なくとも 7 分野以上)で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・ 70 疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも 35 以上の疾患群)について研修できます。</li> <li>・ 専門研修に必要な剖検(2022 年度 7 件、2023 年度 9 件)を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨床研究に必要な図書室を整備しています。</li> <li>・ 倫理委員会を設置し、定期的に行う(2023 年度実績 4 回)しています。</li> <li>・ 治験委員会を設置し、定期的に行う受託研究審査会を開催しています。</li> <li>・ 日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 3 演題以上の学会発表をしています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>築島直紀</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>健和会大手町病院は福岡県の北九州市地区における中心的急性期病院です。近隣医療圏にある連携施設、特別連携施設と内科専門研修を実施し、総合的な医療の展開と地域医療でも貢献できる内科専門医の育成を目指しています。</p> <p>一般外来および救急外来にて初診患者を中心に診療をおこないます。また、入院診療では一般内科病棟に加えて、集中治療室や療養型病床での研修も可能であり、幅広い状況で研修がおこなえます。また定期的な他職種カンファレンスを通して、患者の社会的・心理的な側面へのアプローチを行い、チーム医療での研修を行います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

|                    |                                                                                                                                                                                                |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 指導医数<br>(常勤医)      | 日本内科学会指導医 4 名, 日本内科学会認定内科医 8 名,<br>日本内科学会総合内科専門医 3 名, 日本循環器学会循環器専門医 2 名,<br>日本呼吸器学会呼吸器学会専門医 1 名, 日本糖尿病学会専門医 1 名,<br>日本神経学会神経内科専門医 2 名, 日本感染症学会専門医 2 名,<br>日本消化器内視鏡学会専門医 2 名, 日本救急医学会救急科専門医 5 名 |
| 外来・入院患者数           | 総外来延患者数 58440 名 総入院患者数 7611 名 2024 年度実績                                                                                                                                                        |
| 経験できる疾患群           | きわめて稀な疾患を除いて, 研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域, 70 疾患群の症例を<br>幅広く経験することができます。                                                                                                                             |
| 経験できる技術・技能         | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を, 実際の症例に基づきながら<br>幅広く経験することができます。                                                                                                                                   |
| 経験できる地域医療・<br>診療連携 | 急性期医療だけでなく, 超高齢社会に対応した地域に根ざした医療, 病診・病病連携なども<br>経験できます。                                                                                                                                         |
| 学会認定施設<br>(内科系)    | 日本呼吸器内視鏡学会認定施設<br>日本呼吸器学会関連施設<br>日本環境感染症学会認定教育施設<br>日本循環器学会循環器専門医研修施設<br>日本感染症学会認定研修施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本リウマチ学会教育施設<br>日本糖尿病学会教育関連施設(宇部協立病院)<br>日本プライマリ・ケア連合学会 家庭医療後期研修プログラム<br>など     |

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・※※市非常勤医師として勤務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する窓口（機構本部人事給与課）があります。</li> <li>・ハラスメントに関する苦情の申し出および相談はハラスメント対策専門官が受け付けています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は 21 名在籍しています(下記)。</li> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会(統括責任者(副院長)、プログラム管理者(内科統括部長)(総合内科専門医かつ指導医)にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修委員会を設置します。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行う(2023 年度実績 5 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催(2024 年度 1 回予定)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を随時開催(2024 年度実績 3 回 8 症例)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンス(北九州市立医療センター研修会;2024 年度実績 11 回)を定期的に行う、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に内科臨床研修管理委員会)が対応します。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野(少なくとも 9 分野以上)で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています(上記)。</li> <li>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも 35 以上の疾患群)について研修できます(上記)。</li> <li>・専門研修に必要な剖検(2023 年度実績 9 体、2024 年度 10 体)を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室、写真室などを整備しています。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的に行う(2023 年度実績 2 回)しています。</li> <li>・治験管理室を設置し、定期的に行う受託研究審査会を開催(2023 年度実績 12 回)しています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>大野 裕樹</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>北九州医療圏・近隣医療北九州市立医療センターは、福岡県北九州医療圏の一翼を担う急性期病院であり、圏にある連携施設とで内科専門研修を行い、必要に応じた可塑性のある、地域医療にも貢献できる内科専門医を目指します。</p> <p>主担当医として、入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで経時的に、診断・治療の流れを通じて、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医になります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会認定医 21 名、日本内科学会総合内科専門医 21 名、<br/>日本消化器病学会消化器専門医 5 名、日本消化器内視鏡学会専門医 6 名、<br/>日本消化管学会胃腸科専門医 1 名、日本肝臓学会専門医 3 名、<br/>日本超音波医学会専門医 1 名、日本循環器学会循環器専門医 5 名、<br/>日本心血管インターベンション治療学会専門医 1 名、日本超音波学会専門医 1 名、<br/>日本心エコー図学会 SHD 心エコー認定医 1 名、日本周術期経食道心エコー認定医 1 名、<br/>日本日本糖尿病学会専門医 1 名、日本内分泌学会専門医 1 名、<br/>日本老年医学会専門医 1 名、日本肥満学会専門医 1 名、日本骨粗鬆症学会認定医 1 名、<br/>日本呼吸器学会呼吸器専門医 5 名、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 3 名、</p>                                                                                                                                                                                                                                                                      |

|                    |                                                                                                                                                                                                             |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                    | 日本結核・非結核性抗酸菌症学会専門医 1 名、日本血液学会血液専門医 5 名、<br>日本造血・免疫細胞療法学会認定医 3 名、日本リウマチ学会専門医 3 名、<br>日本感染症学会専門医 3 名、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医 5 名、<br>日本心身医学会認定心療内科専門医 1 名、日本臨床栄養代謝学会専門医 1 名、<br>日本救急医学会救急科専門医 1 名、日本医師会認定産業医 2 名    |
| 外来・入院患者数           | 外来患者数(6,574 名 1 ヶ月平均延数) 入院患者数(4,461 名 1 ヶ月平均延数)                                                                                                                                                             |
| 経験できる疾患群           | きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を<br>幅広く経験することができます。                                                                                                                                            |
| 経験できる技術・技能         | 技術・機能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら<br>幅広く経験することができます。                                                                                                                                                 |
| 経験できる地域医療・<br>診療連携 | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども<br>経験できます。                                                                                                                                                        |
| 学会認定施設<br>(内科系)    | 日本内科学会認定医制度教育病院<br>日本感染症学会認定研修施設<br>日本肝臓病学会認定施設<br>日本糖尿病学会認定教育施設<br>日本リウマチ学会教育施設<br>日本消化器病学会指導施設<br>日本消化器内視鏡学会指導施設<br>日本呼吸器学会認定施設<br>日本呼吸器内視鏡学会認定施設<br>日本循環器学会認定専門医研修施設<br>日本臨床腫瘍学会認定施設<br>日本血液学会認定専門研修教育施設 |

## 九州大学病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <p>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。<br/>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。<br/>・九州大学シニアレジデントもしくは指導診療医として勤務環境が保障されています。<br/>・メンタルストレスに適切に対処する部署(健康管理室)があります。<br/>・ハラスメント委員会が九州大学に整備されています。<br/>・女性専攻医が安心して勤務できるように、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。<br/>・敷地内に院内保育所があり、病児保育、病後児保育を含め利用可能です。</p>                                                                                                                                                                                        |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <p>・指導医が(2024 年度)151 名在籍しています(下記)。<br/>・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。<br/>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行う(2014 年度実績 医療倫理 1 回(4 月に就職時に参加が必須。今後は年度内に複数回の定期開催を予定)、医療安全 40 回、感染対策 40 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。<br/>・研修施設群合同カンファレンス(2017 年度予定)を定期的に参加し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。<br/>・CPC を定期的に行う(2024 年度実績 17 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。<br/>・地域参加型のカンファレンスを(2015 年度実績 6 回)を定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</p> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、リウマチ、膠原病、感染症および救急の全ての分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | 日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表(2021 年度実績 35 演題)をしています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>桑原 綾子<br/>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>九州大学病院は福岡県内の協力病院と連携して人材の育成や地域医療の充実に向けて様々な活動を行っています。本プログラムでは初期臨床研修修了後に協力病院として大学病院の内科系診療科も加わることで、リサーチマインドの育成などを含む質の高い内科医の育成を目指します。また単に内科医を養成するだけでなく、医療安全・倫理を重視し、患者本位の医療サービスが提供でき、医学の進歩に貢献し、日本の医療を担える医師を育成することを目的とするものです。</p>                                                                                                                                                                                                |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | 日本内科学会指導医 151 名、日本内科学会総合内科専門医 127 名、日本消化器病学会消化器専門医 38 名、日本循環器学会循環器専門医 27 名、日本内分泌学会専門医 14 名、日本糖尿病学会専門医 15 名、日本腎臓病学会専門医 12 名、日本呼吸器学会呼吸器専門医 14 名、日本血液学会血液専門医 10 名、日本神経学会神経内科専門医 19 名、日本アレルギー学会専門医(内科)7 名、日本リウマチ学会専門医 4 名、日本感染症学会専門医 10 名、日本救急医学会救急科専門医 5 名、老年医学会 5 名、肝臓学会 14 名、消化器内視鏡学会 25 名、臨床腫瘍学会 8 名 他                                                                                                                                                       |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | 内科系外来患者 16,570 名(1 ヶ月平均)内科系入院患者 10,885 名(1 か月平均延数)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                        | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p>                      | 日本内科学会認定医制度認定教育施設<br>日本消化器病学会認定施設<br>日本呼吸器学会認定施設                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

|  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 日本糖尿病学会認定教育施設<br>日本腎臓学会研修施設<br>日本リウマチ学会教育施設<br>日本アレルギー学会認定教育施設<br>日本消化器内視鏡学会指導施設<br>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br>日本老年医学会認定施設<br>日本肝臓学会認定施設<br>日本透析医学会認定医制度認定施設<br>日本血液学会血液研修施設<br>日本神経学会教育施設<br>日本脳卒中学会認定研修教育病院<br>日本心療内科学会専門医研修施設<br>日本心身医学会研修診療施設<br>日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設<br>日本東洋医学会教育病院<br>日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br>日本肥満学会認定肥満症専門病院<br>日本感染症学会認定研修施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本高血圧学会高血圧認定研修施設<br>スtentグラフト実施施設<br>日本緩和医療学会認定研修施設<br>日本認知症学会教育施設<br>日本救急医学会救急科専門医指定施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修施設<br>など |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

独立行政法人国立病院機構 九州医療センター

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <p>・国立病院機構九州医療センターの就業規則に基づき就業する。<br/>1)研修に必要な図書室とインターネット環境がある。<br/>2)非常勤医師として勤務環境が保障されている。<br/>3)メンタルストレスに適切に対処する部署(管理課職員担当)がある。<br/>4)ハラスメント委員会が整備されている。<br/>5)女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されている。<br/>6)敷地近辺に職員保育所があり、利用可能である。</p>                                                                          |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <p>・指導医が 34 名在籍している。<br/>・内科専門研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図る。<br/>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行う(2024 年度実績 医療倫理 1 回、医療安全 2 回、感染対策 2 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。<br/>・合同カンファレンスを定期的に行う(2024 年度実績 3 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。<br/>・CPC を定期的に行う(2024 年度実績 5 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。</p> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <p>カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、リウマチ、膠原病、感染症および救急の全ての分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療している。</p>                                                                                                                                                                                                        |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <p>日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で 1 演題以上の学会発表をしている。<br/>2021 年度実績 第 333 回九州地方会 2 題、第 336 回九州地方会 2 題の計 4 題<br/>2022 年度実績 第 119 回日本内科学会総会 2 題、第 338 回九州地方会 1 題、第 339 回九州地方会 3 題、第 340 回九州地方会 4 題の計 10 題<br/>2023 年度実績 第 120 回日本内科学会総会 1 題、第 340 回九州地方会 1 題、第 343 回九州地方会 1 題、第 344 回九州地方会 2 題の計 5 題</p>                                 |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>宮村 知也<br/>九州医療センターは九州内の大学や協力病院と連携して人材の育成や地域医療の充実に向けて様々な活動を行っています。本プログラムでは初期臨床研修修了後に 3 つのコースを設け、総合力の高いリサーチマインドを持ち、サブスペシャリティにも強い質の高い内科医の育成を目指します。また単に内科医を養成するだけでなく、医療安全・倫理を重視し、患者に寄り添う医療サービスが提供でき、医学の進歩に貢献し、日本の医療を担える医師を育成することを目的とするものです。</p>                                                                              |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会指導医 34 名、日本内科学会総合内科専門医 24 名<br/>日本消化器病学会消化器専門医 16 名、日本循環器学会循環器専門医 13 名、<br/>日本内分泌学会専門医 3 名、日本糖尿病学会専門医 1 名、<br/>日本腎臓病学会専門医 3 名、日本呼吸器学会呼吸器専門医 5 名、<br/>日本血液学会血液専門医 8 名、日本神経学会神経内科専門医 5 名、<br/>日本リウマチ学会専門医 8 名、日本感染症学会専門医 6 名、<br/>日本救急医学会救急科専門医 4 名、日本臨床腫瘍学会専門医 3 名ほか</p>                                            |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>内科系外来患者 8330 名(1ヶ月平均)内科系入院患者 677 名(1ヶ月平均延数)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を経験することができる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                        | <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病院連携なども経験ができる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p>                      | <p>日本専門医機構認定内科専門研修プログラム基幹施設<br/>日本専門医機構認定消化器内科領域研修基幹施設<br/>日本専門医機構認定呼吸器内科領域研修連携施設<br/>日本専門医機構認定血液内科領域研修基幹施設</p>                                                                                                                                                                                                             |

|  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 日本専門医機構認定内分泌代謝・糖尿病内科領域研修基幹施設<br>日本専門医機構認定脳神経内科領域研修基幹施設<br>日本専門医機構認定膠原病・リウマチ内科領域研修基幹施設<br>日本消化器病学会認定施設<br>日本糖尿病学会認定教育施設<br>日本腎臓学会研修施設<br>日本アレルギー学会認定教育施設<br>日本消化器内視鏡学会指導施設<br>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br>日本老年医学会認定施設<br>日本肝臓学会認定施設<br>日本透析医学会認定医制度認定施設<br>日本血液学会血液研修施設<br>日本神経学会教育施設<br>日本脳卒中学会認定研修教育病院<br>日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設<br>日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br>日本感染症学会認定研修施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本高血圧学会高血圧認定研修施設<br>スtentグラフト実施施設<br>日本緩和医療学会認定研修施設<br>日本認知症学会教育施設<br>日本救急医学会救急科専門医指定施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修施設<br>など |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・国立病院機構非常勤医師として勤務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(管理科職員担当)があります。</li> <li>・監査・コンプライアンス室が国立病院機構本部に整備されています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように更衣室、当直室が整備されています。</li> <li>・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。</li> </ul>                                                                                                        |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医が8名在籍しています。</li> <li>・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPCを定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンスを定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> </ul>   |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域13分野のうち、消化器、肝臓、代謝、呼吸器および血液の分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・専門研修に必要な剖検を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計1演題以上の学会発表をしています。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的に開催しています。</li> <li>・治験管理室を設置し、定期的に受託研究審査会を開催しています。</li> <li>・専攻医が国内・国外の学会に参加・発表する機会があり、和文・英文論文の筆頭著者としての執筆も定期的に行われています。</li> </ul>                                                                                                                                                      |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>杉本理恵</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>当院は九州で唯一のがん専門病院です。がんの早期発見やステージングの為の様々なデバイスを用いた適格な診断方法、標準的化学療法や放射線治療などを組み合わせた集学的治療、希少がんの診断と治療、薬物や内視鏡治療などを含めた多面的な緩和治療、さらに在宅支援や緩和ケア病院との地域連携、様々な治験や臨床研究、がんの栄養療法などがんに関する様々な事を学び、技術を習得できます。またがん診療のみならず付随しておこる感染症や代謝性疾患などの内科疾患についても幅広く経験することができます。当院で研修することで内科専門医のみならず subspeciality の資格を得るためにも必要な症例を担当することができます。ぜひ我々と一緒にがんの high volume center で研修してみませんか。</p> |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会指導医 8名、日本内科学会総合内科専門医 15名<br/>日本消化器病学会消化器専門医 7名、指導医 4名、日本循環器学会循環器専門医 1名、日本肝臓学会専門医 4名、指導医 3名<br/>日本血液学会血液専門医 6名、指導医 4名<br/>臨床腫瘍学会薬物療法専門医 5名、指導医 4名、日本内視鏡学会専門医 2名<br/>がん治療認定医 6名、日本膵臓学会指導医 4名、老年医学会指導医 1名 ほか</p>                                                                                                                                                                        |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来患者 7,492名(1ヶ月平均) 入院患者 651名(1ヶ月平均)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>1)研修手帳(疾患群項目表)にある13領域、70疾患群のうち、全ての固形癌、血液腫瘍の内科治療を経験でき、付随するオンコロジーエマージェンシー、緩和ケア治療、終末期医療等についても経験できます。</p> <p>2)研修手帳の一部の疾患を除き、多数の通院・入院患者に発生した内科疾患について、がんとの関連の有無を問わず幅広く経験することが可能です。</p>                                                                                                                                                                                                          |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>1)日本屈指のがん専門病院において、がんの診断、抗がん剤治療(標準治療、臨床試験・治験)、緩和ケア治療、放射線治療、内視鏡検査・治療、インターベンショナルラジオロジーなど、幅広いがん診療を経験できます。</p> <p>2)技術・技能評価手帳に示された内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                               |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経験できる地域医療・診療連携  | 在宅緩和ケア治療，終末期の在宅診療などがん診療に関連した地域医療・診療連携を経験できます。                                                                                                                                                                                        |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本内科学会認定医制度教育関連病院<br>日本肝臓学会認定施設<br>日本血液学会認定血液研修施設<br>日本呼吸器学会関連施設<br>日本消化器内視鏡学会指導施設<br>日本消化器病学会専門医制度認定施設<br>日本乳癌学会認定施設<br>日本放射線腫瘍学会認定施設<br>日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本病理学会研修認定施設 B<br>日本臨床細胞学会教育研修施設<br>日本臨床細胞学会認定施設 など |

福岡県済生会飯塚嘉穂病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員用図書室とインターネット環境(有線 LAN, Wi-Fi)があります。</li> <li>・ハラスメントに関する適切な研修を受けた相談員による相談窓口があります。</li> <li>・ハラスメント事案に対応するハラスメント防止委員会を設けております。</li> <li>・男女それぞれの更衣室、仮眠(当直)室、シャワー室を整備しております。</li> </ul>                             |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全、感染対策に関する講習会を開催しております。(各年 2 回)</li> <li>・受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> </ul>                                                                                                                                    |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <p>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち(総合内科,消化器,内分泌,代謝,呼吸器,内科系救急)で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</p> <p>内科領域 13 分野(総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病および 類縁患者、感染症、内科系救急)</p>                                                                                          |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室などを整備しています。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的に開催しています。</li> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会での学会発表を行っています。また、国内の内科系学会での学会発表にも積極的に取り組める環境があります。</li> </ul>                                                                    |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>当病院は内分泌糖尿病、呼吸器内科、消化器内科、心療内科などの内科系専門医が在籍しており、十分に専門的研修をうけれるよう体制を整備しています。また当院の特徴として専門的な治療だけでなく内科系のジェネラリストとして疾患のみでなく病める患者さん本人を包括的に診察していけるような指導を心掛けています。</p> <p>緩和ケア医療、終末期医療、回復期医療、包括ケア医療などの地域医療・診療連携についても専門医の指導の下、十分に経験をすることができます。</p> |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本糖尿病学会研修指導医 2 名、日本内分泌学会専門医・指導医 1 名<br/>日本高血圧学会指導医 1 名、日本消化器内視鏡学会指導医 1 名、<br/>日本消化器病学会指導医 1 名、日本心療内科学会登録指導医 1 名、<br/>日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医 1 名、<br/>日本結核非結核性抗酸菌症学会指導医 1 名</p>                                                                                |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来患者 3,625 人(全科・昨年度 1 ヶ月平均)<br/>入院患者 4,979 人(全科・昨年度 1 ヶ月平均)</p>                                                                                                                                                                                          |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群のうち、common disease である内分泌糖尿病、呼吸器、心身疾患の治療を経験でき、緩和ケア治療、終末期医療、包括ケア医療、回復期医療等についても経験できます</p>                                                                                                                                      |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>1)内分泌・糖尿病、呼吸器、消化器疾患の診断、治療<br/>2)技術・技能評価手帳に示された内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                            |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                        | <p>急性期医療からの後方支援連携のほか、医療から介護へ繋いでいく連携が経験できます</p>                                                                                                                                                                                                              |
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p>                      | <p>日本糖尿病学会認定教育施設<br/>日本呼吸器学会 連携施設<br/>日本消化器内視鏡学会 指導連携施設<br/>日本消化器病学会専門医制度 関連施設<br/>日本緩和医療学会認定研修施設<br/>日本心身医学会・日本心療内科学会合同心療内科専門医研修認定施設<br/>日本心療内科学会 登録研修施設<br/>日本臨床栄養代謝学会 NST 稼働施設<br/>日本臨床栄養代謝学会 栄養サポートチーム専門療法士認定教育施設</p>                                   |

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研修制度協力型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・前田病院専攻医として勤務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署およびハラスメント窓口があります。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・敷地内に院内託児所があります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                    |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・内科専門医・腎臓専門医・透析専門医・糖尿病専門医・東洋医学会漢方専門医・血液専門医等の教育施設です。</li> <li>・指導医が4名在籍しています(下記)。</li> <li>・研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策研修会を定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参加し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に行い(2023 年実績 1 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンスを定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <p>カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全てにおいて、定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <p>日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表(2017 年 1 演題)をしています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>前田 篤宏<br/>【内科専攻医へのメッセージ】<br/>長時間透析をはじめ、オーバーナイト透析・在宅血液透析・腹膜透析・腹膜+血液のハイブリッド透析・入院個室透析のすべてを行っている九州で唯一の病院です。<br/>とはいえ、透析にならない事が最優先と考え、糖尿病・高血圧・高脂血症・保存期腎不全の管理に力を入れております。<br/>I 型 II 型糖尿病を含むすべての CKD ステージに対応した管理も可能です。<br/>また、シャント作成(30 件/年)・シャント PTA(240 件/年)・透析導入(40 件/年)・維持透析(300 名)管理等まで一貫して学べる環境が整っており、各専門医指導のもとで、幅広い内科疾患への対応力や専門資格の取得も目指せます。<br/>さらに、漢方専門医も在籍しており、現代医療と統合した漢方療法の実践と知識習得も可能です。</p>                                                                  |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本透析医学会指導医 1 名、日本透析医学会透析専門医 3 名、<br/>日本腎臓学会腎臓専門医 3 名、日本内科学会指導医 4 名、<br/>日本内科学会総合内科専門医 5 名、日本内科学会総合内科認定内科医 2 名<br/>日本臨床腎移植学会腎移植認定医 1 名、日本東洋医学会漢方専門医 1 名、<br/>日本東洋医学会漢方認定医 1 名、日本糖尿病学会専門医 1 名、<br/>日本血液学会認定血液専門医 2 名、日本血液学会認定血液指導医 1 名、<br/>日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 1 名、<br/>日本造血細胞移植学会 造血細胞移植認定医 1 名ほか</p>                                                                                                                                                             |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来患者 4,774 名(1ヶ月平均) 入院患者 55 名(1ヶ月平均)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>シャント手術、PTA、CPAP 管理、上部・下部内視鏡検査、エコー検査(頸部血管・心・腹部)<br/>長時間透析管理、オーバーナイト透析管理、腹膜透析管理、運動療法・栄養指導を用いた糖尿病管理を経験することができます。証を理解した上での漢方診療の習得も可能です。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

|                 |                                                                                                                                                           |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経験できる地域医療・診療連携  | 性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・連携なども経験できます。                                                                                                             |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本腎臓学会 認定教育施設<br>日本内科学会 認定医制度教育関連施設<br>日本血液学会 専門研修教育施設<br>日本透析医学会 専門医制度認定施設<br>日本東洋医学会 専門医制度指定研修施設<br>日本糖尿病学会 教育関連施設<br>透析バスキュラーアクセスインターベーション治療医学会 教育研修施設 |

佐賀県医療センター好生館

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境(Wi-Fi)があります。</li> <li>・佐賀県医療センター好生館医員として勤務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレス、ハラスメントに適切に対処する部署および相談窓口があります。</li> <li>・休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・職員宿舎があります。</li> <li>・敷地内にこども園分園があります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝カンファレンス:朝、患者申し送りを行い、指導医からフィードバックを受け、指摘された課題について学習を進めます。</li> <li>・総回診:受持患者について指導医陣に報告してフィードバックを受けます。受持以外の症例についても見識を深めます。</li> <li>・症例検討会(毎週):新規入院症例、診断・治療困難例、臨床研究症例などについて専攻医が報告し、指導医からのフィードバック、質疑などを行います。</li> <li>・CPC:死亡・剖検例についての病理診断を検討します。</li> <li>・内科カンファレンス(毎週):重要な症例や各領域のトピックスを内科全体で発表します。</li> <li>・Weekly summary discussion:週に1回、指導医と行い、その際、当該週の自己学習結果を指導医が評価し、研修手帳に記載します。</li> <li>・学生・初期研修医に対する指導:病棟や外来で医学生・初期研修医を指導します。後輩を指導することは、自分の知識を整理・確認することにつながることから、当プログラムでは、専攻医の重要な取組と位置づけています。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染防御に関する講習会<br/>(基幹施設 2024 年度実績 医療倫理 1 回、医療安全 3 回、感染対策 2 回)</li> <li>・当院および連携施設である佐賀大学で開催される JMECC(内科救急講習会)受講</li> <li>・各種指導医講習会/JMEC 指導者講習会など</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <p>専攻医 3 年修了時で、「研修手帳(疾患群項目表)」に定められた 70 疾患群のうち、少なくとも通算で 56 疾患群、160 症例以上を経験し、専攻医登録評価システム(J-OSLER)に登録できる体制とします。そして可能な限り、「研修手帳(疾患群項目表)」に定められた 70 疾患群、200 症例以上の経験を目標とします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <p>患者から学ぶという姿勢を基本とし、科学的な根拠に基づいた診断、治療を行います(evidence based medicine の精神)。最新の知識、技能を常にアップデートし、生涯を通して学び続ける習慣を作ります。また、日頃の診療で得た疑問や発想を科学的に追求するため、症例報告あるいは研究発表を奨励します。論文の作成は科学的思考や病態に対する深い洞察力を磨くために極めて重要なことであり、内外へ広く情報発信する姿勢も高く評価されます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>緒方 伸一<br/>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>本プログラムは、佐賀県の佐賀県医療センター好生館を基幹施設として、主に佐賀県内にある佐賀大学医学部付属病院を含む連携施設とで内科専門研修を通じて佐賀県医療圏の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練されます。内科専門医としての基本的臨床能力獲得後に、さらに高度な総合内科の Generality を獲得する場合や内科領域 Subspecialty 専門医への道を歩む場合を想定して、内科専門医の育成を行います。</p> <p>初期臨床研修を修了した内科専攻医は、本プログラム専門研修施設群での 3 年間(主に基幹施設 2 年間+連携施設 1 年間)に、豊富な臨床経験を持つ指導医の適切な指導の下で、内科専門医制度研修カリキュラムに定められた内科領域全般にわたる研修を通じて、標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能とを修得します。内科領域全般の診療能力とは、臓器別の内科系 Subspecialty 分野の専門医にも共通して求められる基礎的な診療能力を指します。また、知識や技能に偏らずに、患者に人間性をもって接すると同時に、医師としてのプロフェッショナリズムとリサーチマインドの素養をも修得して可塑性が高く、様々な環境下で全人的な内科医療を実践する先導者の持つ能力です。</p>                                                                                                          |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会指導医 19 名、日本内科学会総合内科専門医 29 名<br/>日本消化器病学会消化器病専門医 10 名、日本循環器学会循環器専門医 9 名</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | 日本糖尿病学会糖尿病専門医 2 名、日本腎臓病学会腎臓専門医 2 名<br>日本呼吸器学会呼吸器専門医 5 名、日本血液学会血液専門医 6 名<br>日本神経学会神経内科専門医 2 名、日本アレルギー学会アレルギー専門医 2 名<br>日本感染症学会専門医 2 名、ほか                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 外来・入院患者数        | 外来患者 14,367 名 入院患者 13,167 名 (2024 年度実績)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 経験できる疾患群        | 主担当医として、カリキュラムに定める全 70 疾患群、計 200 症例の経験を目標とします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 経験できる技術・技能      | 本研修プログラムでは、症例をある時点で経験するということだけではなく、主担当医として、入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで可能な範囲で経時的に、診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践します。そして、個々の患者に最適な医療を提供する計画を立て実行する能力の修得をもって目標への到達とします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 佐賀県医療センター好生館を基幹施設として、主に佐賀県内医療圏をプログラムとして守備範囲とし、必要に応じた可塑性のある、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練されます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本アレルギー学会アレルギー専門医準教育研修施設<br>日本感染症学会認定研修施設<br>日本内科学会認定教育病院<br>日本肝臓学会認定施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本緩和医療学会認定研修施設<br>日本救急医学会専門医指定施設<br>日本呼吸器学会認定施設<br>日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医制度関連認定施設<br>日本循環器学会認定専門医研修施設<br>日本消化管学会胃腸科指導施設<br>日本消化器内視鏡学会指導施設<br>日本消化器病学会指導施設<br>日本神経学会認定専門医教育施設<br>日本腎臓学会認定教育施設<br>日本透析医学会認定施設<br>日本糖尿病学会認定教育施設<br>日本内分泌学会認定教育施設<br>日本脳卒中学会認定研修教育施設<br>日本高血圧学会専門医認定施設<br>日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設<br>日本臨床細胞学会教育研修施設<br>日本臨床細胞学会認定施設<br>日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br>日本血液学会認定血液研修施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修施設<br>日本緩和医療学会認定研修施設<br>日本栄養療法推進協議会認定 NST 稼動施設 など |

佐賀大学医学部附属病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研修指定病院です。</li> <li>・施設内に研修に必要なインターネットの環境が整備されています</li> <li>・適切な労務環境が保障されています</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処するため基幹施設と連携できます。</li> <li>・ハラスメント委員会が整備されています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるような休憩室や更衣室等が配慮されています。</li> <li>・敷地内外を問わず保育施設等が利用可能です。</li> </ul>                                                                         |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医が 42 名以上在籍しています。</li> <li>・研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ることができます。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催しています。</li> <li>開催にあたっては専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えています。</li> <li>・CPC を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えています。</li> <li>・地域参加型のカンファレンスを定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えています。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうちいずれかの分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会の学会発表にも積極的に取り組める環境があります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>宮園 素明</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>本年度より佐賀大学医学部附属病院内科学講座は飯塚病院の専門研修連携施設として登録されました。</p> <p>自施設の「オール佐賀 内科専門研修プログラム」にてこれまでも多くの内科専門医を輩出してきた実績があります。</p> <p>「オール佐賀 内科専門研修プログラム」でも充実した指導医・教育施設で generality と subspeciality の調和のとれたより良い内科専門医を育成を行っており、飯塚病院の専門研修連携施設として実りのある研修を行えるよう努めて参ります。</p>                                                                      |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会指導医 42 名、日本内科学会総合内科専門医 51 名<br/>日本消化器病学会消化器病専門医 16 名、日本循環器学会循環器専門医 14 名<br/>日本糖尿病学会糖尿病専門医 4 名、日本腎臓病学会腎臓専門医 5 名<br/>日本呼吸器学会呼吸器専門医 7 名、日本血液学会血液専門医 12 名<br/>日本神経学会神経内科専門医 5 名、日本アレルギー学会アレルギー専門医 2 名<br/>日本リウマチ学会リウマチ専門医 4 名、日本感染症学会専門医 1 名、ほか</p>                                                                                                        |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来患者 19,676 名(1ヶ月平均) 入院患者 13,948 名(1ヶ月平均)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                        | <p>佐賀県医療圏の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的医療も経験します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p>                      | <p>日本肝臓学会認定施設<br/>日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設<br/>日本糖尿病学会認定教育施設 (I)<br/>日本内分泌学会認定教育施設<br/>血液研修施設</p>                                                                                                                                                                                                                                                                    |

|  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>成人白血病治療共同研究機構(JALSG)施設<br/> 日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br/> 日本リウマチ学会教育施設<br/> アレルギー専門医教育研修施設<br/> 日本感染症学会研修施設<br/> 日本気管支学会認定施設<br/> 日本呼吸器学会認定施設<br/> 日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設<br/> 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設<br/> 植込型補助人工心臓管理施設<br/> 経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設<br/> 左心耳閉塞システム実施施設<br/> 循環器専門研修施設<br/> 成人先天性心疾患専門医連携修練施設<br/> 日本胸部疾患学会認定制度認定施設<br/> 日本高血圧学会専門医制度認定施設<br/> 日本心血管インターベンション治療学会研修施設<br/> 日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設<br/> 日本動脈硬化学会専門医制度認定教育施設<br/> 日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設<br/> 日本老年医学会認定施設<br/> 日本臨床薬理学会専門医制度研修施設<br/> 日本炎症性腸疾患学会 IBD 指導施設<br/> 日本カプセル内視鏡学会指導施設<br/> 日本消化管学会胃腸科指導施設<br/> 日本消化器内視鏡学会指導施設<br/> 日本消化器病学会専門医制度認定施設<br/> 日本消化器病学会認定医制度認定施設<br/> 日本肥満学会認定肥満症専門病院<br/> 日本神経学会専門医制度教育施設<br/> 日本臨床神経生理学会認定施設<br/> 日本認知症学会教育施設<br/> 日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院<br/> 日本腎臓学会認定教育施設<br/> 日本透析医学会専門医制度認定施設<br/> 日本内科学会認定医制度認定大学病院<br/> 臨床修練指定病院<br/> 日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設</p> |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・レジデントとして勤務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(当院精神科医長担当)があります。</li> <li>・ハラスメント委員会が院内に整備されています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。</li> </ul>       |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医が 24 名在籍しています(下記)。</li> <li>・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習を e-learning を用いて受講(2024 年度実績 医療倫理1回, 医療安全 4 回, 感染対策 4 回)します。</li> <li>・CPC を定期的に開催(2024 年度実績 5 回)しています。</li> <li>・毎月、指導医とともに研修を振り返る時間を確保しています。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野全ての分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも 45 以上の疾患群)について研修できます。</li> <li>・専門研修に必要な剖検を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                       |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室などを整備しています。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的に開催しています。</li> <li>・治験管理室を設置し、定期的に受託研究審査会を開催しています。</li> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に、内科系の学会で年間で一人計 1 演題以上の学会発表をしています。</li> </ul>                                                                                                             |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>和泉 泰衛</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>長崎医療センターは、長崎県県央医療圏の中心的な急性期病院であるとともに、地域の病診・病病連携の中核であります。一方で、地域に根ざす第一線の病院でもあり、Common disease の経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病病連携や診療所(在宅訪問診療施設などを含む)との病診連携も経験できます。</p>                                                                                                   |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会総合内科専門医 23 名<br/>日本消化器病学会消化器専門医 7 名、日本循環器学会循環器専門医 4 名、<br/>日本内分泌学会専門医 1 名、日本糖尿病学会専門医 2 名、<br/>日本腎臓学会専門医 1 名、日本呼吸器学会呼吸器専門医 3 名、<br/>日本血液学会血液専門医 6 名、日本神経学会神経内科専門医 3 名、<br/>日本アレルギー学会専門医 0 名、日本リウマチ学会専門医 3 名、<br/>日本感染症学会専門医 2 名、日本救急医学会救急科専門医 12 名、ほか</p>                                                             |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>内科系外来患者 4,931 名 入院患者 6,895 名(令和 6 年度実績)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                        | <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p>                      | <p>日本内科学会認定医制度教育病院<br/>日本消化器病学会専門医修練施設<br/>日本呼吸器学会認定施設<br/>日本糖尿病学会認定教育施設<br/>日本腎臓学会研修施設<br/>日本消化器内視鏡学会認定指導施設<br/>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設</p>                                                                                                                                                                                      |

|  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 日本肝臓学会認定施設<br>日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設<br>日本透析医学会認定医制度認定施設<br>日本血液学会認定研修施設<br>日本急性血液浄化学会認定施設<br>日本大腸肛門病学会認定関連施設<br>日本甲状腺学会認定専門医施設<br>日本神経学会認定専門医制度准教育施設<br>日本脳卒中学会認定研修教育病院・一次脳卒中センター<br>日本呼吸器内視鏡学会認定専門医制度認定施設<br>日本プライマリ・ケア連合学会 家庭医専門研修プログラム基幹施設<br>日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br>日本放射線腫瘍学会認定施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本高血圧学会高血圧専門医認定施設<br>胸部・腹部ステントグラフト実施施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修施設<br>など |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

熊本赤十字病院

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室、自習室、インターネット環境があります。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(人事課)があります。</li> <li>・ハラスメント相談員を配置し、適切に対応しています。</li> <li>・医療の質の維持・管理・向上に継続的に取り組む組織としてMQCセンターがあります。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、医師室、仮眠室、シャワー室、リラクゼーションルーム、当直室が整備されています。</li> <li>・院内に保育所と病児病後児保育室を完備しています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 2) 専門研修プログラムの環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は 25 名在籍しています。</li> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会;基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修プログラム管理委員会と教育研修推進室を設置します。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンス研究会<br/>熊本東部地区(内科系持ち回り)内科 Grand Rounds (月 1 回)<br/>* 院内 Grands Rounds を開業医の先生方にも開放する<br/>* 時に院外講師を招き、KUMAMOTO GIM などの企画<br/>菊池 Medical クロスカンファレンス 年 2~3 回<br/>阿蘇 Medica クロスカンファレンス 年 1~2 回<br/>* 内科専攻医が経験した症例の検討およびスタッフの解説・討論の方式<br/>日本医師会生涯教育講座(病診連携体験学習)</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に教育研修推進室が対応します。</li> <li>・特別連携施設の専門研修では、電話や週 1 回の熊本赤十字病院での面談・カンファレンスなどにより指導医がその施設での研修指導を行います。</li> </ul> |
| 3) 診療経験の環境      | <p>カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群について研修できます。</li> <li>・専門研修に必要な剖検(2022 年度 3 体、2023 年度 10 体、2024 年度 8 体)を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 4) 学術活動の環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室、自習室などを整備しています。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的に開催しています。</li> <li>・治験管理室を設置し、定期的に治験審査委員会を開催し、受託研究を行っています。また、臨床研究の事務的補助を行っています。</li> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 3 演題以上の学会発表をしています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 指導責任者           | <p>内科統括責任者<br/>加島雅之</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>熊本赤十字病院はER型救命救急センターを中心とした医療を展開する急性期病院です。100 床を有する、総合内科では臓器別にとらわれることなく、内科診療技能養成に重点を置き、総合内科医の育成を目指します。</p> <p>主担当医として、入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで経時的に、診断・治療の流れを通じて、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医になります。</p> <p>また、当院の特徴であるER型救急の経験を積み、地域住民によく見られる内科疾患から複数の症例を抱えたICU管理の必要な重症例まで、幅広く対応できることを目標とします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 指導医数<br>(常勤医)         | 日本内科学会指導医 25 名、日本内科学会総合内科専門医 25 名、<br>日本消化器病学会消化器病専門医 11 名、日本循環器学会循環器専門医 8 名、<br>日本腎臓学会腎臓専門医 7 名、日本呼吸器学会呼吸器専門医 2 名、<br>日本血液学会血液専門医 2 名、日本神経学会神経内科専門医 3 名、<br>日本救急医学会救急科専門医 21 名 ほか                                                                                                                                                                                                                               |
| 外来・入院患者数<br>[2024 年度] | 総外来患者(実数): 70,547 名/年<br>総入院患者(実数): 15,826 名/年                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 経験できる疾患群              | きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を<br>幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 経験できる技術・技能            | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅<br>広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 経験できる地域医療・診<br>療連携    | 急性期医療を中心に、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経<br>験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 学会認定施設<br>(内科系)       | 日本内科学会認定医制度教育病院<br>日本消化器病学会認定施設<br>日本消化器内視鏡学会指導施設<br>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修施設<br>日本集中治療医学会専門医研修施設<br>日本呼吸器学会認定施設<br>日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医認定施設<br>日本神経学会専門医制度教育施設<br>日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院<br>日本救急医学会指導医指定施設<br>日本胆道学会指導施設<br>日本透析医学会専門医制度認定施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本臨床細胞学会認定施設<br>日本腎臓学会研修施設<br>日本高気圧環境・潜水医学会認定病院<br>日本リウマチ学会教育施設<br>日本感染症学会研修施設<br>日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設<br>日本臨床腫瘍学会認定研修連携施設 |

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります</li> <li>・常勤医師として勤務環境が保障されています</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(職員健康管理室)があります</li> <li>・ハラスメント防止委員会が院内に整備されています</li> <li>・専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています</li> <li>・敷地内に院内保育園があります</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は 43 名在籍しています</li> <li>・当院にて研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修管理委員会と人材開発室を設置します。また、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます</li> <li>・CPC を定期的に開催(2024 年度実績 5 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます</li> <li>・地域参加型のカンファレンス(基幹施設:胸部 X 線を読み解く会、熊本消化器カンファレンス、熊本消化器画像診断研究会、済生会熊本病院緩和ケア研修会等)を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講(2024 年度開催実績 2 回:受講者 10 名)を義務付け、そのための時間的余裕を与えます</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に人材開発室が対応します</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち少なくとも 9 分野以上で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています</li> <li>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも 50 以上の疾患群)について研修できます</li> <li>・専門研修に必要な剖検(2022 年度:4 体、2023 年度:1 体、2024 年度:2 体)を行っています</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室、オンライン図書などを整備しています</li> <li>・医療倫理委員会を設置し、定期的に開催しています</li> <li>・治験事務局を設置し、定期的に治験審査委員会を開催しています</li> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 3 演題以上の学会発表をしています</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>一門 和哉</p> <p>◆研修の特徴</p> <p>当院は、熊本県熊本医療圏にあり、救命救急センターを有する急性期病院であり、国際病院機能評価 JCI を取得しています。</p> <p>重症・救急患者はもちろん、コモンディージーズから複数の病態を持つ患者の診療など幅広く経験を積むことができます。併せて、様々なキャリアや資格を有する指導医が多数在籍しているため、サブスペシャリティ領域まで踏み込んだ専門的な知識・技術も修得することができます。</p> <p>また、地域における急性期病院であるため、それぞれの役割を担う施設との病病連携や病診連携も多数経験します。</p> <p>当院では、医師のみならず、各職種が専門性を発揮しながら診療にあたります。内科系・外科系問わず各診療科の垣根も低く、複数の診療科、多職種にて行われるチーム医療は自慢できる特徴の一つです。</p>                                                                                                                                                                                                      |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会総合内科専門医 43 名<br/>日本消化器病学会消化器専門医 11 名<br/>日本消化器内視鏡学会 10 名<br/>日本循環器学会循環器専門医 20 名<br/>日本腎臓学会専門医 3 名<br/>日本呼吸器学会呼吸器専門医 14 名<br/>日本血液学会血液専門医 2 名</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | 日本神経学会神経内科専門医 6 名<br>日本感染症学会専門医 2 名<br>日本糖尿病学会専門医 1 名<br>日本肝臓学会専門医 5 名<br>日本臨床腫瘍学会専門医 3 名 ほか                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 外来・入院患者数        | 総外来患者数(実績):137,362 名<br>総入院患者数(実績):134,717 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 経験できる疾患群        | きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 12 領域, 70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本消化器病学会認定医制度認定施設<br>日本消化器内視鏡学会認定指導施設<br>日本消化管学会胃腸科指導施設<br>日本集中治療医学会専門医研修施設<br>日本循環器学会循環器専門医研修施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修施設(CVIT)<br>日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設<br>日本脈管学会認定研修指定施設<br>日本呼吸器内視鏡学会認定施設<br>日本腎臓学会研修施設<br>日本透析医学会認定医制度認定施設<br>日本腹膜透析医学会認定 CAPD 教育研修機関<br>日本急性血液浄化学会認定指定施設<br>日本神経学会専門医制度教育施設<br>日本脳卒中学会認定研修教育病院<br>日本脳卒中学会 一次脳卒中センター(PSC)<br>日本脳卒中学会 一次脳卒中センター(PSC)コア施設<br>日本感染症学会研修施設<br>日本糖尿病学会認定教育施設 I<br>日本肝臓学会認定施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本血液学会認定専門研修教育施設<br>日本緩和医療学会<br>日本臨床細胞学会認定施設<br>日本臨床細胞学会教育研修施設<br>日本臨床栄養代謝学会 NST 稼働施設 など |

大分県立病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <p>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</p> <p>・大分県非常勤医師として「大分県病院局職員就業規程」及び「大分県病院局職員服務規程」に従います。</p> <p>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</p> <p>・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。</p> <p>・総括的評価を行う際、専攻医および指導医は専攻医指導施設に対する評価も行い、その内容は大分県立病院内科専門研修プログラム管理委員会に報告されるが、そこには労働時間、当直回数、給与など、労働条件についての内容が含まれ、適切に改善を図ります。</p>                                                                                                               |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <p>1)内科領域の救急対応、2)最新のエビデンスや病態理解・治療法の理解、3)標準的な医療安全や感染対策に関する事項、4)医療倫理、医療安全、感染防御、臨床研究や利益相反に関する事項、5)専攻医の指導・評価方法に関する事項、などについて、以下の方法で研鑽します。</p> <p>①定期的(毎週1回程度)に開催する各診療科での抄読会</p> <p>②医療倫理・医療安全・感染防御に関する講習会(基幹施設 2021 年度実績 6 回)<br/>※内科専攻医は年に2回以上受講します。</p> <p>③CPC(基幹施設 2021 年度:解剖症例が対象の CPC2 回)</p> <p>④JMECC 受講(基幹施設:2021 年度開催実績 2 回:受講者 12 名※内科専攻医は必ず専門研修1年もしくは2年までに1回受講します。</p> <p>⑤内科系学術集会</p> <p>⑥各種指導医講習会/JMECC 指導者講習会 など</p> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <p>Subspecialty 領域に拘泥せず、内科として入院患者を順次担当医として担当します。担当医として、入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで可能な範囲で経時的に、診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <p>大分県立病院内科専門研修施設群は基幹・連携病院のいずれにおいても、</p> <p>①内科系の学術集会や企画に年2回以上参加します(必須)。※日本内科学会本部または支部主催の生涯教育講演会、年次講演会、CPC および内科系 Subspecialty 学会の学術講演会・講習会を推奨します。</p> <p>②経験症例についての文献検索を行い、症例報告を行います。</p> <p>③臨床的疑問を抽出して臨床研究を行います。</p> <p>④内科学に通じる基礎研究を行います。</p> <p>以上を通じて、科学的根拠に基づいた思考を全人的に活かせるようにします。内科専攻医は学会発表あるいは論文発表は筆頭者2件以上行います。</p> <p>なお、専攻医が、社会人大学院などを希望する場合でも、大分県立病院内科専門研修プログラムの修了認定基準を満たせるようにバランスを持った研修を推奨します。</p>                 |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>柴富 和貴</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>大分県立病院は内科、外科、産婦人科、小児科、麻酔科、形成外科は基幹施設として専攻医を募集します。また他の多くの診療科は連携施設として参加します。専門医を目指す皆さんは新しい制度であるため何かと不安が多いことと思われます。当院は各領域に経験豊富で、教育に情熱のある多くの指導医が在籍しています。専攻医のみなさんの希望を尊重し、さまざまな相談にのりながら、どこに行っても十分に通用する専門医を育成していきます。多くのみなさまの応募を待っています。</p>                                                                                                                                                        |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>37 名</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来患者名 1,573 名(1ヶ月平均) 入院患者 1,097 名(1ヶ月平均)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>基幹施設である大分県立病院での2年間と専門研修施設群での1年間(専攻医3年修了時)で、「研修手帳(疾患群項目表)」に定められた70疾患群のうち、少なくとも通算で56疾患群、160症例以上を経験し、J-OSLERに登録できます。可能な限り、「研修手帳(疾患群項目表)」に定められた70疾患群、200症例以上の経験を目指します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                      |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経験できる技術・技能      | 大分県立病院内科専門医研修プログラムでは、症例をある時点で経験するということだけではなく、主担当医として、入院から退院〈初診・入院～退院・通院〉まで可能な範囲で経時的に、診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践します。そして、個々の患者に最適な医療を提供する計画を立て実行する能力の修得をもって目標への到達とします。                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 大分県立病院は、大分県中部医療圏の中心的な急性期病院であるとともに、地域の病診・病病連携の中核であります。一方で、地域に根ざす第一線の病院でもあり、コモディティーズの経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病病連携や診療所（在宅訪問診療施設などを含む）との病診連携も経験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 学会認定施設<br>（内科系） | 専門研修プログラム（内科領域）基幹施設<br>日本救急医学会認定救急科専門医指定施設<br>日本消化器病学会専門医制度認定施設<br>日本循環器学会研修施設（新・旧制度両方）<br>日本呼吸器学会認定施設<br>日本血液学会専門研修施設<br>日本糖尿病学会認定施設Ⅰ<br>日本腎臓学会認定教育施設<br>日本肝臓学会認定施設<br>日本神経学会教育施設<br>日本臨床腫瘍学会認定研修施設（連携施設）<br>日本消化器内視鏡学会指導施設<br>日本消化管学会胃腸科導連携施設<br>日本呼吸器内視鏡学会認定施設<br>日本心血管インターベーション治療学会研修施設<br>日本胆道学会認定指導医制度指導施設<br>日本透析医学会認定教育関連施設<br>日本脳卒中学会研修教育施設<br>日本臨床細胞学会認定施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本栄養治療学会 NST 稼働施設<br>日本認知症学会教育施設<br>日本感染症学会認定認定研修施設<br>日本アレルギー学会認定アレルギー専門医教育研修施設      など |

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・ 研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・ メンタルストレスに適切に対処する部署(総務課職員担当)があります。</li> <li>・ 女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室・更衣室・仮眠室・シャワー室・当直室が整備されています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は 7 名在籍しています(下記)。</li> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会にて、基幹施設・連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修委員会を設置します。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的開催(2024 年度実績 12 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催(2024 年度予定)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に開催(2022 年度 3 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンス(内科体験学習集談会、宮崎東諸県医療圏の救急医療合同カンファレンス、循環器研究会、呼吸器研究会、消化器病症例検討会)を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に臨床研修センターが対応します。</li> <li>・特別連携施設(美郷町国民健康保険西郷病院)の専門研修では、電話や週 1 回の古賀総合病院での面談・カンファレンスなどにより指導医がその施設での研修指導を行います。</li> </ul> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群について研修できます(上記)。</li> <li>・専門研修に必要な剖検(2022 年度 3 体)を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室などを整備しています。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的開催しています。</li> <li>・治験管理室を設置し、定期的受託審査会を開催しています。</li> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 4 演題以上の学会発表をしています。(2024 年度実績 4 演題)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>楠元 寿典<br/>【内科専門医へのメッセージ】</p> <p>当院は、宮崎県東諸県医療圏の中心的な急性期病院で、地域医療支援病院として多くの医療機関と連携しており、コモディティーズからまれな疾患まで幅広く経験でき「臨床力」を身につけることができます。また多数の学会関連施設であり将来の subspecialty を視野に入れた内科専門医を目指すことができます。</p> <p>市中病院でありながら、日本全国で脾臓計測に使用される「古賀の式(脾臓長軸×短軸×0.9)」を提唱した病院であり、豊かな臨床研究マインドがあります。</p> <p>理念のもと、顔も名前も全員わかる規模の市中病院の強みを生かし、病院全体で「内科専門医」を育てたいと思っています。病院一同 皆さんを心からお待ちしています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会指導医 7 名、日本内科学会総合内科専門医 6 名、<br/>日本消化器病学会消化器専門医 2 名、日本循環器学会循環器専門医 3 名、<br/>日本糖尿病学会専門医 1 名、日本腎臓病学会専門医 3 名、<br/>日本血液学会血液専門医 2 名、日本神経学会神経内科専門医 2 名 ほか</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来患者 10,472 名(1ヶ月平均) 入院患者 548 名(1ヶ月平均)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域 70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域 70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

|                 |                                                                                                                                                                                    |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経験できる地域医療・診療連携  | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。                                                                                                                                   |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本内科学会認定医制度教育関連施設<br>日本消化器病学会専門医制度認定施設<br>日本血液学会認定血液研修教育施設<br>日本腎臓学会研修施設<br>日本透析医学会専門医認定施設<br>日本消化器内視鏡学会指導施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本糖尿病学会認定教育施設<br>日本甲状腺学会認定専門医施設<br>日本肝臓学会認定施設 |

宮崎市郡医師会病院

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・宮崎市郡医師会病院医師として勤務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルヘルスに適切に対処する部署(人事課職員担当)があります。</li> <li>・ハラスメント委員会が宮崎市郡医師会に整備されています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 2) 専門研修プログラムの環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は 20 名在籍しています。</li> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修委員会と臨床研修センターが設置されています。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に行い(2024 年度実績 8 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンス(宮崎心臓病研究会、地域連携で心不全を考える会、心エコー研究会、宮崎健康フォーラム 2024 年度実績 14 回)を定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講(開催実績無し)を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に内科専門研修プログラム管理委員会及び臨床研修センターが対応します。</li> </ul> |
| 3) 診療経験の環境            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野(少なくとも 4 分野以上)で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています(上記)。</li> <li>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも 35 以上の疾患群)について研修できます(上記)。</li> <li>・専門研修に必要な剖検(2023 年度 10 例、2024 年度 6 例)を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 4) 学術活動の環境            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室、インターネット環境などを整備しています。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的に行い(2024 年度実績 12 回)しています。</li> <li>・治験管理室を設置し、定期的に行い(2021 年度実績 12 回)しています。</li> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 3 演題以上の学会発表(2021 年度実績 4 演題)をしています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 指導責任者                 | <p>宮崎市郡医師会病院 副院長 柴田 剛徳</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>宮崎市郡医師会病院は宮崎県宮崎東諸県医療圏における急性期基幹病院として近隣の病院、医院、救急隊と密に連携をとり、宮崎市民から求められる最善の医療を心がけています。また指導医のもと主担当医として、患者一人一人に対して入院から退院までの適切な診療だけでなく、患者の社会的背景をも包括する全人的医療と患者に思いやりを持った医療を目指し、実践しています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 指導医数<br>(常勤医)         | <p>日本内科学会指導医 20 名、日本内科学会総合内科専門医 13 名、<br/>日本循環器学会循環器専門医 16 名、日本腎臓病学会専門医 1 名、<br/>日本不整脈心電学会専門医 3 名、日本呼吸器学会呼吸器専門医 1 名、<br/>日本高血圧専門医 1 名、日本リウマチ学会専門医 1 名、<br/>日本救急医学会救急科専門医 3 名、日本呼吸器内視鏡学会専門医 1 名、<br/>日本集中治療医学会専門医 3 名、米国集中治療専門医 1 名、米国麻酔科専門医 1 名<br/>など</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 外来・入院患者数<br>[2023 年度] | <p>外来患者 2591 名(1ヶ月平均) 入院患者 740 名(1ヶ月平均)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

|                 |                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経験できる疾患群        | きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。                                                                                                                                           |
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。                                                                                                                                                       |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本内科学会認定医制度教育関連病院<br>日本消化器病学会認定施設<br>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br>日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修施設<br>日本動脈硬化学会教育病院<br>日本緩和医療学会認定研修施設<br>日本臨床細胞学会認定施設<br>日本高血圧専門医研修認定施設<br>日本集中治療医学会専門医研修施設 など |

公益財団法人慈愛会今村総合病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <p>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。<br/>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。<br/>・今村総合病院常勤医師として勤務環境が保障されています。<br/>・メンタルストレスに適切に対処する部署があります。<br/>・ハラスメント委員会が今村総合病院に整備されています。<br/>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。<br/>・企業主導型保育所があり、利用可能です。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <p>・指導医は 10 名在籍しています。<br/>・内科専門研修プログラム管理委員会(統括責任者、プログラム管理者(ともに総合内科専門医かつ指導医);専門医研修プログラム委員会にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。<br/>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修委員会と臨床研修センターを設置します。<br/>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行う(2024 年度実績 3 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。<br/>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。<br/>・CPC を定期的に行う(2024 年度実績 3 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。<br/>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講(2024 年度開催実績 1 回:受講者 5 名)を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。<br/>・日本専門医機構による施設実地調査に臨床研修センターが対応します。</p> |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <p>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、総合内科、消化器、循環器、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病、感染症、および救急の分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。<br/>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも 35 以上の疾患群)について研修できます。<br/>・専門研修に必要な剖検を行っています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <p>・臨床研究に必要な図書室、写真室などを整備しています。<br/>・倫理委員会を設置し、定期的に行います。<br/>・治験管理室を設置し、定期的に行う研究審査会を開催しています。<br/>・日本内科学会講演会あるいは同地方会にて学会発表をしています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>西垂水 和隆<br/>【内科専攻医へのメッセージ】<br/>総合内科では屋根瓦の中心となって救急・病棟・集中治療・感染症・膠原病診療について研修、指導を行う。その他血液内科・脳神経内科・消化器科・循環器科などの専門性の高い診療科での研修も可能。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会総合内科専門医 14 名<br/>日本消化器病学会消化器専門医 3 名、日本循環器学会循環器専門医 4 名、<br/>日本腎臓学会腎臓専門医 2 名、日本血液学会血液専門医 6 名、<br/>日本神経学会神経内科専門医 4 名 ほか</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来患者 12,926 名(1 ヶ月平均)<br/>入院患者 10,702 名(1 ヶ月平均)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>                        | <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p>                      | <p>日本透析医学会専門医制度認定施設<br/>日本血液学会認定専門研修認定施設<br/>日本消化器病学会専門医制度認定施設</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

|  |                                                                                                                                                                                                                                                               |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設<br>日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設<br>日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育施設<br>日本神経学会専門医制度教育施設<br>日本腎臓学会研修施設<br>日本内分泌学会内分泌代謝科専門医制度認定教育施設<br>日本リウマチ学会教育施設<br>日本臨床腫瘍学会認定研修施設(連携施設)<br>日本臨床神経生理学会認定施設準教育施設(筋電図・神経伝導分野)<br>日本臨床細胞学会認定施設<br>日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設 など |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

霧島市立医師会医療センター

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・ 研修に必要な図書室とインターネット環境(有線 LAN, Wi-Fi)があります。</li> <li>・ 霧島市立医師会医療センター専攻医として勤務環境が保障されています。</li> <li>・ メンタルストレスに適切に対処する部署およびハラスメント窓口として労働安全衛生委員会があります。産業医および心理師が対応しています。</li> <li>・ 女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・ 敷地内に 24 時間対応院内こども園、院内学童保育があり、病児保育も含め利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                |
| 2) 専門研修プログラムの環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導医は 8 名在籍しています</li> <li>・ 内科専門研修プログラム管理委員会にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。</li> <li>・ 基幹施設内で研修する専攻医の研修を管理する、内科専門研修委員会を設置します。</li> <li>・ 医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催(2024 年実績 教育倫理 2 回、医療安全 2 回、感染管理 2 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ CPC を要時開催(2024 年実績 2 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 特別連携施設の専門研修では、症例指導医と飯塚病院の担当指導医が連携し研修指導を行います。なお、研修期間中は霧島市立医師会医療センターの担当指導医による定期的な電話や訪問での面談・カンファレンスなどにより研修指導を行います。</li> <li>・ 日本専門医機構による施設実地調査に医療秘書課が対応します。</li> </ul> |
| 3) 診療経験の環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・ 70 疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも 45 以上の疾患群)について研修できます。</li> <li>・ 専門研修に必要な剖検を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 4) 学術活動の環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨床研究に必要な図書室などを整備しています。</li> <li>・ 倫理委員会を設置し、定期的を開催しています。</li> <li>・ 治験事務局を設置し、必要時に治験審査委員会を開催しています。</li> <li>・ 日本内科学会講演会あるいは同地方会での学会発表を行っています。また、国内外の内科学会での学会発表にも積極的に取り組める環境があります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 指導責任者           | <p>杉田 浩</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>当院の臨床研修では県内トップクラスの外科系内科系指導医が揃っており、特に総合診療領域を生で実践してきた自治医科大学出身の常勤医師が在籍し研修指導の中心的役割を果たしています。</p> <p>病床数 254 床、常勤医師 58 名、初期臨床研修医 8 名の中規模病院で、いつでも気軽に他科に相談でき、看護師を始めとしたコメディカルとの連携もよく、救急車約 3,333 件/年、内視鏡検査約 6,356 件/年、手術約 1,442 件/年などの急性期医療に全員で対応しています。更に診療科問わず 24 時間体制管理の HCU 病床もあり、緩和ケア病棟、地域包括ケア病棟を備え、在宅医療支援診療所と連携し、終末期の入院・在宅医療、急性期の回復期医療、慢性期医療など幅広く学べる環境にあり医局の雰囲気は大変賑やかでアットホームです。</p>                                                                                                                                                                        |
| 指導医数<br>(常勤医)   | <p>日本内科学会総合内科専門医 5 名、日本内科学会認定内科医 8 名、<br/>日本消化器学会胃腸科認定医 1 名、日本消化器内視鏡学会指導医・専門医 1 名<br/>超音波学会認定医・指導医 1 名、検診マンモグラフィ読影認定医 1 名、<br/>日本プライマリ・ケア連合学会指導医・認定医 2 名、<br/>日本プライマリ・ケア連合学会認定医 1 名、日本医師会認定産業医 2 名、<br/>日本血液学会認定専門医・指導医 1 名、日本循環器学会循環器専門医 1 名、<br/>日本循環器学会認定循環器専門医 1 名、日本アレルギー学会専門医 2 名、ICD1 名、<br/>日本内分泌学会専門医(内科)1 名、日本糖尿病学会研修指導医 1 名、ほか</p>                                                                                                                                                                                                                                              |
| 外来・入院患者数        | <p>外来患者 2,983 名(内科系診療科のみ 1 ヶ月平均 延べ患者数)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| [2023 年度]       | 入院患者 3,011 名(内科系診療科のみ 1 ヶ月平均 延べ患者数)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 経験できる疾患群        | きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携などに加え緩和ケアも経験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 第二種感染症指定医療機関<br>肝疾患診療連携専門医療機関<br>エイズ治療協力病院<br>先進医療「内視鏡的大腸粘膜下層剥離術」届出医療機関<br>消化器がん検診精密検査医療機関<br>大腸がん検診精密検査実施協力医療機関<br>小児慢性疾患指定医療機関<br>特定疾患医療承認医療機関<br>結核指定医療機関<br>日本内科学会教育関連施設<br>日本消化器外科学会専門医修練施設<br>日本消化器病学会専門医制度認定施設<br>日本超音波医学会超音波専門医制度研修施設<br>日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設<br>日本肝臓学会認定施設<br>日本循環器学会循環器専門医研修関連施設<br>日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設<br>全国国民健康保険診療施設協議会・全国自治体病院協議会認定地域包括医療・ケア施設<br>総合診療専門研修プログラム認定施設<br>日本緩和医療学会認定研修施設<br>日本糖尿病学会認定教育施設 I |

中部徳洲会病院

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・中部徳洲会病院常勤医師として労務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(総務課職員担当および、外部委託機関)があります。</li> <li>・ハラスメント委員会が中部徳洲会病院に整備されています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 2) 専門研修プログラムの環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は3名在籍しています(下記)。</li> <li>・内科専攻医研修委員会を設置し、施設内で研修する専攻医の研修を管理し基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修委員会と卒後臨床研修室を設置します。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的開催(2024年度実績12回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催(2026年度予定)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPCを定期的開催(2024年度実績10回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンス(中部合同カンファレンス、年一回に「ゆんたく会」)を定期的開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医にJMECC受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に臨床研修センター(2026年度予定)が対応します。</li> <li>・特別連携施設(徳之島徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院)の専門研修では、電話や週1回の中部徳洲会病院での面談・カンファレンスなどにより指導医がその施設での研修指導を行います。</li> </ul> |
| 3) 診療経験の環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域13分野のうち全分野(少なくとも7分野以上)で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています(上記)。</li> <li>・70疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも35以上の疾患群)について研修できます(上記)。</li> <li>・専門研修に必要な剖検(2024年度実績4体、2023年度6体)を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 4) 学術活動の環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室などを整備しています。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的開催(2024年度実績12回)しています。</li> <li>・治験管理室を設置し、定期的受託研究審査会を開催(2024年度実績12回)しています。</li> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計3演題以上の学会発表(2026年度実績3演題)を発表予定しています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 指導責任者           | <p>轟 純平</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>中部徳洲会病院は、沖縄県中部医療圏の中心的な急性期病院であり、沖縄医療圏・近隣医療圏にある連携施設・特別連携施設とで内科専門研修を行い、地域医療にも貢献できる内科専門医を目指します。</p> <p>主担当医として、入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで経時的に、診断・治療の流れを通じて、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医になります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 指導医数<br>(常勤医)   | <p>日本内科学会指導医3名、日本内科学会総合内科専門医5名、<br/>日本神経学会神経内科専門医1名、<br/>日本循環器学会循環器専門日本リウマチ学会指導医1名、<br/>日本リウマチ医1名、医5名、日本血液学会血液専門医1名、<br/>日本リウマチ学会指導医1名、日本リウマチ学会専門医1名、<br/>日本救急医学会救急1名、ほか</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 外来・入院患者数        | <p>外来患者 5,300名(1ヶ月平均) 入院患者 5,769名(1ヶ月平均)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

|                 |                                                                                                                                                                   |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経験できる疾患群        | きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。                                                                                                      |
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                           |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。                                                                                                                  |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本内科学会教育支援(関連)病院認定施設<br>日本循環器学会専門医研修施設<br>日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設<br>日本集中治療医学会専門医研修施設<br>日本消化器病学会関連施設<br>日本血液学会認定専門研修教育施設<br>日本神経学会専門医制度准教育施設<br>消化器内視鏡学会指導連携認定施設など |

沖縄県立中部病院

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・沖縄県の規定に準じて労務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(総務課職員担当)があります。</li> <li>・ハラスメントを担当する委員会が沖縄県立中部病院に整備されています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 2) 専門研修プログラムの環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は 27 名在籍しています。</li> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会(統括責任者:喜舎場朝雄(医療部長), プログラム管理者:宮城唯良(循環器内科副部長)(ともに総合内科専門医かつ指導医)、内科研修委員会委員長:末田善彦)にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。</li> <li>・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修委員会と初期研修、他科のプログラムを含む全体研修全体を管理するハワイ大学中部病院卒後臨床研修プログラムの共同でプログラム運営します。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行う(2023 年度実績院内開催 1 回、2024 年度実績院内開催医療倫理 1 回、感染対策 2 回、医療安全 2 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に行う(2024 年度実績 1 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンス(別紙参照)を定期的に行い、専攻医に受講を促し、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講(2024 年度開催実績 1 回:受講者 6 名)を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に臨床研修センターが対応します。</li> <li>・特別連携施設の専門研修では、電話やカンファレンスの配信、インターネットなどにより指導医がその施設での研修指導を行います。</li> </ul> |
| 3) 診療経験の環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています(上記)</li> <li>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも 56 以上の疾患群)について研修できます(上記)。</li> <li>・専門研修に必要な剖検(2022 年度実績 1 体、2023 年度 8 体、2024 年度実績 4 体)を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 4) 学術活動の環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室、写真室などを整備しています。</li> <li>・研究倫理審査委員会を設置し、定期的に行う(2023 年度実績 1 回※迅速審査 2024 年度実績 41 件)し、臨床研究内容の審査などを行っています。</li> <li>・治験管理室を設置し、定期的に行う治験審査委員会を開催(2024 年度実績 4 回)しています。</li> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 12 演題、その他内科系学会にて計 10 演題(研修医が筆頭演者または筆頭著者は計 7 件)発表を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 指導責任者           | <p>喜舎場 朝雄</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>縄県立中部病院は、沖縄県中部医療圏の中心的な急性期病院であり、歴史的に、連携施設である、沖縄県立北部、宮古、八重山病院と深く連携し、救急、総合内科的研修を中心とした研修を行い、多くの総合内科専門医を輩出してきました(沖縄県の総合内科専門医の約 1/3 弱が当院での初期、または後期研修経験者です)。「Specialist である前に良き generalist であれ」を合言葉に、内科専攻医を育てます。幅広く内科全般を学びたい研修医に適した病院です。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 指導医数<br>(常勤医)   | <p>日本内科学会指導医 27 名、日本内科学会総合内科専門医 18 名<br/>日本消化器病学会消化器専門医 6 名、日本肝臓学会専門医 4 名、<br/>日本循環器学会循環器専門医 5 名、日本糖尿病学会専門医 1 名、</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                       | 日本腎臓病学会専門医 5 名, 日本呼吸器学会呼吸器専門医 2 名,<br>日本血液学会血液専門医 1 名, 日本神経学会神経内科専門医 2 名,<br>日本リウマチ学会専門医 5 名, 日本感染症学会専門医 1 名,<br>日本救急医学会救急科専門医 6 名ほか                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 外来・入院患者数<br>[2022 年度] | 外来患者 7,267 名(1 ヶ月平均)<br>入院患者 521 名(1 ヶ月平均)内科のみの人数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 経験できる疾患群              | きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 経験できる技術・技能            | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 経験できる地域医療・診療連携        | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 学会認定施設<br>(内科系)       | 日本呼吸器学会認定施設<br>日本消化器病学会専門医制度認定施設<br>日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設<br>日本循環器学会循環器専門医研修施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修施設<br>日本脈管学会認定研修指定施設<br>日本腎臓学会研修施設<br>日本透析医学会専門医制度認定施設<br>日本リウマチ学会教育施設<br>日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関<br>日本 IVR 学会専門医修練施設<br>日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設<br>日本認知症学会専門医制度教育施設<br>日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学専門医研修施設<br>日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設<br>日本神経学会専門医制度准教育施設<br>日本病理学会病理専門医制度研修認定施設(B)<br>日本臨床細胞学会教育研修施設<br>日本静脈経腸栄養学会 NST 専門療法士実地修練認定教育施設<br>日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設<br>日本栄養療法推進協議会 NST 稼働施設<br>卒後臨床研修評価機構認定 |

社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(衛生委員会および産業医)があります。</li> <li>・ハラスメント委員会(セクシャルハラスメントパワーハラスメント等)が整備されています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、女性専用の更衣室(休憩室)、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・近隣に法人運営の保育施設があります。また、隣接する同法人クリニック内にある院内保育所で病児保育も可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 2) 専門研修プログラムの環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は 11 名在籍しています。</li> <li>・内科専門研修プログラム管理委員会にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。</li> <li>・基幹施設内で研修する専攻医の研修を管理する、内科専門研修委員会を設置します。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催(2024 年度実績:医療安全 2 回、感染対策 2 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に開催(2024 年度実績:6 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンス(2024 年度実績:救急症例検討会 3 回)を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・特別連携施設の専門研修では、症例指導医とハートライフ病院の担当指導医が連携し研修指導を行います。なお、研修期間中はハートライフ病院の担当指導医による定期的な電話や訪問での面談・カンファレンスなどにより研修指導を行います。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に臨床研修センターが対応します。</li> </ul> |
| 3) 診療経験の環境            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野(少なくとも 7 分野以上)で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・専門医の常勤がない内分泌、代謝、腎臓、神経、膠原病、感染疾患は救急病院であることから少なからず経験することが出来ます。</li> <li>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群について研修できます。</li> <li>・専門研修に必要な剖検(2024 年度実績:5 件)を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 4) 学術活動の環境            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理委員会を設置し、定期的に開催しています。</li> <li>・治験管理室を設置し、定期的に受託研究審査会を開催しています。</li> <li>・日本内科学会学術総会あるいは同地方会に年間で計 3 演題以上の学会発表(2024 年度実績:5 回)をしています。また、専攻医が国内・国外の学会に参加、発表する機会があります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 指導責任者                 | <p>秋元 芳典</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>ハートライフ病院は 308 床の急性期病院であり、幅広い内科疾患を経験することができます。中でも消化器、循環器疾患については症例数、指導医ともに充実しています。消化器領域では肝臓領域の患者数が多く、肝がんの症例に対するラジオ波焼灼療法などは沖縄でも多くの症例を行っています。循環器では ECMO を含め、救急と共に急性期症例の経験を行うことができます。また、2025 年度より総合診療専門研修プログラムを立ち上げ、総合内科を中心に内科を幅広く学ぶ教育にも力を入れています。内科の基礎から応用まで研修できるシステムで先生方を迎えたいと考えています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 指導医数<br>(常勤医)         | <p>日本内科学会指導医 11 名、日本内科学会総合内科専門医 5 名、<br/>日本循環器学会循環器専門医 4 名、日本肝臓学会肝臓専門医 2 名、<br/>日本感染症学会専門医 2 名、日本消化器病学会専門医 7 名、<br/>日本消化器内視鏡学会専門医 5 名、日本救急医学会救急科専門医 1 名</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 外来・入院患者数<br>[2024 年度] | <p>外来患者 2,566 名(内科系診療科のみ 1 ヶ月平均 延べ患者数)<br/>入院患者 3,587 名(内科系診療科のみ 1 ヶ月平均 延べ患者数)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

|                 |                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経験できる疾患群        | きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。                                                                                                                                                     |
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                          |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 2 次救急指定病院としての急性期医療だけではなく、超高齢社会に対応した地域に根差した医療、地域医療支援病院としての病診・病病連携なども経験できます。                                                                                                                                       |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br>日本感染症学会研修施設<br>日本呼吸器学会関連施設<br>日本消化器病学会専門医制度認定施設<br>日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設<br>日本肝臓学会認定施設<br>日本透析医学会教育関連施設<br>日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設<br>日本救急医学会救急科専門医指定施設<br>日本病院総合診療医学会認定施設<br>日本アレルギー学会専門医準教育研修施設 |

中頭病院

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・ 研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・ メンタルストレスに適切に対処する部署があります。(健康サポートセンター)</li> <li>・ ハラスメント委員会が整備されています。</li> <li>・ 女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・ 近隣に保育所があり、利用可能です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 2) 専門研修プログラムの環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導医 20 名在籍しています(下記)</li> <li>・ 内科専門研修プログラム管理委員会(統括責任者(副院長)、プログラム管理者(副院長)にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。</li> <li>・ 医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催(2022 年実績 6 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。(2023 年度実績 1 回)</li> <li>・ CPC を定期的に開催(2023 年度実績 7 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 地域参加型のカンファレンス(基幹施設:・NC(中頭病院と地域のクリニック)連携セミナー、消防合同カンファレンスを定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 日本専門医機構による施設実地調査に臨床教育開発研修センターが対応します。</li> <li>・ 特別連携施設での専門研修では、中頭病院担当指導医と連携をとり、定期的な面談・カンファレンスなどにより指導医がその施設での研修指導を行います。</li> </ul> |
| 3) 診療経験の環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・ 70 疾患群のうちほぼ全疾患群について研修できます。</li> <li>・ 専門研修に必要な剖検を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 4) 学術活動の環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨床研究に必要な図書室などを整備しています。</li> <li>・ 倫理委員会を設置し、定期的に開催しています。</li> <li>・ 治験管理室を設置し、定期的に開催しています。</li> </ul> <p>日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 3 演題以上の学会発表を目標にしています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 指導責任者           | <p>新里 敬</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>中頭病院は、中部医療圏の中心的な急性期病院であり、沖縄県全医療圏、県外(東京都、茨城県、大阪府、京都府、福岡県)の 15 医療機関と連携施設、特別連携施設を組んでいます。特徴としては、都市部、その近郊、へき地、離島を網羅しており、地域の実情に合わせた多様な研修を積むことが可能です。</p> <p>主担当医として、外来、入院から退院まで、診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を学び経験し、専門内科医への成長に繋がる研修ができるものと確信しております。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 指導医数<br>(常勤医)   | <p>内科学会指導医 20 名、総合内科専門医 19 名、内科専門医 3 名、呼吸器専門医 5 名、循環器専門医 3 名、糖尿病学会専門医 2 名、消化器専門医 9 名、消化器内視鏡専門医 9 名、腎臓病学会専門医 6 名、透析専門医 3 名、血液専門医 4 名、神経内科専門医 1 名、感染症学会専門医 2 名、肝臓専門医 3 名、集中治療専門医 2 名、救急科専門医 7 名、他</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 外来・入院患者数        | <p>外来患者数 5,611 名(内科延べ患者数:1 ヶ月平均)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| [2022 年度]       | 入院患者数 5、263 名(内科延べ患者数:1 ヶ月平均)                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 経験できる疾患群        | きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 経験できる技術・技能      | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 経験できる地域医療・診療連携  | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 学会認定施設<br>(内科系) | 日本内科学会内科専門研修基幹施設、日本呼吸器学会認定施設<br>日本循環器学会循環器専門医研修施設、日本腎臓学会認定教育施設<br>日本糖尿病学会教育関連施設、日本消化器病学会認定施設<br>日本消化器内視鏡学会指導施設、日本肝臓学会関連施設<br>日本高血圧学会高血圧研修施設、日本感染症学会研修施設<br>日本透析医学会認定施設、救急科専門研修連携施設<br>日本血液学会認定専門研修認定施設、日本集中治療医学会専門研修施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本臨床栄養代謝学会 NST 稼働施設、<br>日本心血管インターベンション治療学会研修施設<br>日本病院総合診療医学会認定施設、など |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・常勤医師として勤務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(職員健康管理室)があります。</li> <li>・ハラスメント防止委員会が院内に整備されています。</li> <li>・専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・敷地内に院内保育園があります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 2) 専門研修プログラムの環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は 44 名在籍しています。</li> <li>・当院にて研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修管理委員会と人材開発室を設置します。また、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・CPC を定期的に開催(2023 年度実績 5 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・地域参加型のカンファレンス(基幹施設:胸部 X 線を読み解く会、熊本消化器カンファレンス、熊本消化器画像診断研究会、済生会熊本病院緩和ケア研修会等)を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講(2023 年度開催実績 2 回:受講者 10 名)を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・日本専門医機構による施設実地調査に人材開発室が対応します。</li> </ul> |
| 3) 診療経験の環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち少なくとも 9 分野以上で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・70 疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも 50 以上の疾患群)について研修できます。</li> <li>・専門研修に必要な剖検(2021 年度:5 体、2022 年度:4 体、2023 年度:1 体)を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 4) 学術活動の環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な図書室などを整備しています。</li> <li>・医療倫理委員会を設置し、定期的に開催しています。</li> <li>・治験事務局を設置し、定期的に治験審査委員会を開催しています。</li> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 3 演題以上の学会発表をしています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 指導責任者           | <p>一門 和哉</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>熊本県熊本医療圏にあり、救命救急センターを有する急性期病院である当院を基幹施設とし、熊本県を中心に福岡県、沖縄県、神奈川県、香川県にある連携施設で構成されています。</p> <p>救命救急センターを有する当院では、重症・救急患者はもちろん、コモンディージーズから複数の病態を持つ患者の診療など幅広く経験を積むことができます。併せて、様々なキャリアや資格を有する指導医が多数在籍しているため、サブスペシャリティ領域まで踏み込んだ専門的な知識・技術も修得することができます。</p> <p>また、地域における急性期病院であるため、それぞれの役割を担う施設との病病連携や病診連携も多数経験します。</p> <p>当院では、医師のみならず、各職種が専門性を発揮しながら診療にあたります。内科系・外科系問わず各診療科の垣根も低く、複数の診療科、多職種にて行われるチーム医療は自慢できる特徴の一つです。</p> <p>連携施設においては、立場や地域における役割が異なる医療機関で研修を行うことにより、内科専門医に求められる役割を実践します。</p> <p>これらの経験・実践を通し、環境に応じて求められる内科専門医の役割を果たすことができ、必要に応じた可塑性のある幅広い内科専門医を養成します。</p>           |
| 指導医数<br>(常勤医)   | 日本内科学会総合内科専門医 44 名、日本消化器病学会消化器専門医 12 名、日本消化器内視鏡学会 11 名、日本循環器学会循環器専門医 23 名、                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                       | 日本腎臓学会専門医 3 名、日本呼吸器学会呼吸器専門医 15 名、<br>日本血液学会血液専門医 2 名、日本神経学会神経内科専門医 7 名、<br>日本感染症学会専門医 3 名、日本糖尿病学会専門医 1 名、<br>日本肝臓学会専門医 4 名、日本臨床腫瘍学会専門医 5 名、ほか                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 外来・入院患者数<br>[2023 年度] | 総外来患者数(実数): 140,773 名<br>総入院患者数(実数): 133,125 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 経験できる疾患群              | きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 12 領域、70 疾患群の症例を<br>幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 経験できる技術・技能            | 技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅<br>広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 経験できる地域医療・診<br>療連携    | 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経<br>験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 学会認定施設<br>(内科系)       | 日本消化器病学会認定医制度認定施設<br>日本消化器内視鏡学会認定指導施設<br>日本消化管学会胃腸科指導施設<br>日本集中治療医学会専門医研修施設<br>日本循環器学会循環器専門医研修施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修施設(CVIT)<br>日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設<br>日本脈管学会認定研修指定施設<br>日本内分泌・甲状腺外科専門医制度認定施設<br>日本呼吸器内視鏡学会認定施設<br>日本腎臓学会研修施設<br>日本透析医学会認定医制度認定施設<br>日本腹膜透析医学会認定 CAPD 教育研修機関<br>日本急性血液浄化学会認定指定施設<br>日本神経学会専門医制度教育施設<br>日本脳卒中学会認定研修教育病院<br>日本脳卒中学会 一次脳卒中センター(PSC)<br>日本脳卒中学会 一次脳卒中センター(PSC)コア施設<br>日本感染症学会研修施設<br>日本糖尿病学会認定教育施設 I<br>日本肝臓学会認定施設<br>日本がん治療認定医機構認定研修施設<br>日本血液学会認定専門研修教育施設<br>日本臨床腫瘍学会認定研修施設<br>日本緩和医療学会<br>日本臨床細胞学会認定施設<br>日本臨床細胞学会教育研修施設<br>日本臨床栄養代謝学会 NST 稼働施設 など |

一般社団法人巨樹の会新武雄病院

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1)専攻医の環境              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・ 研修に必要な図書室とインターネット環境(有線 LAN、Wi-Fi)があります。</li> <li>・ 新武雄病院専攻医として勤務環境が保障されています。</li> <li>・ メンタルストレスに適切に対処する部署およびハラスメント窓口があります。</li> <li>・ 女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> </ul>                                  |
| 2)専門研修プログラムの環境        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ CPC を定期的に行い(2023 年実績 2 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 特別連携施設の専門研修では、症例指導医と飯塚病院の担当指導医が連携し研修指導を行います。なお、研修期間中は飯塚病院の担当指導医による定期的な電話や訪問での面談・カンファレンスなどにより研修指導を行います。</li> </ul>                 |
| 3)診療経験の環境             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち限られた分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・ 専門研修に必要な剖検を行っています。</li> </ul>                                                                                                                                                                        |
| 4)学術活動の環境             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨床研究に必要な図書室などを整備しています。</li> <li>・ 倫理委員会を設置し、定期的に行っています。</li> <li>・ 日本内科学会講演会あるいは同地方会での学会発表を行っています。また、国内外の内科系学会での学会発表にも積極的に取り組める環境があります。</li> </ul>                                                                                                                    |
| 指導責任者                 | <p>藤田 博正</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>飯塚病院内科専門研修プログラムを通じて、プライマリ・ケアから高度急性期医療、地方都市から僻地・離島の全ての診療に対応できるような能力的基盤を身に付けることができます。米国ピッツバーグ大学の教育専門医と、6 年間に亘り共同で医学教育システム作りに取り組んだ結果構築し得た、教育プログラムおよび教育指導方法を反映した研修を行います。専攻医の皆さんの可能性を最大限に高めるための「価値ある」内科専門研修プログラムを作り続ける覚悟です。将来のキャリアパスが決定している方、していない方、いずれに対しても価値のある研修を行います。</p> |
| 指導医数<br>(常勤医)         | <p>日本循環器学会循環器専門医 1 名</p> <p>日本救急医学会専門医 1 名</p>                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 外来・入院患者数<br>[2023 年度] | <p>外来患者 11,999 名</p> <p>入院患者 3,516 名</p>                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 経験できる疾患群              | <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域の中で限られた症例を幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                             |
| 経験できる技術・技能            | <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 経験できる地域医療・診療連携        | <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 学会認定施設<br>(内科系)       | <p>日本脳神経外科学会連携施設</p> <p>日本外科学会外科専門医制度関連施設</p> <p>日本整形外科学会認定整形外科専門医研修施設</p> <p>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設</p> <p>日本静脈経腸栄養学会・NST 稼働施設</p> <p>日本脳卒中学会 1 次脳卒中センター認定施設</p> <p>日本消化器外科学会認定関連施設</p> <p>日本麻酔科学会麻酔科認定施設</p> <p>日本病理学会研修登録施設</p> <p>日本医学放射線学会画像診断管理認定施設</p> <p>日本呼吸器学会認定関連施設</p> <p>日本脊髄外科学会認定訓練施設</p>          |

|  |                    |
|--|--------------------|
|  | 日本病院総合診療医学会認定施設 など |
|--|--------------------|

南砺市民病院

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境             | <p>当院は平成21年度より初期臨床研修制度における基幹型研修指定病院です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医局内に共用のインターネット接続端末が用意されています。また、個人所有端末を無線接続してインターネットを利用することも可能です。</li> <li>・一定の研修期間を越える場合は常勤医師として勤務環境が保障されます。</li> <li>・定期的に指導医と面談する機会を設け、必要に応じて基幹施設とメンタルストレスに対し適切な対処を図ります。</li> <li>・ハラスメント行為についての相談方法が定められており、衛生委員会が対応するよう取扱いが整備されています。</li> <li>・女性医師が安心して勤務できるよう、休憩室、更衣室、当直室が整備されています。</li> <li>・敷地内に院内保育所を開設しており、利用することが可能です。</li> </ul>                                                                                                         |
| 2) 専門研修プログラムの環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医が2名在籍しています。</li> <li>・内科専攻医研修委員会を設置して施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策に関する職員講習会を定期的に開催しており、専攻医が参加するために勤務に配慮を行っています。(開催実績: 医療倫理 6 回・医療安全 2 回・感染対策 2 回)</li> <li>・基幹施設が開催する研修施設群合同カンファレンスに参加するために、専攻医の勤務に配慮を行っています。</li> <li>・院内にて CRC が開催される際には専攻医にも参加を求めています。また当院での研修期間内に基幹施設にて CRC が開催される場合には参加できるよう勤務に配慮を行っています。</li> <li>・地域の抱える問題について話し合い取り組みを進める住民参加の「南砺の地域医療を守り育てる会」や医師会との情報共有と円滑な病診連携を図るため開催されている「南砺連携の会」へ参加するために、専攻医の勤務に配慮を行っています。</li> </ul> |
| 3) 診療経験の環境            | カリキュラムに示す内科 13 領域のうち総合内科・消化器・循環器・代謝・腎臓・呼吸器・血液・神経・感染症・救急の分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 4) 学術活動の環境            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に必要な臨床教育・研究センター室などを整備しています。</li> <li>・倫理委員会を設置し、定期的に開催しています。</li> <li>・治験管理室を設置し、定期的に受託研究審査会を開催しています。</li> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会での学会発表を行っています。また、国内外の内科系学会での学会発表にも積極的に取り組める環境があります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 指導責任者                 | <p>院長 清水幸裕</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>当院は南砺市の医療を担う中核病院であり、連携施設として肺炎、脳卒中、心不全などの common disease から専門的疾患(特に呼吸器、血液、肝疾患、糖尿病など)救急疾患まで広く深く、EBM に基づいた確かな医療を研修する事ができます。また当地は地域包括ケアを早くから実践しており、住民に寄りそった暖かな医療を提供できる医師、主治医として全人的な医療を実現、指導出来る専門医を育てるべく教育しています。また、法律や倫理の専門家を交えた倫理コンサルテーション委員会を立ちあげ、臨床的には解決の困難な、倫理的、社会的問題について、患者さんの自覚意志を尊重した、御本人にとってより良い答えが出せるように、多職種で検討が出来る機会を日常的に提供しています。</p>                                                                                                                                                      |
| 指導医数<br>(常勤医)         | 日本内科学会指導医 2 名, 日本内科学会総合内科専門医 4 名,<br>日本消化器病学会消化器病専門医 1 名, 日本呼吸器学会呼吸器専門医 1 名,<br>日本糖尿病学会専門医 1 名, 日本アレルギー学会専門医(内科) 1 名,<br>日本肝臓学会専門医 1 名, 日本血液学会専門医 1 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 外来・入院患者数<br>[2023 年度] | 外来患者 3,000 名(内科系診療科のみ 1 ヶ月平均 延べ患者数)<br>入院患者 160 名(内科系診療科のみ 1 ヶ月平均 延べ患者数)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 経験できる疾患群              | 稀な疾患を含めて研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域のうち、10 領域 51 疾患群の症例を経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 経験できる技術・技能            | 技術・機能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

|                         |                                                                                                                                                                                            |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p>   | <p>急性期医療だけでなく、これからの高齢化社会に対応できる、地域に根ざした医療、病診・病院連携を経験できます県内でも特に高齢化の進む地域における中核病院として、急性期の初期対応から回復期を経ての在宅復帰まで担うことができ、また近隣の療養型病院や同施設内にある訪問看護ステーションなどとの連携により進んだ地域医療にふれることで、全人的医療を経験することができます。</p> |
| <p>学会認定施設<br/>(内科系)</p> | <p>日本内科学会認定医制度教育関連病院<br/>日本腎臓学会研修施設<br/>日本糖尿病学会認定教育施設<br/>日本プライマリ・ケア連合学会研修施設<br/>日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼動施設<br/>地域包括医療・ケア認定施設 など</p>                                                            |

徳之島徳洲会病院

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境             | <p>・初期医療研修における地域医療研修施設です。</p> <p>・研修に必要な医局図書室とインターネット環境(Wi-Fi)があります。</p> <p>・徳之島徳洲会病院非常勤医師として勤務環境が保障されています。</p> <p>・メンタルストレスに適切に対処する部署(事務室職員担当および産業医)があります。</p> <p>・ハラスメント委員会(職員暴言・暴力担当窓口)が〇〇ホスピタル内に設置されています。</p> <p>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、シャワー室、当直室が整備されています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 2) 専門研修プログラムの環境       | <p>・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。</p> <p>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</p> <p>・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参加し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</p> <p>・基幹施設である中部徳洲会病院で行うCPC、もしくは日本内科学会が企画するCPCの受講を専攻医に義務付け、そのための時間的余裕を与えています。</p> <p>・地域参加型のカンファレンス(呼吸器研究会、循環器研究会、消化器病研究会)は基幹病院および沖縄県中部地区医師会が定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えています。</p>                                                                                                                                                                                                                                 |
| 3) 診療経験の環境            | <p>カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、総合内科、消化器、呼吸器、神経、および救急の分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。救急の分野については、高度ではなく、一次・二次の内科救急疾患、より一般的な疾患が中心となります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 4) 学術活動の環境            | <p>日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表(2014 年度実績 0 演題)を予定しています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 指導責任者                 | <p>田代 篤史</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>徳之島は、100 歳以上の高齢者の割合と合計特殊出生率が高く、出産数年間 200 件近い島内唯一の周期施設であり、24 時間 365 日在宅でのお看取りにも対応しています。徳洲会の理念「断らない救急」のもと、年間救急搬送 1100 台を超える救急医療とそれに続く急性期医療、年間約 40 件に及ぶ島外へ搬送にも対応し、徳之島における医療の最前線かつ最終拠点を担っています。外来では地域の内科病院として、内科一般および専門外来の充実に努め、健診・ドックの充実に努めています。</p> <p>医療療養病床としては、①急性期後の慢性期・長期療養患者診療、②慢性期患者の在宅医療(自宅・施設)復帰支援を行う一方、③外来からの急性疾患患者の入院治療・在宅復帰、④在宅患者(自院の在宅患者、および連携医療機関の在宅患者)の入院治療・在宅復帰、に力を注いでいます。</p> <p>在宅医療は、医師4名による訪問診療と往診をおこなっています。病棟・外来・訪問看護・併設居宅介護支援事業所との連携のもとに実施しています。</p> <p>病棟では医師を含め各職種が協力してチーム医療をおこない、各医師・各職種および家族を含めたカンファレンスを実施し治療の方向性、在宅療養の準備を進め、外来・在宅担当医師・スタッフへとつないでいます。</p> |
| 指導医数<br>(常勤医)         | <p>日本内科学会指導医 0 名、日本内科学会総合内科専門医 1 名</p> <p>日本循環器学会循環器専門医 1 名 ほか</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 外来・入院患者数<br>[2023 年度] | <p>外来患者 7,008 名(1ヶ月平均)</p> <p>入院患者 106 名(1日平均)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 経験できる疾患群              | <p>研修手帳にある 13 領域、70 疾患群の症例については、高齢者・慢性長期療養患者の診療を通じて、広く経験することとなります。複数の疾患を併せ持つ高齢者の治療・全身管理・今後の療養方針の考え方などについて学ぶことができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 経験できる技術・技能            | <p>内科専門医に必要な技術・技能を、療養病床であり、かつ地域の内科単科の病院という枠組みのなかで、経験していただきます。</p> <p>健診・健診後の精査・地域の内科外来としての日常診療・必要時入院診療へ繋ぐ流れ、急性期をすぎた療養患者の機能の評価(認知機能・嚥下機能・排泄機能などの評価)、複数</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                       | <p>の疾患を併せ持つ高齢者の診療について、患者本人のみならず家族とのコミュニケーションの在り方・かかりつけ医としての診療の在り方。</p> <p>嚥下機能評価(嚥下造影にもとづく)および口腔機能評価(歯科医師によります)による、機能に見合った食事の提供と誤嚥防止への取り組み。</p> <p>褥創についてのチームアプローチ。</p>                                                                                                                                                                                  |
| <p>経験できる地域医療・診療連携</p> | <p>入院診療については、急性期病院から急性期後に転院してくる治療・療養が必要な入院患者の診療。残存機能の評価、多職種および家族と共に今後の療養方針・療養の場の決定と、その実施にむけた調整。</p> <p>在宅へ復帰する患者については、地域の内科病院としての外来診療と訪問診療・往診、それを相互補完する訪問看護との連携、ケアマネージャーによるケアマネジメント(介護)と、医療との連携について。</p> <p>地域においては、連携している有料老人ホームにおける訪問診療と、急病時の診療連携、連携型在宅療養支援診療所群(6 医療機関)の在宅療養支援病院としての入院受入患者診療。地域の他事業所ケアマネージャーとの医療・介護連携。</p> <p>地域における産業医・学校医としての役割。</p> |

沖縄県立八重山病院

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット環境が整っていて、UpToDate・Clinical Key が自由に使えます。</li> <li>・中部病院のハワイ大学図書室から無料で文献コピーの取り寄せができます。</li> <li>・おおむね年3-4回の学会出張旅費を支給します。</li> <li>・過重労働のチェックをしており、個別に対策しています。</li> <li>・女性医師専用の更衣室・シャワーが準備されています。</li> </ul>                                         |
| 2) 専門研修プログラムの環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医は7名在籍しています。</li> <li>・管理職以外は研修医を含めて全医師が同じ部屋に席があり相談・指導が受けやすい環境です。</li> <li>・毎朝の内科ミーティングで全内科医師が出席して症例検討・入院患者紹介をしています。</li> <li>・毎水曜日は内科・外科合同画像カンファレンスをしています。</li> <li>・精神科を含めて各科対診体制は整っており、迅速な対応・指導が受けられます。</li> <li>・基本的に初療にかかわった症例の担当医になります。</li> </ul> |
| 3) 診療経験の環境            | 地域に一つの総合病院で、内科領域の疾患については偏りなく経験することができ、特に初診・救急の初療から診断・治療・時には看取りまで一貫して経験することができます。                                                                                                                                                                                                                   |
| 4) 学術活動の環境            | ・日本内科学会地方会には年間 3-4 件の発表をしており、多種の学会での発表を奨励しています。                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 指導責任者                 | <p>吉嶺 厚生</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>本島から 400 km と離れた環境に唯一の総合病院で、周辺離島や島内無医地区の患者も担当しており、入院から退院・外来まで継続的に診療することができます。社会的背景・療養環境を含めた全人的・継続的療養支援が経験できます。</p>                                                                                                                                           |
| 指導医数<br>(常勤医)         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本内科学会総合内科専門医 7 名</li> <li>・日本呼吸器学会専門医 3 名</li> <li>・日本循環器病学会循環器専門医 1 名</li> <li>・日本消化器学会専門医 1 名</li> <li>・日本腎臓学会腎臓専門医 0 名</li> </ul>                                                                                                                      |
| 外来・入院患者数<br>[2023 年度] | <p>外来患者(3159 名)</p> <p>入院患者(2918 名)※ともに 1 ヶ月平均(内科の人数)</p>                                                                                                                                                                                                                                          |
| 経験できる疾患群              | 内科全領域の1次・2次医療患者を偏りなく経験でき、総合内科医研修に求められる症例の経験をすることができます。                                                                                                                                                                                                                                             |
| 経験できる技術・技能            | 内科専門医に必要な技術・技能を幅広く経験できます。                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 経験できる地域医療・診療連携        | 内科急性期医療全般に加えて、慢性疾患・超高齢者・緩和ケア・終末期医療を経験できる。地域施設との連携・終末期在宅医療・離島医療・在宅医療について直接担当することができます。                                                                                                                                                                                                              |

名瀬徳洲会病院

|                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 専攻医の環境            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期医療研修における地域医療研修施設です。</li> <li>・研修に必要な医局図書室とインターネット環境(Wi-Fi)があります。</li> <li>・名瀬徳洲会病院非常勤医師として勤務環境が保証させています。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(事務室職員担当及び産業医)があります。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室・更衣室・シャワー室・当直室が整備されています。</li> <li>・院内託児所設置(8:30～17:00)利用可能です。</li> </ul>                                                           |
| 2) 専門研修プログラムの環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・内科専攻医研修医委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。</li> <li>・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的(年2回)に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・研修施設群合同カンファレンス(2024年度予定)を定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・基幹施設である名古屋徳洲会総合病院で行うCPCもしくは日本内科学会が企画するCPCの受講を専攻医に義務付け、そのための時間的余裕を与えています。</li> </ul>                  |
| 3) 診療経験の環境           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムに示す内科医領域13分野のうち、総合内科・消化器・呼吸器・神経及び救急の分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。救急の分野については、高度ではなく、一次・二次の内科救急疾患、より一般的な疾患が中心となります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                               |
| 4) 学術活動の環境           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計1演題以上の学会発表を予定しています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 指導責任者                | <p>平島 修</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名瀬徳洲会病院は奄美大島という日本で沖縄に続いて2番目に大きい有人離島の医療圏約4万人の奄美市にある約300床の病院です。当院内科は救急車を受け入れる救急医療を含む一般医療から療養・リハビリ・地域包括ケア病床更には訪問診療から看取りまであらゆる医療体制を同時に行っております。また、僻地という特性から各専門内科医の常駐医が不在で一般内科で専門外来の知識が必要となることも多々あります。専門医療を含め病院間の協力のもと奄美大島全体で医療のあり方を考えていく必要があり、専門疾患から医療の本質を問う課題まで様々なケースを指導医と学ぶことができます。</li> </ul>  |
| 指導医数<br>(常勤医)        | <p>日本内科学会指導医1名</p> <p>日本内科学会総合内科専門医1名</p> <p>日本内科学会専門医1名</p> <p>日本内科学会循環器内科専門医1名</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 外来・入院患者数<br>[2023年度] | <p>外来患者 8,091名(1か月平均)</p> <p>入院患者 291.8日(1日平均)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 経験できる疾患群             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修手帳にある13領域・70疾患群の症例については、高齢者・慢性期療養患者の診療を通じて、広く経験することとなります。複数の疾患を併せ持つ高齢者の治療・全身管理・今後の療養方針の考え方などについて学ぶことができます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                        |
| 経験できる技術・技能           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・内科専門医に必要な技術・技能を急性期・療養型でかつ基幹病院という枠組みのなかで、経験していただきます。</li> <li>・健診・健診後の精査・地域の内科外来としての日常診療・必要時入院診療へ繋ぐ流れ。</li> <li>・急性期をすぎた療養患者の機能の評価(認知機能・嚥下機能・排泄機能などの評価)、複数の疾患を併せ持つ高齢者の診療について、患者本人のみならず家族とのコミュニケーションの在り方・かかりつけ医としての診療の在り方。</li> <li>・嚥下機能評価(嚥下造影にもとづく)及び口腔機能評価(歯科医師によります)による、機能に見合った食事の提供と誤嚥防止への取り組み、褥瘡についてのチームアプローチ。</li> </ul> |
| 経験できる地域医療・診療連携       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院診療については、急性期や回復期または、他施設から転院してくる治療・療養が必要な入院患者の診療、残存機能の評価、多職種及び家族と共に今後の療養方針・療養の場の決定とその実施に向けた調整。</li> <li>・在宅へ復帰する患者については、地域の基幹病院としての外来診療と訪問診療・往診、それを相互補完する訪問看護との連携、ケアマネージャーによるケアマネジメント(介護)と、医</li> </ul>                                                                                                                        |

|  |                                                                                                                                                                                           |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>療との連携について。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域においては、連携している有料老人ホームや老健などにおける訪問診療と、急病時の診療連携、他施設からの入院受入患者診療、地域の他事業所ケアマネージャーとの医療・介護連携。</li> <li>・地域における産業医・学校医としての役割。</li> </ul> |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期医療研修における地域医療研修施設です。</li> <li>・研修に必要な医局図書室とインターネット環境(Wi-Fi)があります。</li> <li>・頤田病院医師として勤務環境が保障されています。</li> <li>・メンタルストレスに適切に対処する部署(事務室職員担当および産業医)があります。</li> <li>・ハラスメントに関する窓口が設置されています。</li> <li>・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室・更衣室・シャワー室・当直室が整備されています。</li> <li>・年休消化の進捗管理、業務カバー体制、職員向け病児保育室があり、ワーク・ライフ・バランスを組織的に支援しています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                     |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。</li> <li>・基幹施設で行う研修施設群合同カンファレンス(2017 年度予定)に定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・基幹施設である飯塚病院で行う CPC(2014 年度実績 5 回)、もしくは日本内科学会が企画する CPC の受講を専攻医に義務付け、そのための時間的余裕を与えています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>3)診療経験の環境</p>      | カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、総合内科・消化器・呼吸器・神経および救急の分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。救急の分野については、高度ではなく、一次・二次の内科救急疾患、より一般的な疾患が中心となります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | 日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表(2014 年度実績 0 演題)を予定しています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 指導責任者                                        | <p>頤田病院 院長 本田宜久<br/>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>頤田病院は福岡県嘉飯山医療圏の飯塚市北端にあり、1954 年の創立以来、地域医療に携わる、ケアミックス型の病院です。理念は「We Deliver the Best」であり、元々公設病院でありましたが、2008 年に医療法人博愛会に委譲されてからは、民間ならではの質改善と安定供給を重視した地域医療の提供に努めて参りました。</p> <p>家庭医療／総合診療専門医プログラムの研修施設でもあり、家庭医と共に家庭医療センターではあらゆる性別・年齢・主訴に対応するプライマリ・ケアの外来を、一般病床および回復期病床では亜急性期ケア・リハビリテーション・社会調整を、在宅医療センターでは地域包括ケアを実践・研修することができ、内科や家庭医療の専門医より指導を受けられます。</p> <p>海外交流も積極的に行っており、米国ピッツバーグ大学メディカルセンターやシンガポール国立大学からインスピレーションを受けた Integrated Health Care System を筑豊地域で構築することで、特に飯塚病院で急性期内科治療を終えた高齢者を対象とした病棟・外来・在宅とシームレスに繋がる地域医療体制の提供を目指しています。</p> |
| 指導医数<br>(常勤医)                                | 日本内科学会指導医 0 名、日本内科学会総合内科専門医 0 名<br>日本神経学会神経内科専門医 0 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 外来・入院患者数                                     | 外来患者 120 名(1 ヶ月平均) 入院患者 88 名(1 日平均)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 病床                                           | 96 床(回復期病棟 28 床 一般病棟 32 床 地域包括ケア病棟 36 床)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 経験できる疾患群                                     | 研修手帳にある 13 領域、70 疾患群の症例については、高齢者・慢性長期療養患者の診療を通じて、広く経験することとなります。複数の疾患を併せ持つ高齢者の治療・全身管理・今後の療養方針の考え方などについて学ぶことができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 経験できる技術・技能                                   | <p>外来:プライマリ・ケアの診察技法とあらゆる性別・年代・主訴に対応するための診療および予防医療サービスに関する基礎知識と診療能力。</p> <p>病棟:主に虚弱高齢者を対象とした亜急性期ケア・リハビリテーションオーダー・社会調整のための基礎知識と診療能力。</p> <p>在宅:末期癌患者または非癌慢性期患者の在宅医療を実施するための診療能力。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 経験できる地域医療・診療連携                               | <p>入院診療:急性期病院から急性期後に転院してくる治療・療養が必要な入院患者の診療・残存機能の評価・多職種および家族と共に今後の療養方針・療養の場の決定と、その実施にむけた調整。</p> <p>在宅復帰支援:地域の内科病院としての外来診療と訪問診療・往診、それを相互補完する訪問看護との連携、ケアマネージャーによるケアマネジメント(介護)と、医療との連携。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

|                 |                                                                                                                                                                            |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | <p>在宅医療：患者宅および連携している有料老人ホームの訪問診療と、急病時の診療連携、連携型在宅療養支援診療所群（6 医療機関）の在宅療養支援病院としての入院受入。地域の他事業所ケアマネージャーとの医療・介護連携。</p> <p>その他：地域企業の産業医。地域の乳幼児健診・学生健診。介護保険認定審査会。地域住民への予防医学講演会。</p> |
| 学会認定施設<br>（内科系） | なし                                                                                                                                                                         |

### 3) 専門研修特別連携施設

医療法人 社団豊永会 飯塚記念病院

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>1)専攻医の環境</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修に必要な医局図書室とインターネット環境(Wi-Fi)があります。</li> <li>・ 飯塚記念病院医師として勤務環境が保障されています。</li> <li>・ メンタルストレスに適切に対処する部署(事務室職員担当および産業医)があります。</li> <li>・ 女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>2)専門研修プログラムの環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。</li> <li>・ 基幹施設である飯塚病院で定期的開催されている、医療倫理・医療安全・感染対策講習会(2014 年度実績4回)の受講を専攻医に義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 基幹施設で行う研修施設群合同カンファレンス(2017 年度予定)に定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 基幹施設である飯塚病院で行う CPC(2014 年度実績 5 回)、もしくは日本内科学会が企画する CPC の受講を専攻医に義務付け、そのための時間的余裕を与えています。</li> <li>・ 地域参加型のカンファレンス(呼吸器研究会、循環器研究会、消化器病研修会)は基幹病院および飯塚市医師会が定期的開催しており、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えています。</li> </ul>                                    |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24/31】<br/>3)診療経験の環境</p>   | <p>カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、総合内科、代謝、腎臓、呼吸器、神経、および救急で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。救急の分野については、高度ではなく、一次・二次の内科救急疾患、より一般的な疾患が中心となります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>認定基準<br/>【整備基準 24】<br/>4)学術活動の環境</p>      | <p>日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題の学会発表(2014 年度実績 0 演題)を予定しています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>指導責任者</p>                                 | <p>豊永次郎<br/>【内科専攻医へのメッセージ】<br/>飯塚記念病院は福岡県飯塚医療圏の飯塚市にあり、昭和 32 年の創立以来、地域医療に携わる、精神科単科病院でした。平成 22 年精神科救急をスタートさせ、現在地域の措置入院件数 80%以上を受け入れています。平成 26 年 12 月より認知症医療センターに認定され、物忘れ外来を開始。平成 27 年 9 月私の赴任に伴い内科標榜を開始し、認知症患者、精神疾患患者の身体合併症治療を行っています。当院では、認知症患者の診断、治療、管理から予防にいたるまで、各職種が協力して集学的に治療を行っています。また糖尿病、慢性腎臓病、高血圧症に対して心血管病発症予防のために各職種と協力して厳格な治療を行っています。また、皆様をお迎えする平成 29 年 4 月には、新内科外来棟が開設予定であり、血液透析センターも併設します。<br/>当院では多くの精神科医(12 名)が勤務しており、精神疾患に触れる機会も多く、抗精神病薬、抗不安薬、抗うつ薬等の使い方を学ぶ事も出来ます。また御希望があれば、腹部エコー、心エコーの研修も行う事は可能です。<br/>みなさんと一緒に働くことを楽しみにしています。</p> |
| <p>指導医数<br/>(常勤医)</p>                        | <p>日本内科学会総合内科専門医 1 名<br/>日本腎臓学会専門医 1 名<br/>日本透析医学会専門医 1 名<br/>日本精神神経学会専門医 10 名</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>外来・入院患者数</p>                              | <p>外来患者 1,200 名(月平均) 入院患者 50 名(月平均)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>病床</p>                                    | <p>400 床&lt;認知症治療病棟 60 床、精神科救急 108 床、精神科一般 120 床、精神科療養 112 床&gt;</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>経験できる疾患群</p>                              | <p>研修手帳にある 13 領域、70 疾患群の症例については、高齢者・慢性長期療養患者の診療を通じて、広く経験することとなります。複数の疾患を併せ持つ高齢者の治療・全身管理・今後の療養方針の考え方などについて学ぶことができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>経験できる技術・技能</p>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 急性期をすぎた患者の機能の評価(認知機能・嚥下機能・排泄機能などの評価)</li> <li>・ 複数の疾患を併せ持つ認知症、高齢者の診療</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

|                    |                                                                                                                                                                                                                       |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者本人のみならず家族とのコミュニケーション</li> <li>・栄養療法(静脈栄養、中心静脈栄養、経管栄養、胃瘻管理)</li> <li>・エコー手技(心、腹部)の習得</li> <li>・血液透析患者へのシャント穿刺、シャントトラブルに対する PTA</li> <li>・嚥下機能評価および口腔機能評価(歯科医師による)</li> </ul> |
| 経験できる地域医療・<br>診療連携 | <p>入院診療については、急性期病院から急性期治療後に転院してくる治療、療養が必要な入院患者の診療を行います。残存機能の評価、多職種および家族と共に今後の療養方針、療養の場の決定と、その実施にむけた調整を行います。</p> <p>在宅へ復帰する患者については、外来診療と訪問診療、それを相互補完する訪問看護とも連携し、必要あればケアマネージャーを通じて介護への介入も行います。</p>                      |
| 学会認定施設<br>(内科系)    | なし                                                                                                                                                                                                                    |

## 飯塚病院内科専門研修プログラム 専攻医研修マニュアル

### 1) 専門研修後の医師像と修了後に想定される勤務形態や勤務先

内科専門医の使命は、(1)高い倫理観を持ち、(2)最新の標準的医療を実践し、(3)安全な医療を心がけ、(4)プロフェッショナリズムに基づく患者中心の医療を展開することです。内科専門医のかかわる場は多岐にわたりますが、それぞれの場に応じて、

- ① 地域医療における内科領域の診療医(かかりつけ医)
- ② 内科系救急医療の専門医
- ③ 病院での総合内科の専門医
- ④ 総合内科的視点を持ったサブスペシャリスト

に合致した役割を果たし、地域住民、国民の信頼を獲得します。それぞれのキャリア形成やライフステージ、あるいは医療環境によって、求められる内科専門医像は単一でなく、その環境に応じて役割を果たすことができる、必要に応じた可塑性のある幅広い内科専門医を多く輩出することにあります。

飯塚病院内科専門研修施設群での研修終了後はその成果として、内科医としてのプロフェッショナリズムの涵養と総合医的なマインドを持ち、それぞれのキャリア形成やライフステージによって、これらいずれかの形態に合致することもあれば、同時に兼ねることも可能な人材を育成します。

そして、福岡県筑豊医療圏に限定せず、超高齢社会を迎えた日本のいずれの医療機関でも不安なく内科診療にあたる実力を獲得していることを要します。また、希望者はサブスペシャリスト領域専門医の研修や高度・先進的医療、大学院などでの研究を開始する準備を整えうる経験をできることも、本施設群での研修が果たすべき成果です。

飯塚病院内科専門研修プログラム終了後には、飯塚病院内科専門研修施設群(下記)だけでなく、専攻医の希望に応じた医療機関で常勤内科医師として勤務する、または希望する大学院などで研究者として働くことも可能です。

### 2) 専門研修の期間

基幹施設である飯塚病院内科で、2年間の専門研修を行います。

### 3) 研修施設群の各施設名(P.15「飯塚病院研修施設群」参照)

### 4) プログラムに関わる委員会と委員、および指導医名

本プログラムを履修する内科専攻医の研修について責任を持って管理するプログラム管理委員会を飯塚病院に設置し、その委員長と各内科から1名ずつ管理委員を選任し、プログラム管理委員会を組織します。プログラム管理委員会は月例で会議を行い、基幹病院および連携施設における、専攻医の管理やプログラムの調節などを行います。

#### \* 指導医師名簿

J-OSLERにて確認可能です。

### 5) 各施設での研修内容と期間

専攻医 1 年次および 2 年次の秋から冬に専攻医の希望・将来像、研修達成度および指導医数やメディカルスタッフによる 360 度評価(内科専門研修評価)などを基に、飯塚病院院内ローテーション診療科・連携施設・時期・順番を決定します。原則 1 年次の 1～2 単位は救急部ローテーションがあります。

選択可能な飯塚病院院内内科ローテーション診療科は、肝臓内科、呼吸器内科、内分泌・糖尿病内科、消化器内科、血液内科、総合診療科、膠原病リウマチ内科、連携医療・緩和ケア科、腎臓内科、循環器内科、脳神経内科、漢方診療科、心療内科、集中治療科、感染症科、救急科などです。

図 1。飯塚病院内科専門研修モデル

| 月<br>年次     | 4                                       | 5 | 6 | 7         | 8 | 9 | 10        | 11 | 12 | 1                | 2 | 3 |
|-------------|-----------------------------------------|---|---|-----------|---|---|-----------|----|----|------------------|---|---|
| 専攻医<br>1 年次 | 飯塚病院 院内内科ローテーション<br>(1 単位 6 週～7 週)      |   |   |           |   |   |           |    |    | 連携施設①3 ヶ月        |   |   |
|             | 各科レクチャー、医療倫理・医療安全・感染防御セミナー、CPC、JMECC など |   |   |           |   |   |           |    |    |                  |   |   |
| 専攻医<br>2 年次 | 連携施設②3 ヶ月                               |   |   | 連携施設③3 ヶ月 |   |   | 連携施設④3 ヶ月 |    |    | 飯塚病院 院内内科ローテーション |   |   |
|             | 各科レクチャー、医療倫理・医療安全・感染防御セミナー、CPC、JMECC など |   |   |           |   |   |           |    |    |                  |   |   |
| 専攻医<br>3 年次 | 全連携施設<br>より調整の上、決定<br>飯塚病院 院内内科ローテーション  |   |   |           |   |   |           |    |    |                  |   |   |
|             | 各科レクチャー、医療倫理・医療安全・感染防御セミナー、CPC など       |   |   |           |   |   |           |    |    |                  |   |   |

※院外ローテーションは原則案であり、時期およびローテーション先は、専攻医数および当院もしくは連携施設の状況によっては、例外として、各年次研修先の調整や変更を、当方の判断で行なうこともある。

#### 6) 本整備基準とカリキュラムに示す疾患群のうち主要な疾患の年間診療件数

基幹施設である飯塚病院診療科別診療実績を以下の表に示します。飯塚病院は地域基幹病院であり、コモンディージーズを中心に診療しています。

表。飯塚病院診療科別診療実績

| 2024 年実績  | 入院患者実数<br>(人/年) | 外来延患者数<br>(延人数/年) |
|-----------|-----------------|-------------------|
| 肝臓内科      | 701             | 16,833            |
| 呼吸器内科     | 1,732           | 24,245            |
| 心療内科      | 0               | 6,654             |
| 内分泌・糖尿病内科 | 367             | 20,353            |
| 消化器内科     | 1,455           | 18,861            |
| 血液内科      | 565             | 12,965            |
| 総合診療科     | 3,074           | 14,202            |

|            |       |        |
|------------|-------|--------|
| 膠原病・リウマチ内科 | 177   | 16,097 |
| 連携医療・緩和ケア科 | 769   | 3,232  |
| 循環器内科      | 1,756 | 17,362 |
| 脳神経内科      | 590   | 9,898  |
| 腎臓内科       | 871   | 25,996 |
| 漢方診療科      | 32    | 15,683 |
| 感染症科       | 0     | 1,426  |
| 救急科        | 31    | 28     |

- \* 比較的入院患者数が少ない代謝、内分泌、血液、膠原病(リウマチ)領域でさえ、1 学年 16 名に対し十分な症例経験が可能です。
- \* 13 領域の専門医が少なくとも 1 名以上在籍しています(P. 16「飯塚病院内科専門研修施設群」参照)。
- \* 剖検体数(内科系)は 2022 年度 11 体、2023 年度 8 体、2024 年度 9 体で 3 年度平均 9 体であり、2025 年度も 8 体以上の見込みです。専攻医の数を満たす剖検は十分に実施できます。

#### 7) 年次ごとの症例経験到達目標を達成するための具体的な研修の目安

サブスペシャル領域に拘泥せず、内科として入院患者を順次主担当医として担当します。主担当医として、入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで可能な範囲で経時的に、診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践します。

総合診療科および各診療科ローテを行い、主担当医としての経験を積みます。専攻医 1 人あたりの受持ち患者数は、受持ち患者の重症度などを加味して、担当指導医、サブスペシャル上級医の判断で 5～10 名程度を受持ちます。症例によっては、適宜、領域横断的に受持ちます。

#### 8) 自己評価と指導医評価、ならびに 360 度評価を行う時期とフィードバックの時期

毎年 8 月頃と 2 月頃に自己評価と指導医評価、ならびに 360 度評価を行います。必要に応じて臨時に行うことがあります。

評価終了後、1 ヶ月以内に担当指導医からのフィードバックを受け、その後の改善を期して最善を尽くします。2 回目以降は、以前の評価についての省察と改善とが図られたか否かを含めて、担当指導医からのフィードバックを受け、さらに改善するように最善を尽くします。

#### 9) プログラム修了の基準

- ① J-OSLER を用いて、以下の i)～vi)の修了要件を満たす必要があります。

- i) 主担当医として「[研修手帳\(疾患群項目表\)](#)」に定める全 70 疾患群を経験し、計 200 症例以上(外来症例は 20 症例まで含むことができます)を経験することを目標とし、その研修内容を J-OSLER に登録していること。修了認定には、主担当医として通算で最低 56 疾患群以上の経験と計 160 症例以上の症例(外来症例は登録症例の 1 割まで含むことができます)を経験し、登録済みであること。
- ii) 29 病歴要約の内科専門医ボードによる査読・形成的評価後の受理(アクセプト)
- iii) 筆頭者として 2 件以上の学会発表あるいは論文発表
- iv) JMECC 受講
- v) 医療倫理・医療安全・感染防御に関する講習会を年に 2 回以上受講
- vi) J-OSLER を用いたメディカルスタッフによる 360 度評価(内科専門研修評価)と指導医による内科専攻医

評価により、医師としての適性が認められている

- ② 当該専攻医が上記修了要件を充足していることを飯塚病院内科専門医研修プログラム管理委員会は確認し、研修期間修了約 1 ヶ月前に飯塚病院内科専門医研修プログラム管理委員会で合議のうえ統括責任者が修了判定を行います。

〈注意〉「[研修カリキュラム項目表](#)」の知識、技術・技能修得は必要不可欠なものであり、修得するまでの最短期間は 3 年間（基幹施設 2 年間＋連携・特別連携施設 1 年間）としますが、修得が不十分な場合、修得できるまで研修期間を 1 ヶ月単位で延長することがあります。

#### 10) 専門医申請にむけての手順

##### ① 必要な書類

- i) 日本専門医機構が定める内科専門医認定申請書
- ii) 履歴書
- iii) 飯塚病院内科専門医研修プログラム修了証(コピー)

##### ② 提出方法

日本専門医機構が定める方法に従って提出します。

##### ③ 内科専門医試験

内科専門医資格申請後に日本専門医機構が実施する「内科専門医試験」に合格することで、日本専門医機構が認定する「内科専門医」となります。

#### 11) プログラムにおける待遇、ならびに各施設における待遇

在籍する研修施設での待遇については、各研修施設と飯塚病院とで取り決めた待遇基準に従います

#### 12) プログラムの特色

- ① 本プログラムは、福岡県筑豊医療圏の中心的な急性期病院である飯塚病院を基幹施設として、福岡県筑豊医療圏の地域包括ケア・認知症ケアに加えて、僻地・離島医療の経験を積むことができる連携施設・特別連携施設での研修を経て異なる医療を経験・学習し、地域の実情に合わせた実践的な医療を行えるように訓練されます。研修期間は基幹施設 2 年間＋連携施設・特別連携施設 1 年間の 3 年間になります。
- ② 飯塚病院内科施設群専門研修では、症例をある時点で経験するということだけではなく、主担当医として、入院から退院（初診・入院～退院・通院）まで可能な範囲で経時的に、診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践します。そして、個々の患者に最適な医療を提供する計画を立て実行する能力の修得をもって目標への到達とします。
- ③ 基幹施設である飯塚病院は、福岡県筑豊医療圏の中心的な急性期病院であるとともに、地域の病診・病病連携の中核です。一方で、地域に根ざす第一線の病院でもあり、コモンディジェーズの経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病病連携や診療所（在宅訪問診療施設などを含む）との病診連携も経験できます。
- ④ 基幹施設である飯塚病院および連携施設・特別連携施設での 2 年間（専攻医 2 年修了時）で、「[研修手帳\(疾患群項目表\)](#)」に定められた 70 疾患群のうち、少なくとも通算で 45 疾患群、120 症例以上を経験し、J-OSLER

に登録できます。そして、専攻医 2 年修了時点で、指導医による形成的な指導を通じて、内科専門医ボードによる評価に合格できる 29 症例の病歴要約を作成できます。

- ⑤ 飯塚病院内科研修施設群の各医療機関が地域においてどのような役割を果たしているかを経験するために、専門研修 1 年次の 3 ヶ月間、2 年次の 6 ヶ月間、3 年次の 3 ヶ月間、立場や地域における役割の異なる医療機関で研修を行うことによって、内科専門医に求められる役割を実践します。
- ⑥ 基幹施設である飯塚病院での 2 年間と専門研修施設群での 1 年間で、「[研修手帳\(疾患群項目表\)](#)」に定められた 70 疾患群、200 症例以上の主担当医としての診療経験を目標とします。少なくとも通算で 56 疾患群、160 症例以上を主担当医として経験し、J-OSLER に登録します。

#### 13) 継続したサブスペシャル領域の研修の可否

- ・ カリキュラムの知識、技術・技能を深めるために、総合内科外来（初診を含む）、サブスペシャル診療科外来（初診を含む）、サブスペシャル診療科検査を担当します。結果として、サブスペシャル領域の研修につながることはあります。
- ・ カリキュラムの知識、技術・技能を修得したと認められた専攻医には積極的にサブスペシャル領域専門医取得に向けた知識、技術・技能研修を開始させます。

#### 14) 逆評価の方法とプログラム改良への姿勢

専攻医は J-OSLER を用いて無記名式逆評価を行います。逆評価は毎年 8 月頃および 2 月頃に行います。その集計結果は担当指導医、施設の研修委員会、プログラム管理委員会、および教育推進本部が閲覧し、集計結果に基づき、飯塚病院内科専門研修プログラムや指導医、あるいは研修施設の研修環境の改善に役立てます。

#### 15) 研修施設群内で何らかの問題が発生し、施設群内で解決が困難な場合の相談先

日本専門医機構内科領域研修委員会を相談先とします。

## 飯塚病院内科専門研修プログラム 指導医マニュアル

### 1) 専攻医研修ガイドの記載内容に対応したプログラムにおいて期待される指導医の役割

- ・ 1 人の担当指導医(メンター)に専攻医 1 人が飯塚病院内科専門研修プログラム管理委員会により決定されます。
- ・ 担当指導医は、専攻医が web にて J-OSLER にその研修内容を登録するので、その履修状況の確認をシステム上で行ってフィードバックの後にシステム上で承認をします。この作業は日常臨床業務での経験に応じて順次行います。
- ・ 担当指導医は、専攻医がそれぞれの年次で登録した疾患群、症例の内容について、都度、評価・承認します。
- ・ 担当指導医は専攻医と十分なコミュニケーションを取り、J-OSLER での専攻医による症例登録の評価や教育推進本部からの報告などにより研修の進捗状況を把握します。専攻医はサブスペシャルの上級医と面談し、専攻医が経験すべき症例について報告・相談します。担当指導医とサブスペシャルの上級医は、専攻医が充足していないカテゴリー内の疾患を可能な範囲で経験できるよう、主担当医の割り振りを調整します。
- ・ 担当指導医はサブスペシャル上級医と協議し、知識、技能の評価を行います。
- ・ 担当指導医は専攻医が専門研修(専攻医)2 年修了時まで合計 29 症例の病歴要約を作成することを促進し、内科専門医ボードによる査読・評価で受理(アクセプト)されるように病歴要約について確認し、形成的な指導を行います。

### 2) 専門研修の期間

- ・ 年次到達目標は、内科専門研修において求められる「疾患群」、「症例数」、「病歴提出数」に示すとおりです。
- ・ 担当指導医は、教育推進本部と協働して、4 ヶ月ごとに J-OSLER にて専攻医の研修実績と到達度を適宜追跡し、専攻医による J-OSLER への記入を促します。また、各カテゴリー内の研修実績と到達度が充足していない場合は該当疾患の診療経験を促します。
- ・ 担当指導医は、教育推進本部と協働して、6 ヶ月ごとに病歴要約作成状況を適宜追跡し、専攻医による病歴要約の作成を促します。また、各カテゴリー内の病歴要約が充足していない場合は該当疾患の診療経験を促します。
- ・ 担当指導医は、教育推進本部と協働して、6 ヶ月ごとにプログラムに定められている所定の学術活動の記録と各種講習会出席を追跡します。
- ・ 担当指導医は、教育推進本部と協働して、毎年 8 月頃および 2 月頃に自己評価と指導医評価、ならびに 360 度評価を行います。評価終了後、1 ヶ月以内に担当指導医は専攻医にフィードバックを行い、形成的に指導します。2 回目以降は、以前の評価についての省察と改善とが図られたか否かを含めて、担当指導医はフィードバックを形成的に行って、改善を促します。

### 3) 専門研修の期間

- ・ 担当指導医はサブスペシャルの上級医と十分なコミュニケーションを取り、J-OSLER での専攻医による症例登録の評価を行います。
- ・ J-OSLER での専攻医による症例登録に基づいて、当該患者の電子カルテの記載、退院サマリ作成の内容などを吟味し、主担当医として適切な診療を行っている第三者が認めうると判断する場合に合格とし、担当指導医

が承認を行います。

- ・ 主担当医として適切に診療を行っているとは認められない場合には不合格として、担当指導医は専攻医に J-OSLER での当該症例登録の削除、修正などを指導します。

#### 4) J-OSLER の利用方法

- ・ 専攻医による症例登録と担当指導医が合格とした際に承認します。
- ・ 担当指導医による専攻医の評価、メディカルスタッフによる 360 度評価および専攻医による逆評価などを専攻医に対する形成的フィードバックに用います。
- ・ 専攻医が作成し、担当指導医が校閲し適切と認めた病歴要約全 29 症例を専攻医が登録したものを担当指導医が承認します。
- ・ 専門研修施設群とは別の日本内科学会病歴要約評価ボード(仮称)によるピアレビューを受け、指摘事項に基づいた改訂を専攻医がアクセプトされるまでの状況を確認します。
- ・ 専攻医が登録した学会発表や論文発表の記録、出席を求められる講習会等の記録について、各専攻医の進捗状況をリアルタイムで把握します。担当指導医と教育推進本部はその進捗状況を把握して年次ごとの到達目標に達しているか否かを判断します。
- ・ 担当指導医は、J-OSLER を用いて研修内容を評価し、修了要件を満たしているかを判断します。

#### 5) 逆評価と J-OSLER を用いた指導医の指導状況把握

専攻医による J-OSLER を用いた無記名式逆評価の集計結果を、担当指導医、施設の研修委員会、プログラム管理委員会および教育推進本部が閲覧します。集計結果に基づき、飯塚病院内科専門研修プログラムや指導医、あるいは研修施設の研修環境の改善に役立てます。

#### 6) 指導に難渋する専攻医の扱い

必要に応じて、臨時(予定された時期の他に)で、J-OSLER を用いて専攻医自身の自己評価、担当指導医による内科専攻医評価およびメディカルスタッフによる 360 度評価(内科専門研修評価)を行い、その結果を基に飯塚病院内科専門研修プログラム管理委員会で協議を行い、専攻医に対して形成的に適切な対応を試みます。状況によっては、担当指導医の変更や在籍する専門研修プログラムの異動勧告などを行います。

#### 7) プログラムならびに各施設における指導医の待遇

飯塚病院および各連携施設の給与規定によります。

#### 8) FD 講習の出席義務

厚生労働省や日本内科学会の指導医講習会の受講を推奨します。

指導者研修(FD)の実施記録として、J-OSLER を用います。

#### 9) 日本内科学会作製の冊子「指導の手引き」(仮称)の活用

内科専攻医の指導にあたり、指導法の標準化のため、日本内科学会作製の冊子「指導の手引き」(仮称)を熟読し、形成的に指導します。

#### 10) 研修施設群内で何らかの問題が発生し、施設群内で解決が困難な場合の相談先

日本専門医機構内科領域研修委員会を相談先とします。

### 飯塚病院内科専門研修 診療科別週間スケジュール(例)

- ・ 飯塚病院内科専門研修プログラム「4.専門知識・専門技能の習得計画」に従い、研修を実践します。(スケジュールはあくまでも一例であり、概略です。)
- ・ 各診療科のバランスにより、担当する業務内容や曜日、時間帯は調整・変更があります。
- ・ 入院患者診療には、各診療科の入院患者の診療を含みます。
- ・ 日当直やオンコールなどは、内科もしくは各診療科の当番として担当します。
- ・ 地域参加型カンファレンス、講習会、CPC、学会などは各々の開催日に参加します。

#### ●肝臓内科

|    |                           | 月                   | 火                                               | 水    | 木                                            | 金 | 土/日/祝日                                    |
|----|---------------------------|---------------------|-------------------------------------------------|------|----------------------------------------------|---|-------------------------------------------|
| 午前 | 8:30～                     | 入院患者診療              |                                                 |      |                                              |   | 担当患者の病態に応じた診療／オンコール／日当直／講習会・学会／病院イベント参加など |
| 午後 | ～17:00                    | 入院患者診療              |                                                 |      |                                              |   |                                           |
|    | 17:00～<br>18:30           |                     |                                                 |      | 肝疾患入院・<br>評価及肝内病棟カンファレンス<br>肝臓内科・外科合同カンファレンス |   |                                           |
|    | 17:30～<br>18:00           | 内視鏡カンファ<br>レンス[肝/消] |                                                 |      |                                              |   |                                           |
|    | 17:30～<br>18:30           |                     | 肝疾患外来・<br>評価カンファ<br>レンス<br>肝臓内科・外科合同カンファ<br>レンス | 肝抄読会 |                                              |   |                                           |
|    | 担当患者の病態に応じた診療／オンコール／当直 など |                     |                                                 |      |                                              |   |                                           |

#### ●呼吸器内科

|    |             | 月                           | 火                 | 水 | 木              | 金                       | 土/日/祝日                                    |
|----|-------------|-----------------------------|-------------------|---|----------------|-------------------------|-------------------------------------------|
| 午前 | 8:00～8:30   |                             |                   |   |                |                         | 担当患者の病態に応じた診療／オンコール／日当直／講習会・学会／病院イベント参加など |
|    | 8:30～       | 入院患者診療                      |                   |   |                |                         |                                           |
| 午後 | ～17:00      | 入院患者診療                      |                   |   |                |                         |                                           |
|    | 12:30～14:00 |                             |                   |   | 呼吸器内科<br>症例検討会 |                         |                                           |
|    | 16:30～18:30 |                             |                   |   |                | 呼吸器腫瘍カンファレンス・抄読会(呼内・呼外) |                                           |
|    | 17:00～18:00 |                             | 呼吸器カンファレンス(呼内・呼外) |   |                |                         |                                           |
|    | 18:00～19:00 | 呼吸器画像・病理カンファレンス [呼内/呼外/画/病] |                   |   |                |                         |                                           |

|  |                           |  |  |  |  |  |  |
|--|---------------------------|--|--|--|--|--|--|
|  | 担当患者の病態に応じた診療／オンコール／当直 など |  |  |  |  |  |  |
|--|---------------------------|--|--|--|--|--|--|

●内分泌・糖尿病内科

|    |                           | 月                                | 火                 | 水                     | 木                    | 金 | 土/日/祝日                                    |
|----|---------------------------|----------------------------------|-------------------|-----------------------|----------------------|---|-------------------------------------------|
| 午前 | 8:30～                     | 担当入院患者診療、外来新患診察、他科入院中コンサルト新患症例診察 |                   |                       |                      |   | 担当患者の病態に応じた診療／オンコール／日当直／講習会・学会／病院イベント参加など |
| 午後 | ～17:00                    | 担当入院患者診療                         |                   |                       |                      |   |                                           |
|    | 15:00～<br>17:00           | 薬品説明会＆ミーティング<br>(16:30～)         | 病棟総回診<br>(16:00～) | 入院患者症例検討会<br>(15:30～) | 甲状腺吸引細胞診<br>(15:00～) |   |                                           |
|    | 担当患者の病態に応じた診療／オンコール／当直 など |                                  |                   |                       |                      |   |                                           |

●消化器内科

|    |                           | 月                      | 火                         | 水                | 木 | 金                         | 土/日/祝日                                                            |
|----|---------------------------|------------------------|---------------------------|------------------|---|---------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 午前 | 7:30～8:00                 |                        |                           |                  |   | 勉強会及び<br>ESD症例カ<br>ンファレンス | 担当患者の病<br>態に応じた診<br>療／オンコー<br>ル／日当直／<br>講習会・学会<br>／病院イベント<br>参加など |
|    | 8:30～                     | 外来診療、内視鏡検査・処置など        |                           |                  |   |                           |                                                                   |
| 午後 | ～17:00                    | 内視鏡検査・処置など             |                           |                  |   |                           |                                                                   |
|    | 17:30～<br>18:00           | 膵胆道内視鏡<br>カンファレンス      |                           |                  |   |                           |                                                                   |
|    | 17:30～<br>18:30           |                        | 入院患者カン<br>ファレンス<br>[内視鏡C] | 消化管癌キャ<br>ンサーボード |   |                           |                                                                   |
|    | 18:00～<br>18:30           | 静脈瘤硬化療<br>法カンファレン<br>ス |                           |                  |   |                           |                                                                   |
|    | 担当患者の病態に応じた診療／オンコール／当直 など |                        |                           |                  |   |                           |                                                                   |

●血液内科

|    |                           | 月                                               | 火                                | 水 | 木                              | 金                                              | 土/日/祝日                                    |
|----|---------------------------|-------------------------------------------------|----------------------------------|---|--------------------------------|------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 午前 | 8:30～                     | 入院患者診療                                          |                                  |   |                                |                                                | 担当患者の病態に応じた診療／オンコール／日当直／講習会・学会／病院イベント参加など |
| 午後 | ～17:00                    | 入院患者診療                                          |                                  |   |                                |                                                |                                           |
|    |                           | 16:00～16:30<br>南 3A<br>入院患者カンファ(南 3A ナースステーション) |                                  |   | 16:00～17:00<br>骨髓所見会(2 階病理検査室) | 16:00～16:20<br>H3F 多職種カンファ(ハイケア棟 3 階ナースステーション) |                                           |
|    |                           |                                                 | 16:30～17:00<br>抄読会(ハイケア棟 3 階面談室) |   |                                | 16:20～18:00<br>全入院患者カンファ(ハイケア棟 3 階面談室)         |                                           |
|    | 担当患者の病態に応じた診療／オンコール／当直 など |                                                 |                                  |   |                                |                                                |                                           |

●総合診療科

|    |                           | 月           | 火                     | 水            | 木          | 金 | 土/日/祝日                                    |
|----|---------------------------|-------------|-----------------------|--------------|------------|---|-------------------------------------------|
| 午前 | 8:00～8:30                 | モーニングレクチャー  | 8:00～9:00 新患紹介カンファレンス |              |            |   | 担当患者の病態に応じた診療／オンコール／日当直／講習会・学会／病院イベント参加など |
|    | 8:30～9:30                 | 退院患者カンファレンス |                       |              |            |   |                                           |
|    | カンファ後～                    | 外来診療・入院患者診療 |                       |              |            |   |                                           |
| 午後 | ～17:00                    | 外来診療・入院患者診療 |                       |              |            |   |                                           |
|    | 17:00～18:30               |             |                       | 輪読会<br>[総/研] |            |   |                                           |
|    | 18:00～19:00               |             |                       |              | シニアカンファレンス |   |                                           |
|    | 担当患者の病態に応じた診療／オンコール／当直 など |             |                       |              |            |   |                                           |

●膠原病リウマチ内科

|    |                           | 月         | 火 | 水                            | 木           | 金 | 土/日/祝日                                    |
|----|---------------------------|-----------|---|------------------------------|-------------|---|-------------------------------------------|
| 午前 | 8:30~                     | 入院患者診療    |   |                              |             |   | 担当患者の病態に応じた診療／オンコール／日当直／講習会・学会／病院イベント参加など |
| 午後 | ~17:00                    | 入院患者診療    |   |                              |             |   |                                           |
|    | 16:00~17:00               |           |   | 膠原病・リウマチ内科スタッフミーティング<br>(第4) |             |   |                                           |
|    | 17:00~                    | 症例カンファレンス |   | 総回診、症例カンファレンス                | 抄読会、カンファレンス |   |                                           |
|    |                           |           |   |                              |             |   |                                           |
|    | 担当患者の病態に応じた診療／オンコール／当直 など |           |   |                              |             |   |                                           |

●連携医療・緩和ケア科

|             | 月          | 火                       | 水                      | 木     | 金    | 土/日                                                                   |
|-------------|------------|-------------------------|------------------------|-------|------|-----------------------------------------------------------------------|
| 8:30-9:00   | 訪問診療       | 朝カンファ                   |                        |       |      | 担当患者の<br>病態に応じた<br>診療／オンコ<br>ール／日当<br>直／講習会・<br>学会／病院<br>イベント参加<br>など |
| 9:00-14:00  |            | 入院患者管理                  |                        |       |      |                                                                       |
| 14:00-15:00 |            | 心不全緩和<br>ケアチーム<br>(HST) | 緩和ケア他<br>職種カンファ<br>レンス |       | 訪問診療 |                                                                       |
| 15:00-16:00 | レクチャー      |                         |                        | レクチャー |      |                                                                       |
| 16:00-17:00 | 入院患者管理/ 引継 |                         |                        |       |      |                                                                       |

●腎臓内科

|    |                      | 月                         | 火           | 水                   | 木 | 金                         | 土/日<br>祝日 |
|----|----------------------|---------------------------|-------------|---------------------|---|---------------------------|-----------|
| 午前 | 8:00-<br>8:30        | 週末報告・割振<br>週間予定確認<br>【全体】 | 抄読会<br>【全体】 | 担当患者レビュー<br>【チーム】   |   | 新患紹介<br>重症・問題症例紹介<br>【全体】 | ※         |
|    | 8:30-<br>9:00        | 担当患者レビュー<br>【チーム】         |             |                     |   | 担当患者レビュー<br>【チーム】         |           |
|    | 入院患者診療・他科コンサルト症例サポート |                           |             |                     |   |                           |           |
| 午後 | 入院患者診療               |                           |             |                     |   |                           |           |
|    | 16:00-<br>17:00      |                           |             | 腎病理カンファ<br>1回/月【全体】 |   |                           |           |
|    | 17:00-<br>18:00      | 担当患者振り返りおよび回診<br>【チーム】    |             |                     |   |                           |           |
|    | ※                    |                           |             |                     |   |                           |           |

●循環器内科

|    |                           | 月                        | 火                        | 水                                    | 木                        | 金                        | 土/日/祝日                                                            |
|----|---------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 午前 | 8:00～8:30                 | 当直報告<br>症例検討会<br>[循環器 C] | 当直報告<br>症例検討会<br>[循環器 C] | (7:45～)<br>当直報告<br>死亡症例検討<br>[循環器 C] | 当直報告<br>症例検討会<br>[循環器 C] | 当直報告<br>症例検討会<br>[循環器 C] | 担当患者の病<br>態に応じた診<br>療／オンコー<br>ル／日当直／<br>講習会・学会<br>／病院イベント<br>参加など |
|    | 8:30～                     | 外来診療・入院患者診療              |                          |                                      |                          |                          |                                                                   |
| 午後 | ～17:00                    | 入院患者診療                   |                          |                                      |                          |                          |                                                                   |
|    | 13:30～                    |                          | 循環器内科<br>総回診             |                                      |                          |                          |                                                                   |
|    | 17:00～<br>17:30           | 抄読会                      |                          |                                      |                          |                          |                                                                   |
|    | 担当患者の病態に応じた診療／オンコール／当直 など |                          |                          |                                      |                          |                          |                                                                   |

●脳神経内科

|    |                           | 月                         | 火 | 水 | 木                        | 金 | 土/日/祝日                                    |
|----|---------------------------|---------------------------|---|---|--------------------------|---|-------------------------------------------|
| 午前 | 8:00～9:00                 | 新患症例検討会                   |   |   |                          |   | 担当患者の病態に応じた診療／オンコール／日当直／講習会・学会／病院イベント参加など |
|    | 8:30～                     | 外来・入院患者診療                 |   |   |                          |   |                                           |
| 午後 | ～17:00                    | 外来・入院患者診療                 |   |   |                          |   |                                           |
|    | 13:15～14:00               |                           |   |   | 総合カンファレンス [神内/リハ/薬剤/南1A] |   |                                           |
|    | 14:00～15:30               |                           |   |   | 病棟総回診                    |   |                                           |
|    | 15:30～17:00               |                           |   |   | 神経内科カンファレンス/抄読会          |   |                                           |
|    | 18:00～19:00               | 画像カンファレンス [神内/脳外/画診] (第4) |   |   |                          |   |                                           |
|    | 担当患者の病態に応じた診療／オンコール／当直 など |                           |   |   |                          |   |                                           |

●漢方診療科

|    |                           | 月                  | 火       | 水 | 木 | 金 | 土/日/祝日                                    |
|----|---------------------------|--------------------|---------|---|---|---|-------------------------------------------|
| 午前 | 8:05～8:25                 | 勉強会                |         |   |   |   | 担当患者の病態に応じた診療／オンコール／日当直／講習会・学会／病院イベント参加など |
|    | 8:30～                     | 外来・入院患者診療          |         |   |   |   |                                           |
| 午後 | ～17:00                    | 外来・入院患者診療（月・木病棟回診） |         |   |   |   |                                           |
|    | 16:30～20:00               | 病棟カンファレンス          |         |   |   |   |                                           |
|    | 17:30～18:30               |                    | 漢方基礎勉強会 |   |   |   |                                           |
|    | 担当患者の病態に応じた診療／オンコール／当直 など |                    |         |   |   |   |                                           |

●救急科

|    |                           | 月          | 火         | 水 | 木 | 金 | 土/日/祝日                                    |
|----|---------------------------|------------|-----------|---|---|---|-------------------------------------------|
| 午前 | 7:00～8:00                 | 症例振り返りカンファ |           |   |   |   | 担当患者の病態に応じた診療／オンコール／日当直／講習会・学会／病院イベント参加など |
| 午後 | 19:00～20:00               | 症例振り返りカンファ |           |   |   |   |                                           |
|    | 19:30～                    |            | 救急部スタッフ会議 |   |   |   |                                           |
|    | 担当患者の病態に応じた診療／オンコール／当直 など |            |           |   |   |   |                                           |